

海外拓殖事業調査資料第五十八輯

昭和十七年三月

南米西海岸諸國鑛物資源ニ關スル調査

6744
17.11.5.



拓務省 拓南局



内閣文庫	
八二六七八号	一册
和書	

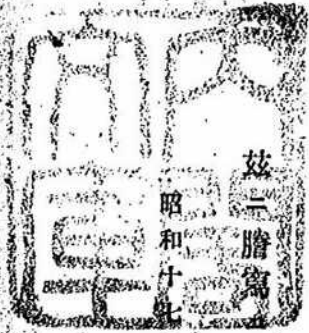
561
32

例言

本書ハ昭和十三年十一月ヨリ昭和十四年三月ニ至ル間
 當省囑託勝野書生ヲシテ調査セシメタル南米西海岸諸
 國鑛業資源ニ關スル調査報告書ナルガ該地方ニ於ケル
 此ノ種資料乏シキニ鑑ミ關係方面ニ參考ニ資センガ爲
 茲ニ謄寫ニ替ヘ印刷ニ付シタルモノナリ

昭和十三年三月

拓務省 拓南局



第一章 ベルギー國

目次

第一編 ベルギー國ノ國勢	一
第一項 位置 其他	一
第二項 地 勢	二
第三項 氣 候	三
第四項 交 通	七
第五項 民族及民度	三
第六項 一般産業	三
第七項 商業並ニ貿易	六
第二編 ベルギー國ノ政情	三
第三編 ベルギー國ト第三國ノ外交	四
第四編 ベルギー國ト我邦ノ外交	五
第五編 ベルギー國ニ於ケル在留邦人ノ現狀	五

第一項 一般在留邦人	三
第二項 在留商社	三
第六編 ベルギー國ノ鑛業	三
第一項 ベルギー國鑛物ノ種類ト分布	三
第二項 ベルギー國人ノ鑛業ニ對スル觀念並ニ鑛業	四
第三項 在留邦人ノ鑛業	五
第四項 第三國人又ハ商社ノ鑛業	五
第七編 ベルギー國ト我邦一般貿易ノ將來	五
第八編 ベルギー國ト我邦鑛物貿易ノ將來	五
第九編 ベルギー國鑛業ニ對スル我邦人ノ將來	五
第十編 觀察シタル鑛山ノ各論	五
第一項 パルバ鑛山	五
第二項 サヤブーヨ鑛山	五
第三項 カラク鑛山	五

第二章 ポリビヤ國

第一編 ポリビヤ國國勢	五
第一項 位置 其他	五
第二項 地 勢	六
第三項 氣 候	六
第四項 交 通	六
第五項 民族及民度	六
第六項 一般産業	六
第七項 商業並ニ貿易	六
第二編 ポリビヤ國ノ政情	六
第三編 ポリビヤ國ト第三國ノ外交	六
第四編 ポリビヤ國ト我邦ノ外交	六
第五編 ポリビヤ國ニ於ケル在留邦人ノ現狀	六
第一項 一般在留邦人	六
第二項 在留商社	六
第六編 ポリビヤ國ノ鑛業	六
第一項 ポリビヤ國鑛物ノ種類ト分布	六

第二項 ポリビヤ國人ノ鑛業ニ對スル觀念並ニ鑛業……………五

第三項 我邦人ノ鑛業……………五

第四項 第三國人又ハハ商社ノ鑛業……………五

第七編 ポリビヤ國ト我邦一般貿易ノ將來……………五

第八編 ポリビヤ國ト我邦鑛物貿易ノ將來……………五

第九編 ポリビヤ國鑛業ニ對スル我邦人ノ將來……………五

第十編 視察シタル鑛山ノ各論……………五

第一項 ヨランダ砂鑛區……………六

第二項 ヤルビコヤ鑛山……………六

第三章 智利國

第一編 チリ一國國勢……………六

第一項 位置其他……………六

第二項 地勢……………六

第三項 氣候……………六

第四項 民族及民度……………六

第五項 交通……………七

第六項 一般産業……………七

第七項 商業並ニ貿易……………七

第二編 智利國ノ政情……………七

第三編 智利國ト第三國ノ外交……………七

第四編 智利國ト我邦ノ外交……………七

第五編 智利國ニ於ケル在留邦人ノ現狀……………七

第一項 一般在留邦人……………七

第二項 在留商社……………七

第六編 智利國ノ鑛業……………七

第一項 智利國人ノ鑛業ニ對スル觀念並ニ鑛業……………七

第二項 我邦人ノ鑛業……………七

第三項 第三國人又ハハ商社ノ鑛業……………七

第七編 智利國ト我邦一般貿易ノ將來……………七

第八編 智利國ト我邦ノ鑛物貿易ノ將來……………七

第九編 智利國鑛業ニ對スル我邦人ノ將來……………七

第十編 視察シタル鑛山ノ各論..... 一〇

第一項 カルメン、アルト鑛山..... 一〇

第二項 ベラビスタ硝石地帯..... 一一

第三項 モントベルデ鑛山..... 一一

第四章 各觀點ヨリ觀タル三箇國ノ鑛業比較

第一編 各國ノ民度ヨリ觀タル三國ノ鑛業..... 一四

第二編 各國ノ國策ヨリ觀タル三國ノ鑛業..... 一六

第三編 地勢其他環境ヨリ觀タル三國ノ鑛業..... 一六

第四編 外國資本ノ鑛業投下狀況..... 一九

第一項 一般金屬鑛業..... 一九

第二項 鐵 鑛 業..... 二〇

第三項 硝 石 鑛 業..... 二〇

第四項 石 油 鑛 業..... 二一

第五項 在留邦人ノ鑛業..... 二一

第六項 鑛石賣買業..... 二二

第七項 パナヂューム鑛業ト其賣買業..... 二二

第五編 外國資本ニ對スル三國ノ對策ト將來ノ考察..... 二四

第六編 外國資本ヨリ觀タル三國ノ鑛業..... 二四

第七編 產出鑛物ヨリ觀タル三國ノ鑛業..... 二五

第八編 交通機關ヨリ觀タル三國ノ鑛業..... 二六

第九編 我邦産業政策ヨリ觀タル三國ノ鑛業..... 二六

第十編 我邦移民政策ヨリ觀タル三國ノ鑛業..... 二七

第一章 ペルー國

第一編 ペルー國の國勢

第一項 位置 其他

「ペルー」國ハ南米大陸西海岸ノ北部ニ位シ西徑六十九度ヨリ八十一度北緯一度ヨリ南緯十八度ノ間ニ在リテ北ハ「コロンビヤ國」東ハ「ブラジル」「ボリビヤ」兩國ト南ハ智利國ト界シ西ハ太平洋ニ面ス面積五三二、一八五平方哩（日本全土ノ約二倍）

人口密度分布ヲ表示セバ左ノ如シ

西曆年次	調査方法	人口	面積	積(平方哩)	人口	密度
一八六二	國勢調査	二、四六〇、六八四	一八七六	一四六〇、〇〇〇	一四、六〇〇、〇〇〇	一〇・〇
一八七六	國勢調査	二、六五一、八四〇	一八九六	一四六〇、〇〇〇	一四、六〇〇、〇〇〇	一〇・〇
一九二七	現地調査	四、五九四、八九五	一九二七	一四六〇、〇〇〇	一四、六〇〇、〇〇〇	一〇・〇
一九三六	見込	六、一四七、〇〇〇	一九三六	一四六〇、〇〇〇	一四、六〇〇、〇〇〇	一〇・〇
	見込	六、五〇〇、〇〇〇		一四六〇、〇〇〇	一四、六〇〇、〇〇〇	一〇・〇

地帯別面積人口對照表 (一九三七年見込)

地帯	面積	積(平方哩)	人口	密度
海、岸地帯	一三〇、〇〇〇	一三〇、〇〇〇	一、四六〇、〇〇〇	一〇・〇
中央地帯	五二〇、〇〇〇	五二〇、〇〇〇	四、六〇〇、〇〇〇	九・二

アマゾン地帯	五五〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一・三
地種別面積(單位ヘクター)			
不毛地帯	七、二三〇、三八九	未開墾地帯	已開墾地帯
		一一、九二二、二〇九	一、四六三、八六七
			合 計
			二〇、六一六、四六三
在留外國人種別表			
日本人	支那人	伊太利人	英國人
二二、五六〇	六、九〇〇	五、八五二	二、三〇一
			獨逸人
			二、二四二
			西班牙人
			一、五八四
			北米人
			一、二二九
			智利人
			九八五

第二項地 勢

當國ニテハ西ヨリ東ニ數ヘテ海岸山脈中央山脈國境山脈ノ三山脈南ヨリ北ニ平行ニ走ル。
 海岸山脈ハ智利海岸山脈ノ續キニシテ所々火山アリ海岸山脈ノ支脈ハ處々本脈ヨリ西ニ派出シテ海ニ迫ル大體岩山
 又ハ砂丘狀ヲナス本山脈中ニモ海拔五千米ヲ超ユルモノアルモ平均二千七八百米ナラン。
 中央山脈ハ智利「ポリビヤ」兩國境山脈ノ續キ即チ本「アンデス」山脈ニシテ「チチカカ」湖ノ西側ヲ北上スルモ
 ノニシテ海拔六千米ヲ超ユルモノ往々ニシテ平均四千五百米内外ナラン。
 國境山脈ハ遠ク「アルゼンチン」國ヨリ「ポリビヤ」國ニ入り「チチカカ」湖ノ東側ヨリ當國ニ入り「ロレト」

縣ト「アマソナス」縣ノ境ニ至リ勢ヲ消スモノナリ。

河川ニ三種アリ海岸山脈ノ西側及支脈ノ水ヲ集メテ太平洋ニ注ク數十ノ一郡アリ本郡ノ河川ハ流路短ク常ニ水ナキ
 モノト流路比較的長ク海岸山脈ニ水源ヲ有スルモノハ四季水流アルモ海岸附近ニテハ此亦砂水ニ没シテ流水ヲ見ズ
 此等ノ流水ノアル所數十町ノ水路ヲ設ケ傾斜四十度内外以下ノ所山地平地ノ別ナク開墾シ農作ス、其區域中央山脈ニ
 及ビ高度海拔四千米ニ及ブ。

又「アマゾン」河ノ上流ヲナス一郡アリ即チ海岸山脈ノ東側ト中央山脈ノ西側ノ水ヲ集メツツ中央部ニ發シ北流ス
 ル「リオ、マラニオン」ト其支流、並ニ中央國境兩脈ノ中間並ニ國境山脈ノ東側ノ水ヲ集メ南部ニ發シ北流スル「リ
 オ、ウカヤリ」ト其支流ナリ。

尙南部諸地方ノ水ヲ集メテ「チチカカ」湖ニ注入スル一郡ノ河川アリ。

後二者ハ相等ノ雨雪量アル地方ニ在ルヲ以テ水量豐富ナリ故ニ當國將來ノ所要動力ハ此ノ水力ヲ利用スルニ至ラン
 海岸線ハ灣曲ナク其形狀ニ一定法則アリ此レ二種ノ斷層線ニヨリテ形成サレタル結果ト觀ルベク半々天然ニ半々人
 爲的ニ港ヲナスモノニ「カイヤオ」港、天然ノ良灣ヲナスモノニ「チンボテ」灣ノ泊地アルノミ他ハ泊地ト稱スルモ
 單ニ無理ニ浮船取スルニ過ギス。

第三項氣 候

當國ヲ緯度ヨリ觀ル時ハ熱帶國ニアルモ遠ク南氷洋ニ發生シタル「フンボルト」寒流ハ智利ノ沖ヲ北上シ當國海岸
 ニ當リ尙海岸ヲ洗ヒツツ北上スルヲ以テ氣温高カラズ日中九十度ヲ超ユルモ(砂漠地ハ百度ヲ超ユ)日没後ハ溫度急

中南部地方			中部地方						北方	
ア	カ	サ	ラ	リ	コ	ハ	ハ	カ	サ	
ト	グ	ラ	オ	モ	ン	セ	ブ	ト	グ	
コ	ン	ロ	リ	マ	ン	シ	ョ	コ	ラ	
ン	ゴ	ヤ	ナ	マ	ン	ン	ン	ゴ	ン	
ナ	ガ	バ	ヤ	ナ	マ	ン	ン	ゴ	ン	
最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	
最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	
雨量	雨量	雨量	雨量	雨量	雨量	雨量	雨量	雨量	雨量	
一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	
二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	
三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	
四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	
五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	
六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	
七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	
八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	
九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	
一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	

北部地方						場所	
エ	ル	ア	ロ	ビ	ネ	ラ	カ
ト	ア	ル	ビ	グ	グ	ハ	ハ
ト	ル	ト	ト	ト	ト	ト	ト
ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト
ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト
最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低
最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高
雨量	雨量	雨量	雨量	雨量	雨量	雨量	雨量
一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇
三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇
七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇
八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇
九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇
一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇

降下シ日出前ヨリ午前十時頃迄海岸低地帯ハ濃霧ヲ見ル山岳地ハ温帯氣温ニアルモ「アマゾン」上流地帯ハ炎熱強ク
 湿度又大ナリ。
 當國ニ測候所ノ設置密ナラズ又不完備ナルモ集メ得タル資料ニヨリ集録表示セバ左ノ如シ

八

ビメンタル 人口僅少ナル漁村程度ナルモ農耕地ニ數箇ノ邑街アリテ軌道ハ耕地用下共ニ其邑街ヲ連絡シ砂糖積出港タリ
陸上交通整備迄ノ過渡泊地ナリ。

エ テ ン 人口三千、ビメンタルノ副港タリ米、砂糖、牛骨皮革ヲ積出ス。

バスカマヨ 人口四千短距離鐵道ヲ有シ銀鑛、銅鑛、米、皮革ヲ積出シ、ビメンタルト共ニ日本ヨリセメントヲ輸入ス過
渡期港タリ。

チカマ 漁村程度ノ小邑ニシテ砂糖ヲ積出ス次記サラベリ、一港ノ補助港タリ。

サラベリ 人口三千「カルタビラ」耕地及「ツルヒーヨ」市ヲ控ヘ縱横ノ軌道ニヨリ集ル砂糖積出港タリ過渡期港ニ過
キズ。

チンボテ 人口千農耕地ト連絡スル短距離軌道アリ地表水ナキモ伏流水アル見込ミ本灣ノ南ニ隣接シテ「サマンコ」灣
アリ共ニ水深ク灣廣ク富國一ノ海港灣ニシテ灣口ニ島アリ兩灣ヲ一トシ踏設備ヲナシ護岸ヲ設ケ一部淺深ヲ
行ハバ南米西岸第一ノ港トナラン後方平地廣シ。

カスマ 小良港ナルモ農ニ耕地ナシ。

ワツチヨ 鐵道ニヨリ「チヤンカイ」谷耕地ト連ル船、砂糖ノ積出港ニシテ島表ノ集散港タリ良泊地ニアラズ。

チヤンカイ 前者ノ一補助港タリ。

アンコン 富國海軍火藥庫アリ海軍泊地ナリ。

カイアオ 富國主都リマニ接シ又富國第一ノリマ平野ヲ控ヘ國際港トシテ防波堤岸壁等アリ唯一ノ設備港タリ。

ビスコ 港灣ノ形ヲ成サザルモ南方砂漠地帯内唯一ノ耕地アリ船ヲ積出ス船小岸ヨリ六湊沖ニ泊ス。

モリエンド 南方鐵道ノ終點ニシテ「アレキツパ」「クスコ」ニ通ジ又「ホリビヤ」ニ通ズル國際路ニ當ル。

此等ニ寄港スル船舶ハ主ニ外國船タリ其狀況ハ貿易項下ニ於テ表示ス。

河川交通「アマゾン」上流地ハ船ニテ又太平洋岸ト「ロレト」縣ノ物資連絡ハ「バナマ」運河ヲ迂回シテナサル共
寄港地左ノ如シ(往復七十日ヲ要スト)「イキトリス」「ウリマダス」等

船舶數及種類左ノ如シ(一九三六年調)

記事	船舶別	汽	帆	船	モ	ト	タ	船
艘數		一四		一〇				四五
噸數		二一、九五五・六八		九、八〇八・二〇				四、七五四・九一

陸上交通運輸機關

道路 延長自動車數等一切不明唯各地「ガソリン」消費量統計アルモ消略ス、唯嶺山開發用路ニハ爆藥ヲ補給シ
又事後建設費補給ノ途アリト聞ク

飛行機 「バナグラ」(米)外、英獨等四社アルモ略ス

鐵道 概シテ耕地用又ハ地方區間交通機關ニ過ギズ然シテ其幹線ハ英「ベルビアンコーポレーション」(資本金
一、六五〇、〇〇〇磅)ノ建設支配下ニ屬ス今各線ノ延長其他ヲ摘集表示セバ左ノ如シ

線	距離	名	軌(米)	特等乘車(米)	支線延長(米)	合計延長(米)
Tumbes-Puerto Piastro			0.75	11,209	1,874	13,084
Talones Huilanca y Ramal			0.91	81,000	31,363	112,363

管 線 路	Noroeste del Peru	0.91	127,600	84,462	282,062
	Lima-Peru	0.91	45,300	2,797	48,097
管 線 路	Huanuco-Ilimacvelica	0.91	148,200	2,334	150,534
	Cusco-Santa Ana y Ramal	0.91	110,760	16,040	126,800
管 線 路	Ilo-Moquegua	1.44	98,121	2,901	101,022
	Tambo del Sol-Pachica	0.91	78,000	2,445	80,445
管 線 路	Vitor-Sotillo	1.44	17,000	—	17,000
	計	計	787,181	144,146	931,327
特 地 用 線 路	Paita-Piura	1.44	97,320	15,936	112,716
	Pacasmayo-Guadalupe	1.44	131,300	6,890	138,190
特 地 用 線 路	Trojillo	0.91	76,000	53,700	129,700
	Chimboque-Talones	0.91	57,000	0,692	57,692
特 地 用 線 路	Central del Peru	1.44	346,000	178,838	524,838
	Risco-Ica	1.44	73,366	3,640	77,006
特 地 用 線 路	Sur del Peru	1.44	861,000	60,546	921,546
	計	計	1,641,986	319,702	1,961,688
—	Prima-Catacaos	0.75	10,150	0,701	10,851
	Tranvia Urbano de Piura	0.75	1,057	—	1,057

10

公 用 線 路	Tranvia Urbano Catacaos	0.75	1,590	—	1,544
	Lima-Hacienda "Gaylli"	0.60	36,000	36,000	72,000
公 用 線 路	"-Ferreñafe-Chilayo "Palapo"	1.44	43,705	30,095	73,800
	Pimental-Hacienda "Pomata"	0.91	42,676	8,701	51,377
公 用 線 路	Puerto Chicama-Lipaca	1.06	27,000	4,407	31,407
	Lipaca-Hacienda "Casa Grande"	1.06	26,000	2,500	28,500
公 用 線 路	Supé-Baranca y Alpas	0.60	34,210	24,000	58,210
	Oroya-Cerro de Pasco-Gollarisquig	1.04	132,400	70,464	202,864
公 用 線 路	Selly-San José de Hiron	0.75	30,000	16,300	46,300
	Tambo de Mora Chinchia Alta	1.00	11,920	4,080	16,000
公 用 線 路	Ensenada-Parupa Blanca	0.75	20,000	—	20,000
	"-Churampi-Cootca	0.60	27,000	25,000	52,000
公 用 線 路	Tranvia Electrico de Lima	1.44	89,288	9,665	98,953
	Antiguo Ferrocarril Ingles	1.44	28,129	17,119	45,248
公 用 線 路	Tranvia Electrico de Arequipa	1.06	15,900	3,300	19,200
	Arica-Taana	1.44	62,000	3,769	65,769
公 用 線 路	計	計	639,029	256,101	895,130
	Petroleo Talara Negritos	0.76	66,800	30,000	96,800
公 用 線 路	Lobitos-El Tablazo	0.76	33,000	—	33,000

11

種	種	種	種	種	種	種
Rayovar-Reventazon	1.00	48,480	10,250	48,480		
Sananco-Iiacenda "San Jacinto"	1.06	38,000	5,000	48,250		
Supa-Iiacienda "San Nicolas"	1.06	30,000		35,000		
Intero Iiacienda "Casa Grande"	1.06	29,000		29,000		
" " " "Cartavio"	0.91	3,300		3,300		
" " " "Chiquito"	0.91	9,200		9,200		
" " " "Roma"	0.91	21,500		21,500		
" " " "Chicamila"	0.91	6,400		6,400		
Chanacy " "Palpa"	1.00	20,000		25,000		
Minasagra-Ricran	0.91	29,000		29,000		
Cerro Azul-Carete	1.06	15,000	23,400	38,400		
Mineral de Caylloma	0.50	12,000		12,000		
總	計	361,680	73,650	435,330		
小	計	3,429,676	793,599	4,223,475		

第五項 民族及民度

「カイアオ」「リマ」等ノ國際都市ニハ白人系多ク土民族ヲ見ズト雖モ地方都市ニ到レバ白人系ト土民族系相半シ更ニ村邑ニ到レバ土民族多ク一步耕地ニ到レバ殆ンド土民族ノミニナリ、白人系ハ全人口ノ二割内外ニシテ支配階級ニ屬シ耕地主又ハ實業家ニシテ相等資産ヲ有シ南米西海岸諸國民中最高ノ生活ヲ營ミ居住衣服等美ナルモ土民族ニ至リテ

ハ民度低ク暗黒ナル一室ニ寢寐ナク食卓ナキ土間ニ起臥シ自作ノ玉蜀黍ト畜羊ヲ食シ自ラ羊毛ヲ紡ギテ布トナシ衣服ノ料トシ舊教ニ歸依シ「コカ」葉ヲ嚼ミ子孫ヲ産ム事即チ彼等生活ノ全般ナリ、然レドモ近來米食ヲ好ムニ至リタリト言ハレ又通貨ヲ知ラザルニアラザルヲ以テ善導スル時ハ善良ナル労働者タルヤ必セリ。

第六項 一般産業

當國ニ於ケル最モ大規模産業ハ農業ニシテ殊ニ製糖事業ハ其王座ヲ占ム因テ統計資料モ亦此種ノモノ集メ易キモ不完全タルハ免レザル處從フテ記述スル所抽象的タリ。

先ヅ商事農事會社ノ比較ヲ表示セバ左ノ如シ

類	名	商 事 會 社		農 事 會 社	
		数	資本金	数	資本金
Amaconas		—	—	—	—
Ancash		4	78,945.93	19	1,508,696.43
Apurimac		—	—	—	—
Arequipa		28	4,492,067.18	6	115,811.38
Ayacucho		2	82,000.00	1	15,000.00
Callao		12	1,114,237.72	—	—
Cuzco		2	55,000.00	7	26,080.00
Cajamarca		4	—	—	—
		5	—	—	—
		3	70,000.00	—	—

州	件数	資本額	件数	資本額
Huanuco	1	40,000.00		
Huancavelica	1	39,000.00		
Ica	12	357,829.00	60	5,267,719.20
Lambayeque	10	357,400.00	23	1,729,520.00
Lima	240	25,573,570.00	122	13,410,605.71
Loreto	41	514,402.10		
Madre de Dios	1			
Moquegua				
Tarma	14	374,118.43	5	73,100.00
Junin	3	144,000.00	19	2,204,140.00
Libertad	1	1,197,154.90	54	3,445,828.50
Piura	17	235,000.00	3	50,100.00
Puno	7			
San Martin				
Tacna	3	180,810.83		
Tumbes				
合計	371	34,855,537.01	319	27,846,751.32

備考 本表ハ一九三七年現在ナリ *印ハ個人經營ノモノニシテ資本額ハ個人資本ト會社資本金ノ和ナリ

農業 海岸地方ニテハ棉花、甘蔗、豆類、米、玉蜀黍、大豆、大小麥、牧草、果實等ヲ耕作シ、在來棉花甘蔗集中

栽培タリシガ漸次多角的耕作ニ移ラントスル傾向ニアリト云ハル今其産額ヲ表示セバ (一九三七年圖)

品名	数量	備考
棉花	八三、六一七噸	内タンギス綿ハ其八〇% (七七、九二二噸) ナリト稱セラル出所ニヨリ統計數字ニ差アリ
甘蔗	三八九、〇四六噸	砂糖搾取率甘蔗ノ二五%内外ナルモ砂糖ノ數大ナリ甘蔗ノ取調租額ナラン砂糖ハ英米ニ輸出
砂糖	四〇九、五〇九噸	サル爲販賣ナラン
米	四九、〇〇〇噸	リベルタ縣ラムバイケ縣ヲ主産地トシ粗米 六四、七五二噸ヲ産ス率實際ニ符合セザルガ如シ
小麥	八二、四三九噸	諸費噸數一致ス故ニ正確ナラン
グアノ鳥糞	二、五八一、〇三二噸	英「ペルビアンコーポレーション」ニ年二百萬噸輸出特權ヲ附與シアリ

「カルタピオ」砂糖耕地ハ元英人開拓ニ着手セシガ水不足ニテ放棄セシヲ獨人繼承シ、地下水ヲ利用業績舉ルヤ再ビ英人ノ手ニ買取り、現在資本金千萬磅内外ト聞ク、其他ノ郡中小砂糖耕地及製糖業ハ獨人八〇%内外ヲ占メ資本金二十萬磅ニ及ブト稱セラル。

農耕用諸器具機械ハ英米ヨリ輸入セラレ年五千萬「ソールス」ニ達ス殺虫劑ト共ニ邦人ノ研究ヲ要スル一題目ト考フルモノナリ。

諸外國モ未ダ大規模紡織工業ヲ營マザルモ「タンギス」綿使用ノ帆布製作邦人ニテ考慮スルハ如何ト思考ス。

林業 アマゾン上流地域ニ杉、マホガニー、チーク、バルサ、ケブラツチヨ、サテンウッド等密生スルモ運搬機

關ナキ爲「リマ」市ニテ木材、才一才相當容積ノ價四二「ソール」即チ日本貨三十四五圓(米松)ノ相場ニアルニ
不拘一九三六年僅々六十萬「ソール」ノ産出ニ過ギザリト聞ク。

水産業 「フンボルト」寒流ハ各種微生物ヲ持チテ當國海岸ヲ洗フ故ニ食餌多ク魚貝族殊ニ回游魚多キモ漁獲高一九
三六年度僅ニ二十萬「ソール」ニ過ギズ、當國人中ニ此ガ計畫スル者アリ、仍テ邦人ハ此ニ要スル船體器具機械
等ノ貿易漁業指導ヲナズ時貿易増進ニ資ストコロアラン。

一般製造工業 ハ頗ル幼稚ニシテ「セメント」製造業ノ如キ當國人經營ノモノ一社アリ、然レドモ品質悪シク且ツ
運賃高キ爲メ地方所用ノモノハ日本ノ供給ヲ受ケ毎邦船相等量ノ輸入ニ從事シ、當國産ハ工場所在地「リマ」市附
近小口需要ニ限ラル、又毛織物ノ如キモ高級品ハ英國品ノ輸入ニ求メ粗悪品ト雖モ國內ニ於ケル伊太利人工場産
ナリト如斯ナルヲ以テ伊太利人ハ入國ノ歴史モ古ク製造工業ニ相當ノ勢力ヲ有ス其能力大體左ノ如ク觀測サル。

毛織工業	八〇%	綿織工業	二五%	綿織工業	一〇%
皮革製造工業	七〇%	酒精工業	八〇%	製菓工業	五〇%

當國人經營ノモノハ縮織、製粉、麥酒、石鹼、煙草、絲織物、製粉、精糖、毛皮等ノ工業ニ及ビ資本金概算三億萬
「ソール」ナラント。

酒精産額九百萬「リットル」又製麵業ヲ營ム邦人數人アル模様ナリ
次ニ各産業部門工賃ヲ知ラント欲セシモ能ハズ、唯農業方面ノモノノミ稍確實ナルモノヲ入手セルニ付左ニ表示ス

(時ハ労働時間男、女欄ハ一日賃金ヲ表ス)

地 方 別	砂 掘		糖 工 場		綿 作		米 作		麥 作						
	時	男	時	女	時	男	時	女	時	男	時	女			
Amazonas															
Ancash					8	1.20	8	0.55	8	1.20	8	0.60	8	1.20	0.72
Arequipa					8	1.20	8	0.50	8	1.50	8	1.00	8	1.50	1.00
Apurimac					8	0.70	8	0.70	8	0.70	8	0.70	8	0.70	
Cajamarca					6	0.50	8	0.50	8	0.50	8	0.30	8	0.30	
Chacabuco	8	1.75	8	0.85	8	2.19									
Chiclayo	8	1.44	8	1.44	8	1.79									
Cusco															
Huanuco					8	1.20	7	0.60	8	0.30	8	1.00	8	1.00	
Islay	8	1.36	8	0.70	10	2.35									
Ica					8	1.60	8	1.20	7	0.80	8	0.40	8	1.50	1.00
Junin									7	0.80	7	0.40	8	1.50	1.00
Lima y Callao	8	1.88	8	0.80	9	2.75	8	2.00	8	1.80	8	0.80	8	2.00	1.20
Lambayeque							8	1.20	6	1.10	8	1.10	8	1.10	
La Libertad							6	1.20	7	1.10	8	1.10	8	1.20	

項目	数量(千噸)		價格(千ソール)		噸比	噸價格		備考
	輸入	輸出	輸入	輸出		輸入	輸出	
Loreto								
Madre de Dios								
Moquegua								
Otras Prov. Productoras	8	8	1.65	0.75	8	1.60	8	1.40
Produccion de La Sierra y de La	8	8	0.90	0.50	8	1.20	8	0.80
Mountain								
Piura								
Santa	8	8	1.80	0.80	8	2.40	8	1.08
San-martin								
Tarma								
Trujillo	8	8	2.03	1.27	8	2.40	8	1.43
Tumbes								
平均	8	8	1.75	0.83	8	2.18	8	1.73

第七項 商業並ニ貿易

最近三年間當國輸出入額表

年次	數量(千噸)		價格(千ソール)		噸比	噸價格		備考
	輸入	輸出	輸入	輸出		輸入	輸出	
一九三五	2011	2121	121033	202322	2112	2222	2222	出超

一九三六	2222	2222	2222	2222	2222	2222	2222	
一九三七	2222	2222	2222	2222	2222	2222	2222	

主要品目別輸出入額表 (一九三七年)

品名	輸入(ソール)		品名	輸出(ソール)	
	數量	價格		數量	價格
小麥	22,814	6,218	棉花	8,839	1,577
諸工業用機械器具	7,472	8,118	重油	8,337	4,446
自働車(トラック)	7,239	2,633	金、銀、銅、及	5,086	8,444
// (旅客用)	6,591	7,533	石	3,737	9,611
諸機械部分品	6,903	8,877	砂糖	3,758	7,999
綿製品	6,896	8,091	其他	73	2,699
包裝用麻袋	4,291	2,833			
其他	1,722	9,966			
合計	235,205	5,222	合計	365,440	44,466

最近三年間當國輸出入額主要國別表 (單位ソール)

船名	佛		英		自		其		合	
	艘	噸	艘	噸	艘	噸	艘	噸	艘	噸
ウアレホー	1	100							1	100
カスモン	1	100							1	100
サマンボ	1	100							1	100
チンボ	1	100							1	100
サラベリ	1	100							1	100
マラブリ	1	100							1	100
パカスマ	1	100							1	100
エテ	1	100							1	100
ビメン	1	100							1	100
セチ	1	100							1	100
パイヤ	1	100							1	100
タラ	1	100							1	100
ロビ	1	100							1	100
カー	1	100							1	100
マン	1	100							1	100
ソリ	1	100							1	100
プ	1	100							1	100
合計	11	1100							11	1100

二七

當國各港出入船國籍別表 (其三)

船名	佛		英		自		其		合	
	艘	噸	艘	噸	艘	噸	艘	噸	艘	噸
スー	1	100							1	100
ウ	1	100							1	100
チャン	1	100							1	100
ア	1	100							1	100
カイ	1	100							1	100
チ	1	100							1	100
セ	1	100							1	100
タン	1	100							1	100
ビ	1	100							1	100
ロ	1	100							1	100
チ	1	100							1	100
ア	1	100							1	100
モ	1	100							1	100
イ	1	100							1	100
ブ	1	100							1	100
イ	1	100							1	100
合計	11	1100							11	1100

二六

年次	一月	二月	三月	四月
一九三三年	107,000	117,000	117,000	117,000
一九三四年	117,000	117,000	117,000	117,000
一九三五年	117,000	117,000	117,000	117,000
一九三六年	117,000	117,000	117,000	117,000
一九三七年	117,000	117,000	117,000	117,000

年次	米貨				米貨			
	最	高	最	低	最	高	最	低
一九三三年	107,000	117,000	117,000	117,000	107,000	117,000	117,000	117,000
一九三四年	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000
一九三五年	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000
一九三六年	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000
一九三七年	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000

當國ニ航行スル日本船舶
 日本郵船株式會社所屬貨客船 毎月一艘
 川崎汽船株式會社所屬貨物船 毎月一艘
 最近五ヶ年米貨對當國爲替變動表

年次	米貨				米貨			
	最	高	最	低	最	高	最	低
一九三三年	107,000	117,000	117,000	117,000	107,000	117,000	117,000	117,000
一九三四年	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000
一九三五年	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000
一九三六年	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000
一九三七年	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000

當國輸出入貨物税金ノ最近五ヶ年表



第三編 「ペルー」國ト第三國ノ外交

當國ト歐洲大國トノ外交及米國トノ外交並ニ南米諸國トノ外交ノ三ニ大別シ得ベシ

第一ノモノハ五ニ遠隔ノ地ニ位シ居ルヲ以テ領土の欲求又ハ軍事の(現今英米獨逸合ノモノアリト聞ク)欲求ニ基ク政治的外交ノ存在少ク經濟的外交即チ貿易先驅外交專ラナリト見做スベク、最近實施セラレタル綿製品割當制ハ英公使ガ當國外務當局ト二時間ノ懇談ニ因リ英公使腹案實施ト成リシヤニ聞ク。

第二ノ米國ハ少シク趣ヲ異ニシ北中米ハ勿論南米諸國ヲモ自家藥籠中ノモノトナシ、政治的ニ軍事のニ産業的ニ隨從セシメントスルニアルヤ勿論ナリト雖モ近時事大思想陰ヲ沒セントスルニ加ヘ已往北米ガ此等三流國間ノ紛争ニ對處シ當ニ煮切ラザルモノアリ、信賴スルニ足ラズトノ念ヲ抱カシメタル事並ニ北米事業家商人ノ當國ニ於ケル壟斷專制振亦不快ノ念ヲ非生シメ其信威トミニ地ニ落テタル感アリ余ガ當國滯留中ニ開カレタル汎米會議ハ南米諸國ヲ牛耳ラントシテ「アルゼンチン」「ボリビヤ」諸國ノ反米言動ニヨリ破壞セラレ又此等諸國ヲ率キテ日支事變下ノ我邦ニ或種ノ行動ヲ爲サントセシ事亦露呈セリト巷間喧傳シ汎米會議ニ非ズ反米會議ニ終リタル觀ナキニ非ズ。

彼策者新策ヲ持シ捲土重來ヲ案ズルナランモ我等亦一考ヲ要セン

當國ハ英國ニ三百三十四萬餘磅、米國ニ八千三百萬弗ノ債務ヲ有スルモ利息ノ支拂元金ノ償還共ニ全カラズ殆ソド義務不履行ノ狀態ニアリト此等ガ利權ト變ズルナキヤ吾人ノ注視ヲ要スル所ニアラザルナキヤ。

第三ノ南米諸國間ノ外交ハ夫等國家間ノ單一外交ニ非ズシテ已往ハ夫レニ裏面ノ強國陰ニアリ往年ノ「バルカン」半島諸國ニモ比スベク五ニ國境ヲ争フ當國ト「コロンビヤ」間、當國「ボリビヤ」間往年ノ仇敵タリ、今ヤ彼等ヲ操リシ大國ハ自ラノ足元ニ專念シ彼等諸國五ニ疲弊シ國境紛争モ平和交渉ニ移リ平衡ヲ保ツ如キモ國力ヲ回復シタル者先ツ又野心ヲ起スカ仇討ノ行動ニ出ルナキヲ保セズ余ハ明ニ此ヲ觀取セリ吾人亦一考察アリテ然ルベキニアラザルナキヤ。

第四編 「ペルー」國ト我邦ノ外交

我邦ト當國トノ外交ハ二十數年前北米ヨリ閉出ニ會ヒタル移民ヲ當國ニ送りシヨリ本格的トシテ始マレリト稱スルモ不常ニアラザルベシ、其後當國ニモ排日起リ移民ノ禁止トナリ外交ハ多難トナリシト雖モ其他ニ未ダ政治的經濟的關係密ナラズ、從ツテ移民外交ニ過ザリシヤ否定シ得ザルベシ、然レドモ移民諸氏ノ奮闘ハ地歩ノ確保ヲ來シ我邦産業ノ發達進歩ハ當國ヲモ其市場トナスニ至リ諸外國ト市場争奪戰ヲ演ズル結果ヲ招來シ外交モ亦複雜微妙トナレリ。戰時態勢下ニ在ル我邦現狀ニテ此ヲ實行ニ移スニハ幾多ノ困難アルベシト雖モ機ハ再ビ來ルヤ否ヤ宜シク軍民一致外務當局ト連絡ヲ密ニシ胸襟ヲ開キテ談ジ相傍リ相援ケテ天與ヲ取得セラレン事ヲ希望ス。

第五編 「ペルー」國ニ於ケル在留邦人ノ現狀

第一項 一般在留邦人

當國在留邦人ヲ別チテ二種トシテ移民トシテ渡來セシ諸氏ト智識階級者トシテ各商社勤務ノ爲メ來秘セル諸氏此レナリ、然シテ移民出身者ハ勤勞ノ結果產ヲナシ智ヲ養ヒ一見識ヲ備ヘ事業家トナリシ諸氏モ亦カラズトスルモ未ダ低級職業ニ從事シ向上ノ途ニアル諸氏多數ヲ占ム、一面又移民勞動時代被監督者タリ他ハ監督者タリシ時代ノ感情ノ殘レルモアリ兩者ノ融和困難ナリト聞ク、遺憾ニ耐ヘズ、何人カ頭角ヲ顯シタル人物出デ統轄ヨリ一致報國ノ誠ヲ至サレン事ヲ望ム切ナル次第ナリ。

在留邦人ハ多ク耕地ヲ出デ都市ニ集中ス、即チ在留邦人ニ萬有餘中主都「リマ」市附近ニ在ルモノ一萬六千餘ナリト、此等都市ニ集レル同胞ハ先輩ノ苦心開拓シタル事業ヲ眞似次デ互ニ競争ス、此レ未ダ怨スベシ大資本家來リテ壓倒ス何ゾ移民出身出資者ノ耐ユル所ナランヤ。

此ノ流義ニヨリ都市ニ來リシ者理髮店ヲ開キ次デ雜貨小賣店ニ轉ジ卸商ニ進ムヲ順序トスルガ如ク尙進ミテ製造業ニ及ブ食品製造業ニ製麵業ニ相當成功シタル者アルハ概ブベク又耕地經營者ノアル意ヲ強クスルニ足ルト云フベシ。

因テ此ヲ看ルニ移民諸氏ハ自己ノ見分シタルモノ又ハ自己ノ近接シタル事アルモノニ職ヲ先ヅ轉ズルガ如シ依リテ此ノ向上心ヲ助長シ廣範圍職業智識ヲ普及スルノ施設ヲ行ヒ大資本家ハ襟度ヲ示シテ卸賣ニ留メ販賣ヲ夫等諸氏ニアクラシムトセバ在留同胞間ノ競争ヲ緩和シ廣範圍ニ外商ト拮抗シ得ベシト信ズ。

第二項 在留商社

太平洋貿易株式會社支店 當國登録資本金二十萬「ソールレス」一般日本雜貨並ニ板硝子「セメント」ヲ輸入シ當地產鑽石ヲ日本ニ輸出セント試ミツツアリ。

秘霧棉花株式會社支店 資本金百萬圓本業ハ「バルバ」耕地棉花栽培ニアルモ商事部ヲ設ケ日本製機械ノ輸入ニ努カシ又鑛山經營鑽石賣買業ヲ營メントツツアリ。

「レツテス」農事株式會社 資本金三十萬「ソールレス」「レツテス」耕地棉作ヲ業務トス。

其他個人ニテ耕地經營製麵業ヲ爲スモノ貿易ニ從事スルモノアリ、其資本金總額四千萬「ソールレス」ト見積ラル蓋シ南米西海岸在留邦人邦商ノ中堅ハ「ペルー」國ニ集ルト稱シ得ベシ。

第六編 「ペルー」國ノ鑛業

第一項 「ペルー」鑛物ノ種類ト分布

當國ノ鑛業ハ北米資本ニヨリ大規模經營ヲナス一團アリ老成ノ域ニアルモノト考ヘシ者余一人ナラザリシナランモ現地ヲ視ルニ及ビ幼稚ナルニ一驚ヲ吃セリ、即チ前記北米系經營鑛山附近以外ハ中央「アンデス」山脈以東ニ通ズルノ方法ナク海岸山脈ニ達スル交通路モ亦整備セザルノ狀態ナルヲ以テ鑛業發展タタル故アリト謂フベシ。

而シテ今日迄ニ發見サレタルモノハ大部分海山脈西側ノモノニシテ、各種蒐集品ニ就キ又當該關係官衙ニ就キ研究スルニ硫化鑛石斷然壓倒的存在ヲ示シ、酸化鑛ハ鐵鑛トシテアルモ他ノ一般金屬鑛トシテハ少シ、自然金屬鑛トシテハ

砂金及岩金アルノミ復鹽類鑛、砒酸、鹽酸、鹽類鑛ハ片塊ダモアルナシ。
 此ヲ量ヨリ觀ル時ハ銅鑛卷ニシテ鉛鉄等此ニ次グガ如シ「モリブデン」「タングステン」モ相當産スルモノト推サレ
 各種「バナヂニウム」鑛ノ産出殊ニ含「バナヂニウム」無煙炭ハ特異ノ産出タルベシ。
 將來中央「アンデス」山脈ノ開發行ハルル時、鑛物ノ種類ハ金屬種ト共ニ成分種類モ増加スベク、國境山脈ニ接近セ
 バ一層各種各様ノ經濟的鑛種ヲ増スモノト考ヘ又砂金ノ發見サルルモノ並ニ石油ノ發見サルル多カラント信ゼラル。
 今石油省發表ノ豫想地ヲ記セバ左ノ如シ

太平洋岸地區 「ソリトリス」南方「ボカバン」地方

「マンコラ」灣附近「ラブリエタ」地方

東部森林地帯「ロレト」縣「ワリアガ」河附近「バラシカ」地方

「ウアリヤガマラヨン」河地方

「マドレデオス」縣「サンマルチン」縣「マドレデオス」河流域

「アマゾン」縣「サンウイゴ」河附近

南部地方「クスコ」縣「チエキバンピリア」地方「バルバタ」地方

次ニ左ニ諸表ヲ掲ゲ當國鑛物ノ種類分布趨勢ヲ表示セントス

(一) 縣別鑛業權設定(着手、未着手)件數表

縣名	一九三五年		一九三六年		一九三七年	
	未着手	着手	未着手	着手	未着手	着手
ツンベス	八九	八七四	八九	八七五	六六	七四八
ピウラ	一〇九	五、一八四	一〇九	五、一八四	一〇九	五、一八四
ランバイケ	三	三	一	一	一	一
ラリベルタ	四七八	一、九〇〇	四七五	一、九三〇	四七	二、〇五四
カハマルカ	三三三	九八九	三三三	六六六	二四	七六五
アンカツシエ	三七六	二、〇六一	三六五	一、七九九	三九七	一、九四五
リマ	七四四	三、四八〇	七三三	三、三三九	七五	三、四三五
イカ	四	三三	四	三三	五	二七
ウアヌコ	一三四	三、五四	一三五	三、五六	一三三	四三三
フニン	三、六五五	一〇、〇四七	三、三六九	八、七九六	三、四八八	六、九四六
ウアンカベリカ	二六三	八八三	二六九	九五二	三三三	一、一五
アヤクチャ	一九	一、〇〇〇	一九	一、二九四	四	一、七三四
アレキーバ	一四二	五三七	一四二	五四九	一四二	五五三
アブリマツク	一五	三三九	一五	三三九	一五	三三九
クスコ	一三	五四三	一三	五四三	一五	六〇四
ブーノ	一三五	二、三三五	一四〇	二、二六九	一五三	二、二七九
モケグア	三	六六	三	六八	一	二

(四) 金産額鑛山別縣別表
(注意) 此等ノ鑛山中金銀ノミ産スルモノ殆ンドナシ副産物ナリ

鑛山名	資本國系	會社系統	縣別	一九三六年	一九三七年
Cerro de pasco Copper Corp	北米	[C]	フリニ	一、四三三、三〇〇	一、九〇六、四七三
Northern Peru Mining Co. (Peru)	北米	[C]	ラ、リ、ベルタ	五九、五九六	四、四六、四七三
Nort en Peru Mining Co. (Millachapay)	北米	[C]	フニ	三六、〇七六	三〇九、〇八九
Cia. Minera National	北米	[C]	イニ	二、四八、五八〇	六、三三、四八九
Cia. Aurifera Saranaca	北米	[C]	イニ	四〇九、六六八	六〇三、一四六
Sindicato Minera Parcoy	北米	[C]	ラ、リ、ベルタ	一七、三八三	五九、五九九
Cia. Aurifera Nasca	北米	[C]	イニ	三六、八八三	五、四一、八二〇
Cia. Aurifera Arequipa	北米	[C]	イニ	一八五、八七九	四、九七、六三三
Carl's Rizo Paron	北米	[C]	フニ	四三、七五五	一、六、七〇〇
Cia. Aurifera Baillongo	北米	[C]	ラ、リ、ベルタ	一	一、八、二四四
Ica Mining Co.	秘魯	[C]	イニ	二二、三三三	八、八、八七七
Cia. Minera Calliana	秘魯	[C]	アレキ	五九、〇〇八	八、五、六三三
Soc. Min. Ason Carmen Chahuca	秘魯	[C]	アレキ	一	七、五、〇〇〇
Lizardo A. Proano	秘魯	[C]	アレキ	七九、七六二	五九、八六二
Valdel Mining Co.	秘魯	[C]	アレキ	一三、四九六	四、六、六七
Empresa Minera Viso	秘魯	[C]	アレキ	四三、九三三	四、〇、〇三三

Sindicato Minera Pataz	英國	[C]	リメルタ	一	三〇、一三三
Empresa Rio Grande	英國	[C]	アレキ	一	三〇、〇〇〇
Federico Van Rosellen	獨逸	[C]	リマ	七、三三八	二、八、三六六
San Antonio de Potos	獨逸	[C]	フニ	一五、一一一	二、四、五八八
Manuel B. Liza	獨逸	[C]	フニ	一	一九、〇〇〇
L. Caerres	獨逸	[C]	フニ	一	一六、九四四
Cajabamba Mining Co.	英國	[C]	アンカ	一一、七九九	一四、九三〇
Rajkovic & Ivan	英國	[C]	アンカ	九、六六〇	一三、五五九
Guerrem Espinosa	英國	[C]	ニ	一一、五三三	一三、七四〇
Soc. Minera Peruviodoccha	英國	[C]	ニ	一一、五三〇	一〇、九九〇
Vanos Productos	英國	[C]	ニ	一一、五三三	九〇、七六八
Various Lavaderos	英國	[C]	各縣	一、一〇〇、〇〇〇	一、九、四四、〇〇〇
				四、七、四〇、四三三	六、六、六六、〇六三

(五) 鑛業従業員調べ表

事務員單價八月一人當算出勞働者ハ一ヶ月ノ勞働日數ヲ二十三日トシ一人一日當算出

年次	人		賃金(ソール)		單價	
	事務員	労働者	事務員	労働者	事務員	労働者
一九三五年	一、五〇四	一七八五	五、八九一、四〇〇	一八、〇九四、三〇五	三、三六	三、〇一七
一九三六年	一、五八九	二九、四二八	七、二九一、七五五	二五、二七五、九三三	三、七七	三、〇一三

第二項 「ペルー」 國人ノ鑛業ニ對スル觀念並ニ鑛業

傳説其他ヨリ判ズルニ「インカ」帝國時代鑛業ノ最モ發達セシハ「チチカカ」湖ヲ中心トシテ東南方現「ポリビヤ」國領土並ニ現當國「クスコ」附近地區ナリシガ如ク西班牙國領有後モ亦此ノ地域ヨリノ鑛產物ヲ多量ニ本國ニ送リシガ如シ。

故ニ當國ノ大部分ニ亙リ父祖ヨリ當國ニ居住スルモノ白人系タルト土民族タルトヲ問ハズ鑛物、鑛業等ニ對シ見聞スルノ機會ナク智識ヲ有セザリシヤ必セリ。

因テ現今盛大ニ探行サレツツアル鑛山ノ大部分ハ當國獨立後ニ渡來セル白人ニヨリテ發見サレ此ヲ其本國ニ送リテ鑑定研究シ其本國ヨリ資金ヲ仰ギ後援ヲ得タル又不思議ニアラザルベシ。

實際ヲ觀テ豐富ナル鑛物ヲ藏スル當國ニ於テ當國人ノ業ヲ爲サザル亦原因ナカルベカラズ、夫レ當國ハ農耕地ニ恵マレ白人系ハ多ク地主トシテ不勞所得アリ、土民族亦父祖傳來共同耕作ニ農奴ニ安ジテ生活ヲ樂ムヲ得タルト父祖以來鑛業ニ接セズ智識ヲ有セズ偶々着手セル者モ經營良シキヲ得ズ、失敗ニ終リタル者モアルベク鑛業ヲ危險視シ起業スルニ至ラザリシガ如シ。

然シテ歐洲大戰時ノ好況ハ當國人ヲ刺激シ鑛業方面ニ始メテ乗出シタルモノ無キニアラザルモ同戰後ノ不況期ニ善處スルヲ得ズ廢休業シ當國代表鑛業會社「セロ、デ、バスコ」株一株三弗ニテ願ル者無カリシト傳ヘラルル程鑛業事業ハ當國人ノ興味ヲ引カザリシガ如シ。

然シテ數年前ヨリノ鑛業活況ハ當國人ヲ注意ヲ喚起シ前記鑛山株八十數倍ノ値ヲ稱フルニ至リ、鑛業熱ヲ煽リ資本家ノ興味ヲ抱シメ食指助クノ態トナリ、當國政府亦鑛物研究分析所ヲ設ケ獎勵ニ勉メ益々熱ヲ高メツ、アル一面又其發達ヲ阻害シ鑛業熱ヲ冷却スル反作用行ハレツ、アルハ見逃スベカラザル現象トス今此等ヲ左ニ列舉セン。

(一) 鑛業熱ヲ煽ル重ナル原因

- (1) 露頭ノ存在豐富ニシテ尠山ハ其ヲ發見ニ容易ナル事即チ一鑛業權獲得迄ニ費用少キ事
 - (2) 露頭部ヨリ經濟的價值アルモノヲ産スル事即チ探鑛費不要ニ近ク小屋隱費ヲ用意スル事ノミニテ着手シ得ル事
 - (3) 農業ノ行詰リタル事
 - (4) 當國人ノ投機的行爲好愛心理
- (二) 鑛業熱ヲ冷ス重ナル原因
- (1) 鑛物豐富ナル爲メ鑛業權ノ獲得ハ直チニ日常相當額ノミノ利ヲモ産マザル事
 - (2) 事業家資本家ノ投機心理ハ確定鑛量ヲ藏スル鑛山ヨリモ値安鑛區ヲ好ム傾向アル事
 - (3) 當國技術者ニ出願手續、鑑定ヲ依頼シタル場合自己ノ權利トナラズ他人ニ歸スル事アリ技術者ヲ信用セザル事
 - (4) 使傭者ニ盜癖者多キ事

(5) 買鑛業者ハ不正搾取手段ヲ弄スル奸商タル事

以上ノ如キ原因ニヨリ發展セントシテ伸ビザル状態ニアルヲ以テ余ノ短キ滞在ナリシニ不係月數百噸ノ買鑛契約ヲ希望スル者調査ヲ希望スル者買鑛ヲ條件トシ又ハ共同契約ニヨリ出資ヲ希望スルモノ在留邦商社ヲ通ジ公館ヲ通ジテ又直接ニ申込ミタルヲ見ルモ將來ヲトスルニタラン。

第三項 在留邦人ノ鑛業

在留邦人ノ多數ハ農業經驗者ナルモ鑛業的智識ナシ而シテ都市ニ集中セントスルハ農夫ヨリ小資本家力買業者タラシキ事ヲ目的トシテ來ルモノノ結果ハ同業同胞相競フ事トナリ市場ノ廣カラザル當國ニテハ共ニ倒ルルニ至ル故ニ兩三年前ヨリ鑛業ニ着目シ在留日本人會役員ハ費用ヲ日本人會ニテ負擔スルヲ以テ技師招聘人選方ヲ領事館ニ申請セシモ實現セズ今日ニ至リタル由ナルヲ以テ適當ナル指導ヲ與ヘ在留邦人ニ職ヲ得セシムル獎勵ノ意味ニテ鑛物輸入許可爲替許可ヲ迅速ニ指令セラルルニ於テハ小資ヨク運轉ヲナシ鑛山自營ニ又鑛石買業者ニ從事スルモノ續出スベシ。

現在ハ鑛鑛ヲ採掘シ居ルモノ砂金ヲ採取シ居ル者等鑛區設定件數十件アリ山尙石油採取權ヲ有スルモノモアリト聞ク。

第四項 第三國人又ハ商社ノ鑛業

金屬相場ノ變動ハ一盛一衰ヲ業蹟ニ表シタルヤ必セリト雖モ現在盛ニ稼行中ノモノハ第三國人又ハ商社ノ經營ニ限ラルト稱スルモ不可ナカルベキ程ナリ第六編第一項第四表ハ産金ノミヲ表シタルモノナルモ他ハ推察スルニ難カラザルベシ。

鑛石買業者亦第三國人ノ獨占タル觀アリ即チ左ノ如ク

- (1) W. E. Grass Co. (猶太系)
- (2) Hochild (主トシテ金銀モリブテン、タングステン鉛等ノ鑛石)

第七編 「ベル」國ト我邦一般貿易ノ將來

一般貿易ハ余ノ受命事項外ニ屬スルモ鑛物輸入ニ伴フ爲替尻ヲ考フル時又鑛業ニ關連シタル商品モ亦存在スルニ鑑ミ特ニ一編ヲ設ケ概説セントス。

英米獨商社ハ競フテ機械類其他ノ見本ヲ陳列シ其ノ使用法ヲ懇切ニ指導シツツアルニ不拘邦商ハ商ハントスル商品ノ智識充分ナラザルノミナラズ内地製造業者トノ連絡モ不完全ニシテ尙見本ヲ提示セズ、商行為ヲ行ハントスル第三國ノ後座ヲ拜ス無理カラザル事トス。

左記商品ハ充分販路開拓ノ餘地アリト信ズルヲ以テ政府又ハ工業都市ニ於テ陳列場ヲ設ケルカ又ハ陳列場ニ對スル補助ヲナシ貨物又ハ精巧ナル模型ノ陳列ヲ業者ニ委囑シ西班牙語ニテ懇切ニ記載シ意匠ヲ凝シタル型錄ヲ備ヘ以テ在留邦人ヲ選定商ハシムルニ於テハ貿易ノ振興ト共ニ在留邦人職業指導ノ一端トナリ一舉兩得ニアラザルナキヤ。

- (1) 鑛山用機械 鑿岩機運鑛車等小型ナルモノ「ポンプ」捲揚機、鑿井機、手働ボーリング機、及其附屬品
- (2) 選鑛機械 碎岩機、ロール碎岩機、ボールミル、ロッドミル、デガー、クラシフアイヤー、シクナー各種テーブル、浮選品

- (3) 土木機械 各種ホイスト、グレーン、セメントミキサー
 - (4) 製作機械 旋盤、ボーリング機等小修繕用小型機、ホッピングマシン、シャーリングマシン等
 - (5) 電気機械 鑛山中型以下ノ發電機、電動機及其附屬計器及機具
 - (6) 發動機 重油機關、重油輕油機關車
 - (7) 爆發藥類 (各種)
 - (8) 銅線、銅網、電線 (各種)
 - (9) 鐵線、鐵網、鐵索 (索道用品モ必要ナリ)
 - (10) セメントスレート (屋根用)
- 尙進ミテハ

船舶用機關器具

農耕用機械器具 (年五千萬圓ノ輸入アリ五年ニテ使用ニ耐ヘズト)
 農業用殺虫劑 (當國ノ害虫ヲ研究シ配劑ヲ要ス)
 ベイント等化學製品

第八編 「ペルー」國ト我邦鑛物貿易ノ將來

當國ハ鑛物ニ富ミ概シテ智利ノモノニ比シ品位高ク機械鑛鑿可能タリ、在留邦人多シ適當ニ指導シ保護獎勵スル時

ハ智利國ニ於テ我邦ノ買鑛ニヨリ利シツアル第三國人ノ莫大ナル利益ハ邦人ニ歸スル事トナルベシ前途洋々タルモノアルヲ信ズ。

第九編 「ペルー」國鑛業ニ對スル我邦人ノ將來

當國ノ鑛物ニ富ム各項記述ノ如シ、當國ノ現況ハ鑛業ニ對シ混淆ノ域ヲ脱セズ、在留邦人鑛業ニ活路ヲ求ントス時期ハ今ナリ、指導ト保護獎勵ノ機ナリ我今取ラズンバ獨逸國民取ラン政府速ニ既定方針ニ則リ施策シ我邦人我在留邦人ラジテ他國民ヨリ一步先ジシメラレン事ヲ願フ。

第十編 視察シタル鑛山ノ各論

第一項 バルバ鑛山

位置 「リマ」縣「チャンカイ」郡「バルバ」耕地「コンドル」山
 地質 「バルバ」耕地事務所ハ海抜三百六十米ニシテ其所ト「コンドル」山ヲ繋グ線ヨリ北東海抜六百五十米内外迄ノ地域ハ古生層(寒武利亞系ナラン)ニ屬スル下部粘板岩上部硅岩ヨリ成リ同線ノ南西及海抜六百五十米以上ノ高地ハ石英閃綠岩ヨリ成リ此ヲ貫キテ圖示ノ如キ位置ニ安山岩脈狀ヲナシテ露出シ居ルガ如シ。
 鑛床 本山ノ鑛床トモ目スベキハ前記安山岩中ニ生成セル微細ナル裂隙充填鑛床ト認ムベク石英脈ニ多少ノ貴銅

鑛ヲ伴ヒ露頭部ハ酸化シテ硫酸銅炭酸銅等ニ變ジ居レリ部位ハ附圖(1)ノ位置ニシテ其構造見取圖ハ附圖添付セルガ如シ透附試料(2)ハ其多孔性石英部ノモノナリ。
尙(2)ノ部位ニ開掘シタル跡アルモ脈石鑛石ヲ認メズ何レモ問題ニアラザルベシ。

第二項 ザヤブーヨ鑛山

位置カハマルカ縣カハバンバ郡サヤブーヨ村地質、本山ハ金屬鑛區郡ト無煙炭鑛區郡トヨリ成ル鑛區内ハ大體ニ於テ古生層寒武利亞系若クバ志留利亞系ニ屬シ東部金屬鑛區ニテハ泥岩粘板岩石灰岩ノ互層ヨリ成ル無煙炭鑛區ニテハ粘板岩ヲ主トス。

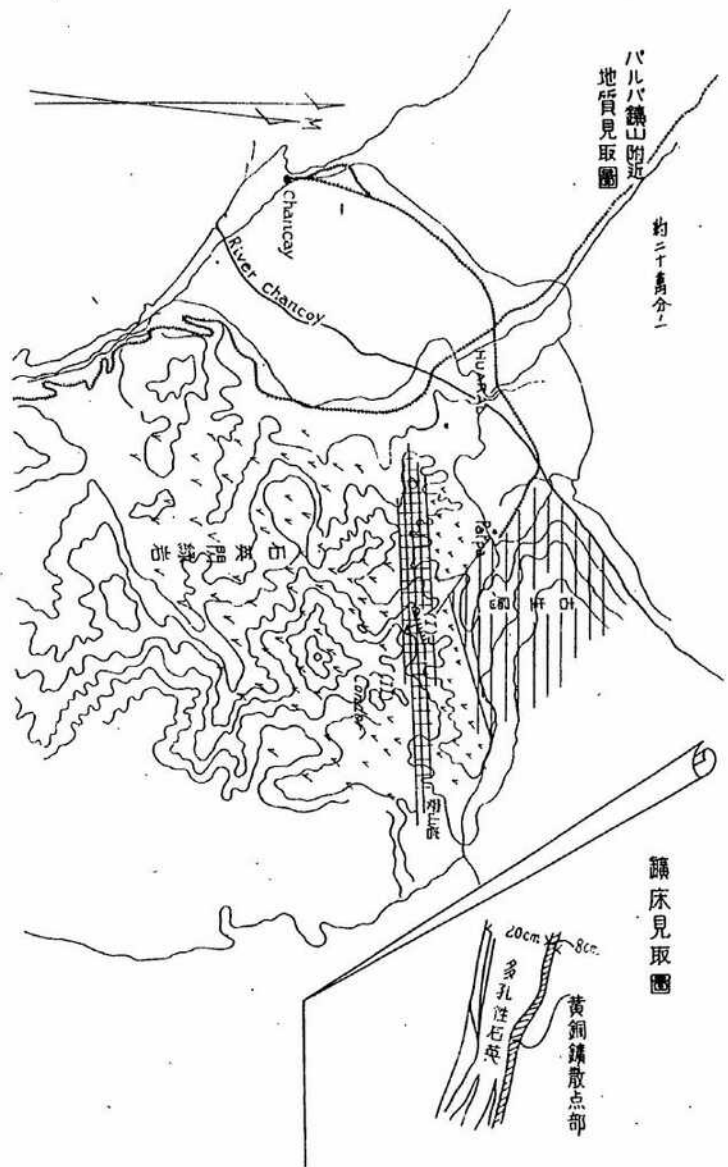
第一圖本鑛區附近ノ平面圖ニ示ス如キ位置方向ニ石英粗面岩ノ岩脈存在シ居ルガ如シ。

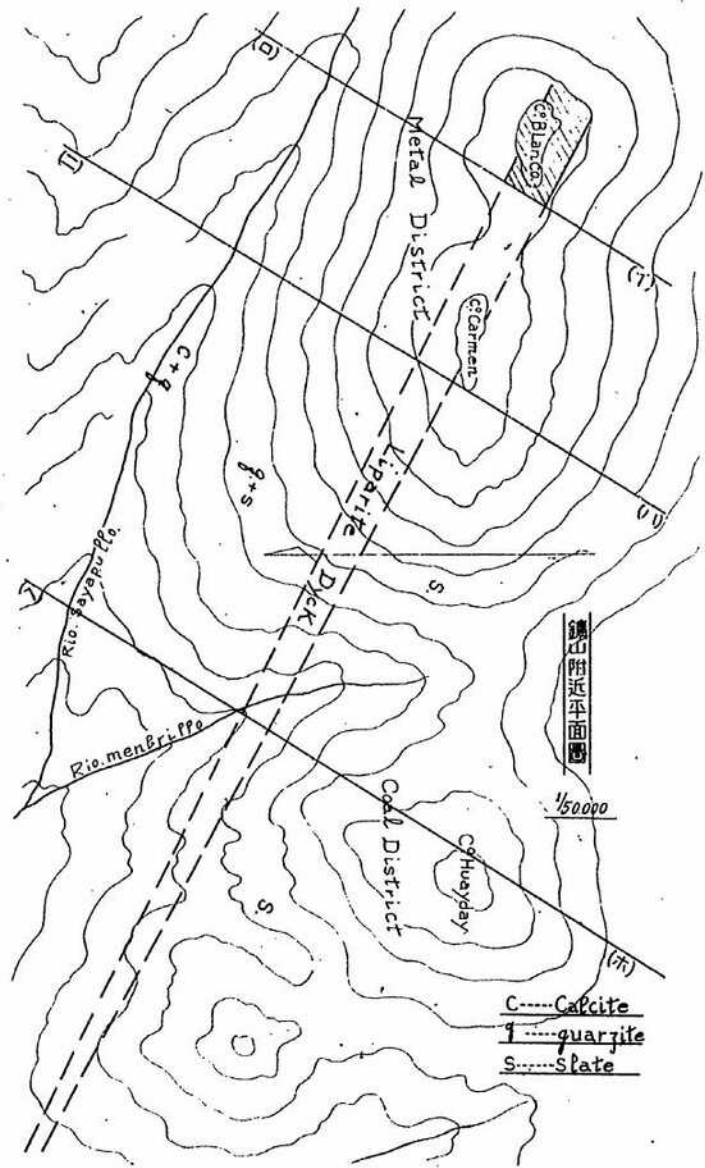
右ノ石英粗面岩ハ西ハ「シンブロン」谷ニ東ハ鑛區内ノ最高峯「フランヨ」山ニ現ル(第二圖參照)
前記古生層ハ大體走向百二十度傾斜ハ西南ニ四十度乃至七十度ナリ。

鑛床 本山ノ金屬鑛床ヲ大別シテ二トスルヲ得ベシ、一ハ前記成層岩中ニ鑛染作用ニテ生成セルモノ、他ハ前記石英粗面岩脈中ノ裂隙ヲ充填セル裂隙充填鑛床トス。

其等鑛脈ノ走向傾斜ハ大體岩層ノ夫等ト一致ス即チ成層岩ノ層ト層ノ間ニ鑛染作用ヲ濃厚ニ受ケタル部分ハ鑛脈越ヲナシ其鑛脈ノ中間母岩層ヲモ一體ニ鑛染シタル場所ハ兩三脈合一シテ塊狀ヲナシ居ルガ如シ、其部位ヲ示ス時ハ第三圖ノ如シ

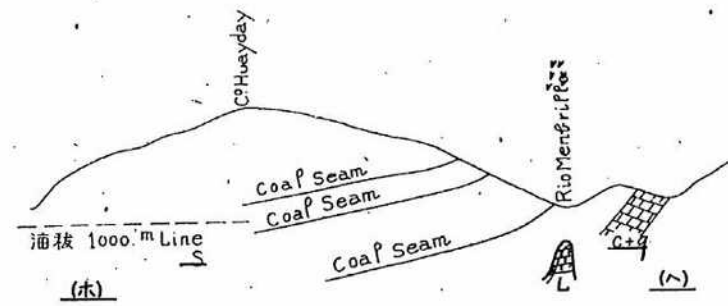
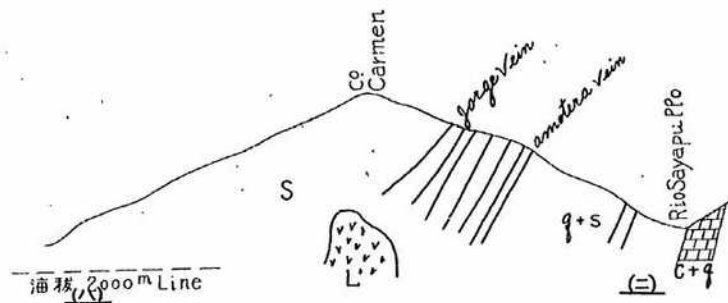
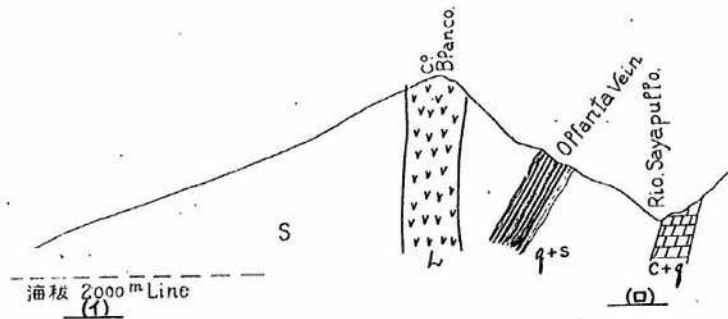
石英粗面岩中ニ生成セル裂隙充填鑛床ノ露頭位置ハ海拔四千米ニ近ク登攀困難ナル爲メ實査セザリシモ大體成層岩

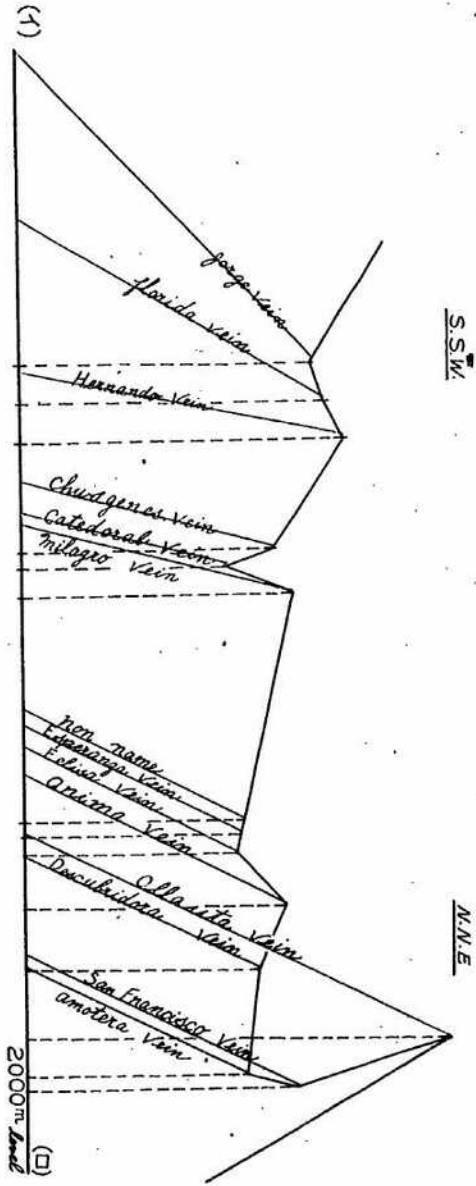




断面圖 1/50,000

c Calcite q
s SPate L



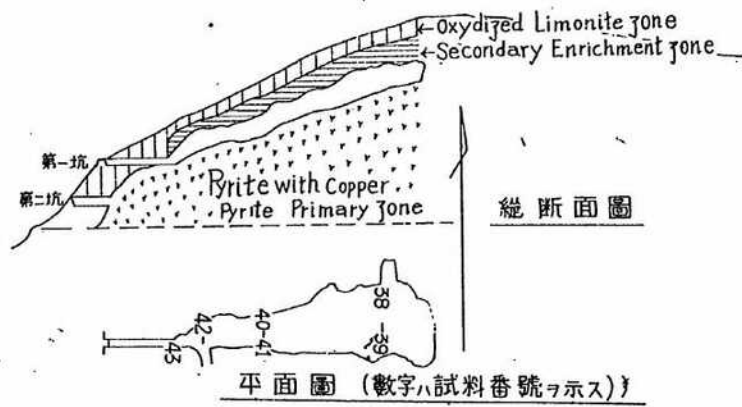


S.S.W.

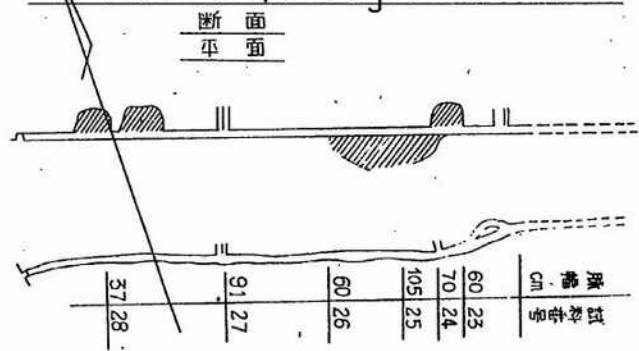
N.N.E.

サヤブヨ鑛山
イロ線方向ヨリ見たル鑛脈位置圖

第四圖 Oppanta Vein 1/2500



第五圖 Esperanza Vein 1/2500



中ノモノト同一走向ヲ有スルガ如シ。

左ニ余ガ實査シタル鑛脈ヲ東ヨリ順ニ説明セントス。

(I) オヤンタ脈郡

(1) オヤンタ鑛脈 本脈ハ鑛脈ト云フヨリモ寧ロ塊狀ト稱スルヲ至當トスルニアラズヤト考ヘラルル程膨大ナルモノニテ正確ナル走向不明ナルモ大體八十度乃至百四十度ノ間ヲ往來スルガ如ク母岩ハ粘板岩及珪岩ナルガ如シ幅員ハ二十米乃至五十米ナルガ如シ。

往時採行ノ方法ハ其走向ニ沿フテ東向ニ坑道ヲ開掘シ地表下第二次酸化富鑛帶ヲ追フテ地表ニ並行シテ登リ坑道ヲ開鑿シタルモノニシテ最も廣キ所ハ左右ニ二十米突探掘シ上部モ亦手ノ届ク限り探掘シアルモ此ヲ整理スル時ハ六一七%ノ含銅鑛ヲ多量ニ得ベク更ニ東進スル時ハ往時同様三〇—四〇%ノ含銅鑛ヲ産スベシ其登リ坑道ノ踏前以下ハ第一次性銅鑛ニシテ含銅品位二四%黄鐵鑛ヲ多量ニ隨伴ス。

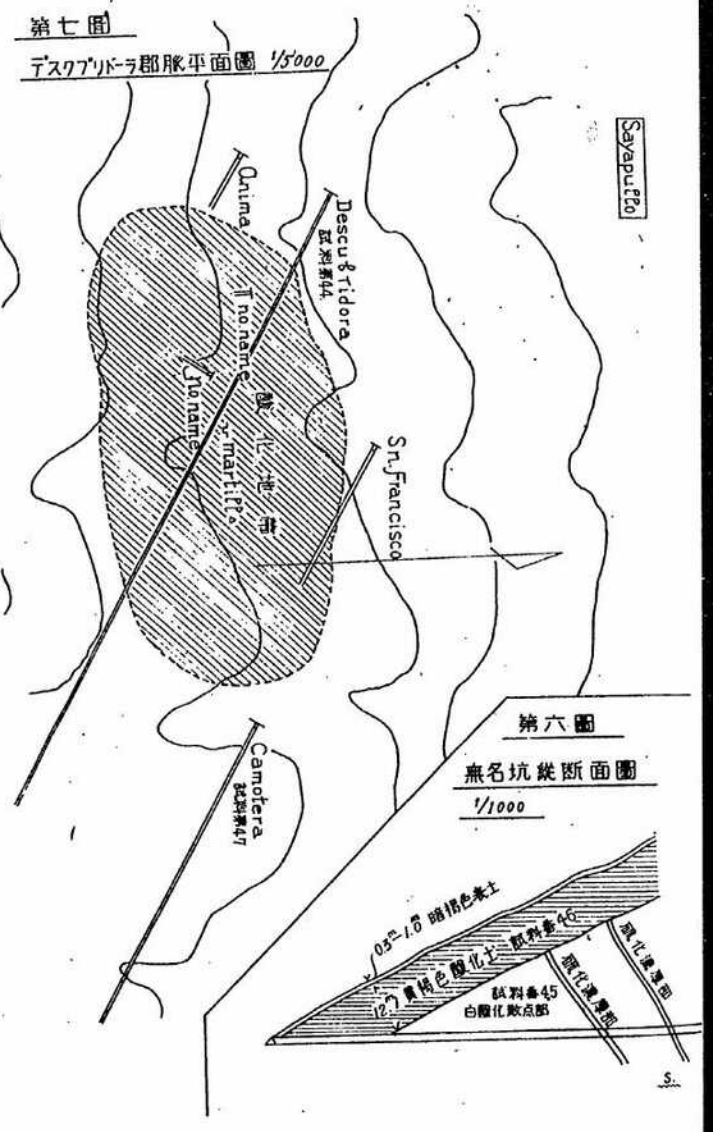
尙併行シテ數脈アリ充分精査セバ露天掘好適スルニアラズヤト思考サル。

(II) デスクブドリドラ脈郡

(2) カモテーラ鑛脈 走向三百度傾斜西南六十五度露頭部ニテハ接近シテ三脈アリ最も古キ舊坑ノ一ニシテ四百米東南方ニ掘押坑道ヲナシ盛ニ採掘シタル由ナルモ崩解部アリ入坑スルヲ得ズ鑛脈ノ幅員〇・六米内外ト見受けタリ。

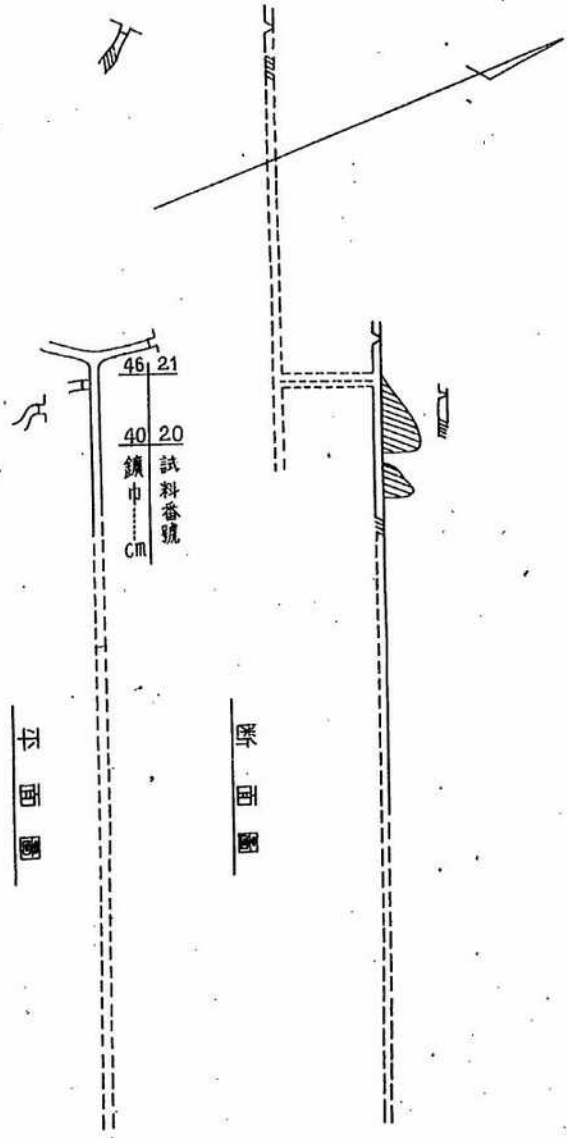
(3) サンフランシスコ鑛脈 此亦舊坑ニシテ入ルヲ得ズ岩石ノ模様ヨリ見ル時大體前者ト同一状態ニアリ往年盛ニ採掘シ銀分最も多カリシト云ハル。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



- 第五六
- (4) マルテイヨ鑛脈 コレモ亦舊坑ニシテ入ルヲ得ザルモ觀ヒ得タル所ニテハ走向三百度内外傾斜西南ニ六十五度ヲ有シ鑛幅〇・五米以上ヲ有スルガ如シ延長不明六十年程前最モ多量ノ鑛石ヲ産シタリト傳ヘラル。
 - (5) デスクブドリ鑛脈 本脈ノ走向三百度傾斜西南六十五度鑛石ノ濃厚ナル部分ノ幅員、三米總鑛染部幅員二百米以上ニシテ西班牙總督時代ノ隸行ナリト開ク延長千七百米ノ坑道開掘サレ居ルト云フモ坑口ヨリ十數米ノ所ニテ崩解シ居リ全部ヲ見得ザルモ銅分少ク銀ヲ目的トセシモノノ如シ。
 - (6) ナニマ鑛脈 走向二百八十度傾斜ハ西南ニ六十四度ナリ此亦西班牙時代ノ舊坑タリ幅員四米内外銅少ク銀多キガ如シ。
 - (7) エスベランザ鑛脈 露頭ノ幅員二十米ニシテ高巨四十米ノ間隔ヲ保チテ上下各一坑ヲ有ス走向百十度傾斜西南六十度其見取圖ヲ示ス時ハ第五圖ノ如シ。
 - (8) エリサ鑛脈 第七號坑口ノ北方五十米所ニテ直高差十米ノ位置ニ開口サレタル脈ニシテ坑道延長三十米含銅品位二%内外ノ自硫化鐵鑛ニシテ幅員露頭部ニテ五米坑内ハ全部同一鑛質タリ低品位ナルノ故ヲ以テ一切採掘シ居ラス將來熔鑛爐熔劑トシテ恰好ノ材料タラン。
 - 以上諸脈ノ位置關係ヲ示セバ第七圖ノ如シ。
 - (9) 此等一群脈ノ間ニ現今二個ノ無名坑ヲ開キ探鑛ヲ行ヒツツアリ、何レモ含銅五%内外ノ自硫化鐵鑛ヲ散點ス一坑ハ脈押シニ他坑ハ堅入ナリ今堅入坑ノ縦斷面ヲ示ス時ハ第六圖ノ如ク其黄褐色酸化土ノ黄表ハ地表面數十萬坪ニ及ブ察スルニ此等諸脈ハ鑛染作用ヲ受ケタル岩石中ニ綿狀濃厚部ヲ生ジタルモノナルベク六十年前「キヤブテン、マ

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



平面图

剖面图

第八圖 Milagro Vein 1/500.

ルチン」ニヨリ此ノ黄褐色酸化土ハ金銀鑛トシテ採掘セラレ本山事務所附近ニ使用シタル石臼ト共ニ此ノ鑛滓ニ萬
噸内外アリ尙含有金分二〇%鑛残り居ルト聞ク。

此ノ部分ハ將來ノ好露天掘地城ヲラン

(Ⅲ) ラ、カテドラル脈那

(10) ミラグロ鑛脈 走向三百度傾斜西南七十五度鑛幅〇・五米ニシテ十數年前最モ出鑛量多カリシ山ナリ今其見取
圖ヲ示ス時ハ第八圖ノ如シ。

(11) レスタウドラ鑛脈 第十脈ノ坑口ノ西方ニテ高低差四十米ノ下位ニ開坑サル。

(12) チュスゴネス鑛脈 第十一號坑口ノ西方ニテ更ニ高低差四十米下位ニ開坑サレ多量ノ含銅鑛水ヲ放出ス。

(13) アルカンシア 第十二號坑口ノ更ニ西方ニテ高低差十米ノ下位ニ開坑サル。

何レモ危險ニシテ入ルベカラズ然レドモ廢石ヨリ見ル時ハ相當稼行セシハ事實ニシテ其廢石ノ見積量一萬五千噸品
位四%内外ナラン。

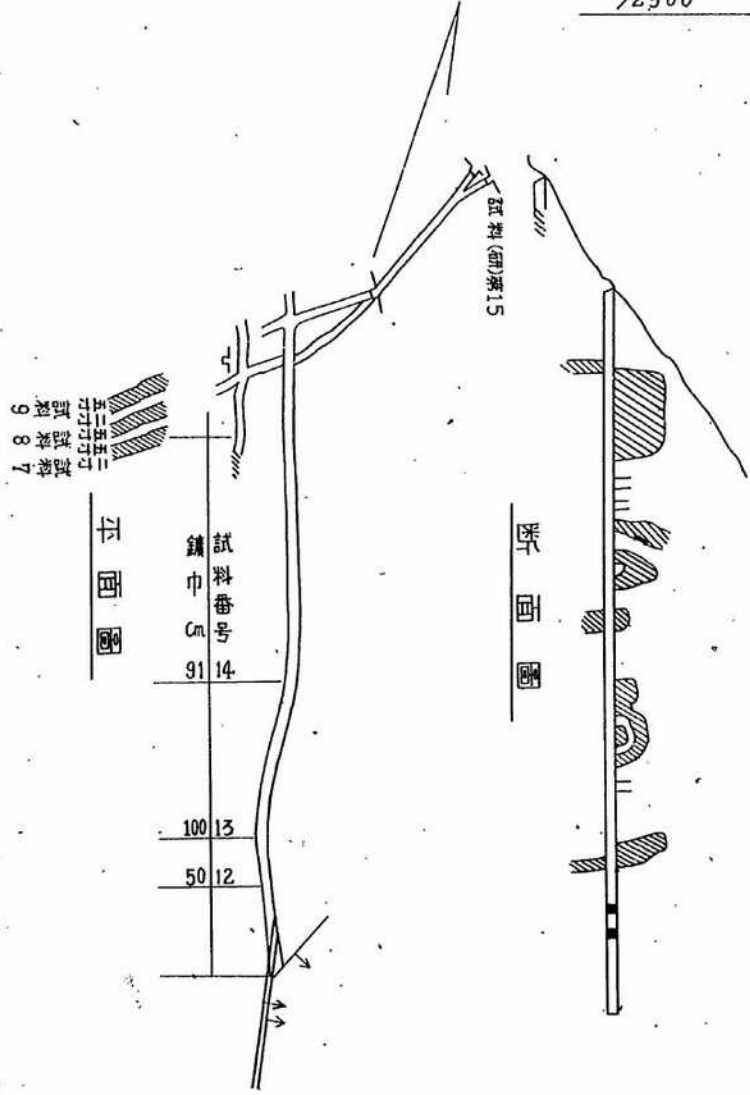
(14) ラ、カテドラル鑛脈 未着手露頭ナルモ硫化鐵鑛ノ幅員十五米走向百三十度傾斜判明セズ含銅三%内外ニシテ多
少ノ金銀ヲ含ミ居ルガ如シ。

以上ノ諸脈ハ一郡ヲナシ其中間ノ母岩ガ濃厚ナル鑛染作用ヲ受ケタル部分アリ其幅員百米以上ニ達スルモノノ如ク
將來ノ探鑛ニ期待スル事大ナルモノアリ。

(Ⅳ) 含鉛鑛脈那

第九圖 Corte de Florida Vein

1/2500



第三項 カラク 鑛山

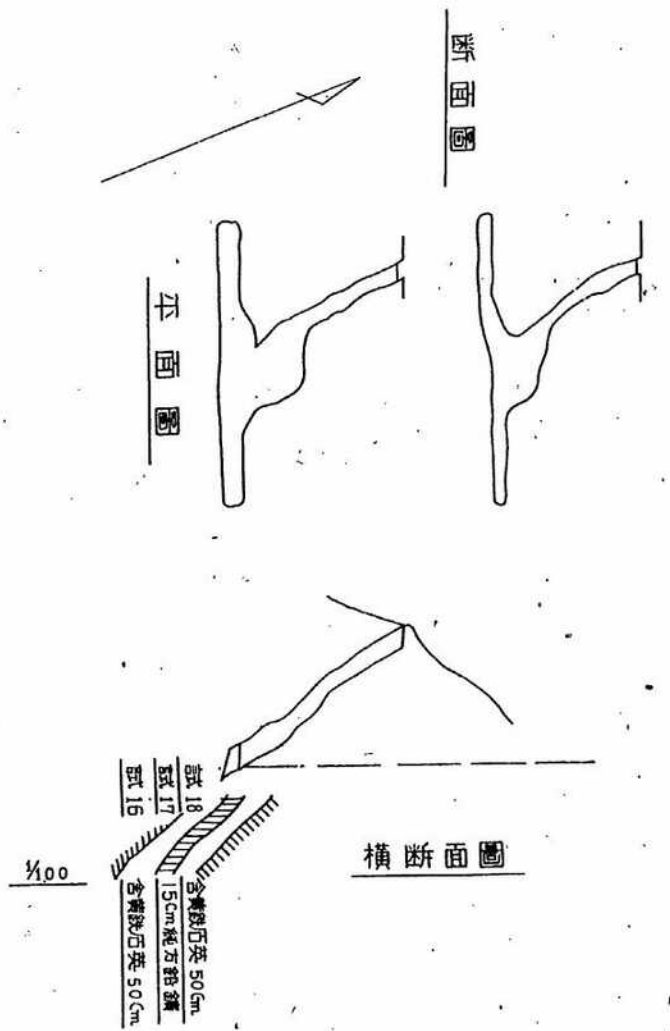
位置 リマ縣カクタ郡カラク村

地質 本鑛區一帶ハ石英粗面岩ヨリ成ル其石英粗面岩ハ當國海岸山脈ノ最高點附近ニアル古生層ニ屬スル粘板岩、硅岩並ビニ安山岩等ノ錯雜シタル地殻ノ一部ニ噴出シタルモノノ如シ。

鑛床 從ツテ前記石英粗面岩ガ噴出凝固スルニ際シ網狀裂隙ヲ生ジ其ニ石英及鑛物ヲ充填シタル網狀裂隙充填鑛床ニ屬ス此ノ附近ヲ精査セバ他ニ幾多ノ裂隙充填鑛床及接觸鑛床ヲ發見スベク鑛物モ亦單ニ鉄ノミニ限ラレザルベシ。

- (15) エルマント鑛脈 六十年前ノ稼行ニ懸リ無數ノ坑口開カル入坑スルヲ得ズ狀態判明セザルモ走向ハ東西ランク傾斜ハ南八十度鑛幅〇・五米内外ナラン。
- (16) フロリダ鑛脈 走向百二十度乃至百六十度傾斜西南ニ五十二度乃至六十度ニシテ黃銅、黃鐵、方鉛、閃亜鉛等ノ諸鑛物ヲ粘板岩中ニ鑛染シタルモノナリ其狀態ハ第九圖ノ如シ。
- (17) ホルヘ鑛脈 走向百十度傾斜南四十二度鑛石ハ方鉛鑛ヲ主トス其坑内及組織ノ見取圖ヲ示ス時ハ第十圖ノ如シ。

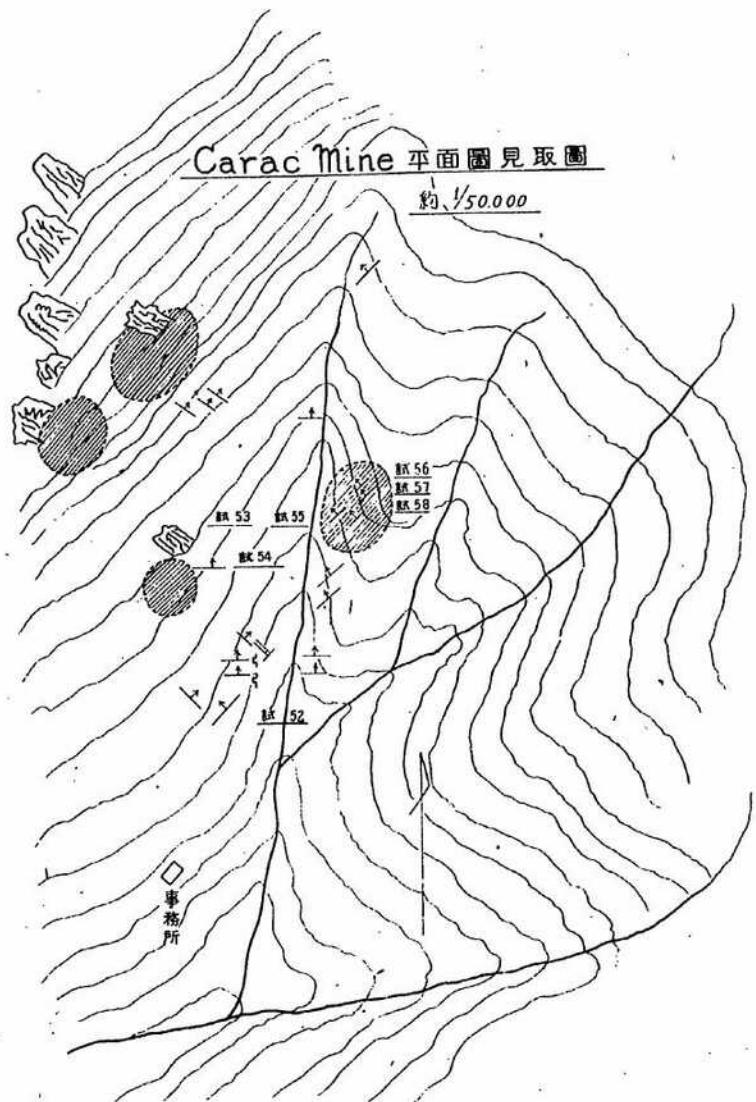
第一圖 Jorge Vein 1/1000





Carac Mine 平面圖見取圖

約 1/50,000



現在ハ合金銀鍍ニシテ鑛脈ハ無數ナリ、今此等ヲ裂縫ノ方向ニヨリ三種ニ區別シ得ベシ即チ九十度脈、四十五度脈、三百十五度脈トス而シテ其等ノ何レニ屬スルモノモ脈幅細キ物程高品位結晶狀輝安鍍(七〇%)ヲ産スルモ隱現常ナシ又脈幅ノ廣キモノ程非結晶質ニシテ低品位(三〇—三五%)タルヲ免レズ、然シテ此等角度ノ異ナル二種又ハ三種ノ網脈ノ集合又ハ合一交錯シクル處ハ塊狀鑛床ニアラズヤト考ヘラルル程廣大ナル地區ニ涉リ輝鍍鍍散點ス、其平均品位一〇—一五%タリ面積ハ二百米平方ニ及ブ其狀態ハ附屬見取圖ヲ參照セラレタシ。
之ヲ要スルニ當山ニハ水力アリ水力ニヨリ機械選鑛ヲ採用シ品位鍍ヲ多量ニ取扱ヒナバ有利ナリト認ム尙發電ストセバ「カラク」部落ニ送電點燈セバ七八百燈ノ營業ヲナシ得ベシ。

第二章 ポリビア國

第一編 ポリビヤ國國勢

第一項 位置 其他

當國ハ南米大陸ノ西海岸ニアルニ國ニシテ海岸線ヲ有セズ南緯九度ヨリ二十五度西經五十七度内外ヨリ六十九度ノ間ニ在リ(國境未ダ確定セザルモノアリ)北ハ「ブラジル」國ト東ハ「ブラジル」國及「パラグアイ」國ト南ハ「アルゼンチン」及智利國、西ハ「ペルー」國智利國ト境ス國土ノ廣袤及人口ハ一九三六年ニ於テ左ノ如シ。

面積 三一四、五九五平方哩 (日本全土ノ約三倍)

人口 二九一一、〇〇〇人弱 (一平方哩約九人)

内 譯 土人五割、白人二割混血三割

第二項地 勢

智利「アルゼンチン」兩國ノ國境ヲ北上セル本「アンデス」山脈ハ「アルゼンチン」智利ト當國ノ三國國境附近ニテ其偉容ヲ新ニシ且ツ二分シ共一ハ當國ノ西邊ヲ通りテ「チチカカ」湖ノ西方ヲ「ペルー」國ニ入り同國ノ中央山脈トナル他ハ當國ノ中央ヲ稍西ニ偏シテ北上シ「チチカカ」湖ノ東邊ヲ北走シテ秘魯國ニ入り同國ノ東山脈トナル此ノ二山脈ノ中間ハ高原地帯ヲ形成シ居レリ即チ當國ノ西半ハ南米大陸ノ家根ヲナシ東側ハ急傾斜ヲナシテ低地帯トナリ「アマゾン」河上流及ビ「ピルカマヨ」河上流ノ沖積積層帯トナル。
高原地帯ハ海拔四千米山岳地帯ハ海拔七千米ヲ突破スルモノモ平均六千米内外ニシテ低地帯ハ僅ニ海拔三百米内外ニ過ギズ。
山岳高原兩地帯ト低地帯ノ比率ハ四對六内外ナルガ如シ。

第三項氣 候

當國ハ熱帶國ニ屬シ低地帯ハ温度高キモ高原地帯ハ盛カラズ四季ヲ通ジ日本内地ノ春期ニ相當シ夏期ト雖モ日没後ハ冷氣ヲ感ジ六千米以上ノ山岳地帯ニアリテハ盛夏尙降積雪ヲ見ル。
十二、一、二、三ヶ月ハ當國ノ雨期ニ相當シ相當ノ雨量アリ又山岳地帯ノ解雪水ノ流下スルモノアリ各河川一年ヲ通ジテ流水ヲ絶タズ因リテ海拔四千米ノ高原ニ於テ尙耕作ヲナス。

氣象觀測機關殆ンドナク此ヲ表示スル資料無キヲ遺憾トス

第四項交 通

當國ハ海岸線ヲ有セズ從フテ交通機關ハ陸上交通機關ニ限ラル而シテ低地帯ニハ道路ラシキ道路スラナキ狀態ナルヲ以テ勢ヒ主都又ハ其他ノ都市ト都市ノ連絡及夫等ト他國領海港ヲ結ブ鐵道ノ外ナシ今此ヲ概説セン。
國都ヲ中心ニ西走スルモノニ線南走スルモノニ線(始メ一線ニシテ途中ヨリ分岐ス)トス。
西走スルモノノ一ハ主都ヨリ「チチカカ」湖「グアキ」ニ至リ此處ヨリ湖上汽船ニヨリ「ペルー」國同湖西畔「ブノー」ニ至リ「ペルー」國南部鐵道ト連絡シ同國「モリエンド」港ニ通ズルモノ他ノ一ハ主都ト智利國最北端ノ港「イキケ」港トヲ連結スル國有鐵道トス。
南走スルモノハ主都ヨリ當國第二ノ都市「オルロ」市ニ至リ尙南下國境ニ出デ智利國「アントファガスタ」港ニ通ズル英資鐵道(其支線ニ「コチャバンバ」ニ至ルモノト「ポトシ」ニ至ルモノトアリ)又途中ヨリ分岐シテ「アルゼンチン」國境ニ至リ更ニ「アルゼンチン」國首府「ベノスアイレス」ニ通ズル鐵道トス。
當國ハ一九三九年中ニ「コチャバンバ」ヨリ「アマゾン」支流ニ通ズル自動車路開鑿ヲ終ル計畫ノモトニ兵士ヲ使役中ナリト聞ク。
即チ當國トシテハ鑛業ヲ興スト共ニ低地帯ノ開發ニ専念セザレバ國力ノ回復望ムベカラズ從フテ將來ハ交通機關ノ擴充ヲ計リ天産物ノ輸出ヲ計ルベキ順序ニアリ。

第五項 民族及民度

當國ハ第一項ニ記載ノ如ク土民族及ビ其混血兒多數ヲ占ムルハ改メテ記述スル迄モナシト雖モ其土民種ハ又三種族ヨリナル由ニテ各使用土語ヲ異ニシ「ペルー」國ノ土民族ト異リ西班牙語ヲ解セズ又解セントセズ主都「ラパス」郡ニ居スルモノモ各ノ土語ヲ公然使用シ固有衣服ヲ纏フノミナラズ主都ヨリ少シク巨リタル土地ニテハ納稅ノ義務ヲ解セズ政府ハ安價ナル菓子玩具ヲ持テ商人ヲ派シテ金ト交換セシメ其差金ヲ稅トシテ收納スト傳ヘラルル程ナルヲ以テ「ペルー」國ノ土民同様に生活様式ニ加ヘ一層文化ニ近ヅカザル點アリ故ニ山野ニテ事業ヲ爲ス場合土語ニ據ラザレバ土民ノ使役困難ナル場合アリ又僱侶ノ説得ヲ要スル場合モアリシヤニ聞ク混血兒ハ勿論白系人種ニテモ國家意識ナク最近ノ「パラグアイ」戰ニテモ政府ハ市ニ壯丁ヲ物色拉致セントスルニ對シ若者ハ山間遊地ニ隠レタル等ノ事實アリシヤニテモ分明ナルベシ。

連年ノ外患ハ國力ノ疲弊ヲ來シ從テ國民一般ニ食シク資本家事業家殆ンド無ク唯地主階級ニ富有者アルモ有賴ナル生活ヲ營ムノミニテ資金ノ蓄積迄ニハ至ラズ從テ隔通運轉ヲ爲シ得ザルベク事業ノ興ラザル當然ト云フベシ。

第六項 産業 (一般)

農業 低地豊穰地帯ハ密林ニ覆ハレ開拓スル者モナシ唯高原地帯ノ瘦土ヲ耕作スルノミ國民食料ノ半數モ亦國外ヨリ輸入サルト謂ハレ又多少開拓サレタル部分ノ產物モ運輸機關ナキ爲メ移送スルモ反リテ輸入品ヨリ高價トナルヲ以テ旁々農業モ古來ノ共同耕作ノ範圍ヨリ脱セザルガ如シ。

現在ノ農作物ハ小麦咖啡「コカ」煙草等ニ過ギズ。

牧畜 本業モ亦牧草少キ高原地帯ニテ在來種ノ放牧ヲ爲スノミ牛馬豚等ノ平地家畜ヲ輸入シテ改良ヲ計ルモ風土

ノ加減ナラン數年ナラズシテ皆野生ニ變ズト聞ク。

現在ハ山岳地帯特有ノ「アルパカ」「ヴィイクニヤ」「ヤーマ」等ヲ保護放牧シテ運輸機關トシテ使用シ牛馬豚ヲ飼養シテ食料トナシ綿羊ヲ飼ヒテ衣食ノ料ト爲ス。

林業 全土ノ三分ノ二ヲ占ムル密林地帯ニハ黒檀「マホガニー」杉、花梨、「サテンウッド」胡桃等十四五種ノ良材ヲ輸スルモ運輸機關ナキ爲メ未開拓ニアリ目下道路開鑿中ノモノアリ多少面目ヲ改メラナラシカ。

一般製造工業 頗ル幼稚ニシテ國內ノ需要ヲ滿シ得ズ、近來毛織工業、石鹼製造業、製菓工業ニ多少見ルベキモノ産レタルガ如キモ國民ノ大多數ハ自給自足シ居ルヲ以テ狹範圍ノモノ以外開拓ノ餘地少キモノト思考サル。

第七項 商業並ニ貿易

當國ニハ海港ヲ有セズ外國貿易ハ往時「アマゾン」河ニヨリ「ブラジル」國ヲ經テ行ハレタル由ナルモ現在ハ「ペルー」國「モリエンド」港及智利國「アリカ」港、「アントファガスタ」港ヲ經テ行ハルルカ又ハ「アルゼンチン」國「ラ、キアカ」ヲ經テ行ハルル由、明確ナル數字不明ナルモ最近ノ輸入九億四千萬「ボリビアノ」輸出七億二千「ボリビアノ」等ノ年額ナリト稱セラル。

「パラグアイ」戰後ハ國力ノ疲弊ニ伴ヒ貿易モ亦一度不振ノ狀ナリト聞ク。

輸入品ノ六割九分迄ハ製造品ニシテ一割一分ハ原料及米製品ナリ、残り二割ノ大部分ハ食料品ナリ。製造品ノ主ナルモノハ綿布、綿製品及毛織等ノ紡績品ニシテ機械器具等ノ鐵製品、武器、此ニ次ギ其他石鹼硝子等トス。

食料品 米、大麥、小麥、砂糖、家畜等數ヘラル。

原料手製品中ニハ「セメント」石炭、牧草、建築材、石油等主タリ。

此等輸出入ノ九割ハ太平洋岸諸港ヨリ爲サレ其又六割ハ智利國ノ港灣ニ依ル。

輸入品ノ仕入先ハ米國三割、英國二割五分、智利國二割、「アルゼンチン」國、佛國、此ニ次グト云ハル。

當國ト我邦トノ貿易關係ハ不振ニシテ二三邦商從事シ日本ヨリ輸入サルモノ一九三六年ニ金額七百五十萬「ボリ

ピアノ」ニシテ商品ハ米、綿織物、同製品、麻袋、玩具、鐵器、「セメント」其他雜貨等ナリ、當國ヨリ我邦ニ

輸出サルモノ殆ンドナク最近鐵物ノ取扱ヲ試ムルモノアルモ微々タルモノナリ。

當國ニハ外國銀行ノ設立設置ヲ許サズ商業従事者ハ當國人多ク皆小資ニシテ大商社ナシ貿易ノ不振察スルニ難カラズ。

第二編 ポリビヤ國ノ政情

當國ノ政治ト稱スル一部軍人政治家ノ掌握スル處ニシテ土地山岳地帯ト密林地帯ニ偏在スルヲ以テ歐米大國ヲ脊影トスル政變ニモ非ズ又大資本家ヲ脊影トシテ行ハルル政治ニモ非ルガ如シ。

吾人政變ト聞ク時大事變ヲ想像スルモ當國ノ革命乃至政變トハ數人乃至數十名ノ軍警ヲ卒ヒテ大統領官舎ヲ占據セバ足ル頻繁ナル故ナントセズ國民一般大衆ハ其革命政變ニ無關心タルヤ勿論ナリ。

一度政變起ルヤ官吏ハ殆ンド全部更迭サルヲ以テ上ハ大官ヨリ下小吏ニ至ル迄國事ヲ利用セントスル皆然リ故ニ當國ニハ一定ノ國策ナキニ近シ右傾モナク左傾モナシト斷ジ得ベシ強ヒテ稱セバ資本主義論者ナラン何トナレバ資本家ト結託スル事ニヨリ政治家ハ自己ノ慾心ヲ満足セシメ得ベク大衆ハ各種勞働ニヨリ收入ノ途ヲ發見スルヲ以テナリ此等ハ外國人投資家ノ見通スベカラザル點ナラン。

第三編 「ボリビヤ」國ト第三國ノ外交

當國ト歐洲強國トノ間ニハ軍事上政治上等等ノ連鎖モアルナク産業貿易モ亦關係重カラザルノ感アルヲ以テ外交的ニ閑散タルガ如シ。

米國ハ米兩大陸「モンロー」主權ノ立前ヨリ多少ノ關心ヲ有スルガ如キモ軍事的、政治的、産業貿易的ナル實質的關連少キヲ以テ積極的ニ行動セズ南米ノ一國ナル軒並外交ヲ持スルガ如シ。

故ニ歐米大陸トノ外交ハ平穩無事ナリト謂フ可シ。

降テ當國ト隣接南米諸國トノ間ニハ獨立以來國境線ニ關連シテ紛騷絶ヘズ智利國然リ「ペルー」國然リ現ニ「巴拉グアイ」國トノ戰ハ終局セリト雖モ國境線ハ未ダ兩國間ニ商議サレツツ解決ニ至ラズ其都度國土ヲ失フ者當國タリ戰ノ結果ハ國土ヲ狭ムルニ止マラズ國力民力ハ疲弊シ外交ハ困難ニ信用ハ失墜シ國歩艱難トナル將來モ亦紛騷ナシトセズ外交ハ益々多難ナルベシ。

第四編 「ボリビヤ」 國ト我邦ノ外交

當國ニハ我邦人ノ在留スル者八百ニ滿タズ貿易モ亦不振裡ニアリ從テ領事館分館モ置カレズ關係ノ薄キ推シテ知ルベシ將來公使館分館位ハ設置セラレ諸強國ノ注意セザル内ニ産業ニ貿易ニ確固タル我邦ノ地歩ヲ占ムル機努力セラレン事ヲ希望ス。

第五編 「ボリビヤ」 國ニ於ケル在留邦人ノ現狀

第一項 一般在留邦人

前項記載ノ如ク當國在留邦人數八百名ニ滿タズ「ベル」ニ入國セル移民ノ流レニシテ當國主都ノ外、他都市ニ於テモ商業ニ從事シ「バラグアイ」戰ニ皆相當ノ蓄財ヲ得タルガ如キモ未ダ其實力ハ微々タルモノニシテ邦貨五萬圓程度ノ資産ヲ握リシ者ヲ成功者ニ數フ「ベル」國在留邦人ノ成功者ト比較スベキニ非ズ然シナガラ當國ノ下層級人民ト摩擦ヲ起スガ如キ低級職業ヲ營ム者モナシ從テ當國人ヨリ相等ノ信賴ヲ受ケ在留民間ニモ競争ナカリシガ如キモ智利國在留商社ノ指導影響ニヨリ鑛産物ノ輸出ヲ試ムルニ至リ嫉視反目セントスル傾向ニアリ嘆ズベシ。

第二項 在留商社

當國トノ貿易關係々タリ從テ大商社ノ來リ開クモノナシ皆一萬圓乃至五萬圓ノ資金ヲ擁シテ開ケル個人商店ニ過ギズ此等ハ時ニヨリ商品ニヨリ大商社ノ代理ヲ行フ程度タリ。

第六編 「ボリビヤ」 國ノ鑛業

第一項 「ボリビヤ」 國ト鑛物ノ種類ト分布

當國ノ鑛業ハ大體ニ於テ幼稚ノ域ヲ脱セズ錫鑛業多少見ルベシ然ルニ各種鑛物ノ存在ハ頗ル豊富ニシテ經濟的ニモ鑛物學的ニモ珍ラシキモノヲ産ス今先ヅ元素別ニ説明スル時ハ左ノ如シ。

錫 當國鑛産物ノ大宗ニシテ東山脈ノ北「チチカカ」湖畔ヨリ南ハ國境ニ至ル全地域ヨリ産シ産出狀態ニ鑛ト脈砂鑛トノ二種アリ何レモ(Castente (Sno₂))ノ形ニテ産ス共出鑛物トシテ黃鐵鑛又ハ白硫鐵鑛最モ多キガ如ク砂鑛ニテハ砂金ト共出シ又蒼鉛トモ共出ス。

共産額一九三六年ニ二七、〇〇〇噸ヲ産シ二五、五〇〇噸ヲ輸出シタリト聞クモ正確ナラス。今聞キ得タル重要錫鑛山ト經營會社名ヲ舉ル時ハ左ノ如シ。

鑛 山 名	所 在 地	鑛 山 名	所 在 地
Milhui	Potosi	San Jose de Oruro	Oruro
Araca	"	Marocaca	
Monte Blanco	"	Huanani	
El Seabo-de-Oruro	La Paz	Avayaya	
Colquiri		Negro Pabelon	Oruro
Beregucla		Cerro rito de Potosi	Potosi

Treasures		Oriaca	
Urca	Potosi	El Choque	"
Lilalagua	"	La Salvadora	"

會社名左ノ如シ

會社名	國籍	會社名	國籍
Palmo Mines	佛人名英	Fabiosa mine	英 共
Aramayo	英	Avicaya	英 共
Unificada de Potosi Oruro	米	Boliviana Tin Corp	米
Hoschild	米 (猶太)	Asociacion de potosi	米
Trepp	蘭	Oruro. La. Paz	英

金山 ハ山金ト砂金ニシテ何レモ自然金ノ状態ニテ産ス。

山金 ハ古代地質ニ近代地質ニ共ニ包藏セラレ「インカ」時代ヨリ盛ニ探掘セラレシモ西班牙國侵略時埋セラレタルママ今日迄發見セラレザルモノ相當ニ存スルガ如ク又西班牙時代ハ主トシテ古代地質ノモノヲ探掘シタルガ如シ。

砂金 ハ當國ノ全地域ニ涉ルト稱スルモ過言ニアラザルガ如ク粒ノ大ナルハ一塊千瓦ニ達スルモノアルヤニ聞ク錫鐵(砂錫)ト共出スル場合多シ現在知ラレタル主ナル地帯ハ「アマゾン」上流一帯「パラグアイ」河上流地帯一

圓「ボトシ」縣「リベス」地方ヨリ隣接「チニキサカ」縣「アセロ」郡等ナリト聞クモ余ハ寧ロ西北地方「マドレデディオス」河「ベニ」河流域ヨリ東部一帯ノ地域即チ西班牙時代盛ニ採取セリト傳ベラルル地域ノ下底ニアリト推察ス。

如斯自他共ニ無盡藏ト稱セラルルニ不拘一九三六年ノ産額僅ニ二七八疋ト發表セララル。

銀 ハ各地方ニ産スルガ如ク西班牙領有時「ペルー」東南地方ト共ニ多量ノ産額ヲ本國ニ輸出シ西班牙國ノ繁榮ヲ成サシメタリト傳ヘラルルニ不拘現今ニテハ衰微シ其跡サヘ判明セザルモノ多シ從テ産額等モ不明ナルモ「ボトシ」地方「ワンチャカ」地方「コルグエチャカ」「ボルコ」地方等西部高原地方有名ナリト聞ク。

産出鑛石ハ左ノ如シ

Native Silver (Ag)	Argentic (Ag S)
Native Sulfur (Ag S)	Miseryite (Ag. Sb. S.)
Matidite (Ag Biss)	Stefanite (Ag Sb S.)

銅 ハ輸出額ニ於テ錫ニ次グ主トシテ米英ニ輸出サレ其額年七千疋ナリト。

銅ハ東山脈ニ高品位鑛ヲ産スルガ如ク土語ニ「Varilla」ト稱スルハ自然銅鑛ナラン八〇%鑛ニ達スルモノヲ多量ニ産スト聞ク如斯キ良鑛時々河川ニ流出スル由ニテ余ノ實見セシモノ自然銅ニテ一塊六疋ニ及ブモノアリタリ今當國著名ノ自然銅山ヲ列舉セバ左ノ如シ。

Potosi	Potosi	Chayanta	Potosi
Charcas	"	Arque	Oruro

又未着手ナレド矚目サレツアル地方ヲ舉レバ左ノ如シ

Caracoto	Munecas
Onasaycos	Camporicán

當國ノ銅鑛ハ左ノ如シ

Native Copper (Cu)	Bornite (Cu ₅ FeS ₄)
Chalcopyrite (Cu Fe S ₂)	Aldersonite (Cu Cl ₂ 3Cu(OH) ₂)
Chalocite (Cu ₂ S)	Esmeraldite (Cu ₂ As ₂ S ₄)
Cuprite (Cu ₂ O)	Malachite Cu ₂ CO ₃ (OH) ₂
Azurite (2Cu CO ₃ Cu(OH) ₂)	Chalcosulfite (Cu Sb S ₂)
Brochantite (Cu SO ₄ Ca(OH) ₂)	Domeykite (Cu ₂ As)
Chrysocolla (CuSiO ₃ (OH))	Tetraehrite (3Cu ₂ S Sb ₂ S ₂)

鉛 當國輸出鑛物ノ第四位ニアリ相當豐富ナルガ如ク含銀量高シト聞ク鑛石ハ左ノ如シ。

Galena (PbS)	Cylindrite (Pb ₂ Sn ₄ FeSb ₂ S ₁₂)
Conchoidalite (Pb Se)	Massicotite (PbO)

Bournonite (2Pb S Cu ₂ S Sb ₂ S ₄)	Anglesite (Pb SO ₄)
Tellurite (Pb Sn S ₂)	Li. arite (Pb Sn Cu(OH) ₂)
Flankelite (Pb Sn Fe Sb S ₄)	Dechlorite (Pb Zn (Pb OH) V ₂)

産地ハ全國ニ渉ルモノノ如シ

鍍 往年輸出鑛物ノ第二位ヲ占メタルモ相場ノ下落ニヨリ衰微シ現在余ノ實見シタル所ニテハ金ト共用スル場

合金ノミヲ採集シ餘ハ放棄シ居ルモノアル程當國人ハ願ザルナリ主産地ハ左ナリト聞ク

Huanani 地方	Paeojos 縣	Antigua 地方
Japacuri 地方	La. paz 縣	Cochabamba 縣
Lago Poopo 地方	Ayapaya 縣	Potosi 縣 Cilitas 地方

鍍物ノ種類左ノ如シ

Silbrite (SbS)	Native Antimony (Sb)
Vilmannite (NiSb ₂)	Chalcosulfite (Cu Sb S ₂) 其他Cu, Sb 各種配列ノ硫化物
Dyscrasite (Ag Sb)	各種鉛錫配列ノ硫化物
Myargyrite (Ag SbS)	各種錫銻配列ノ硫化物

著 鉛 當國ハ蒼鉛ノ世界的産地ニシテ蒼鉛ト蒼鉛鑛ノ二種ニテ現ハル共ニ豐富ナリ一九三六年ノ産額二千噸内

外ナリ

礦物ノ種類左ノ如シ

七二

Native Bismuth (Bi)	Tetradymite (Bi ₂ TeS ₂)	Bismite (Bi ₂ O ₃)
Bismuthinite (Bi ₂ Se ₃)	Matthiäite (Ag ₂ S, Sb ₂ S ₃)	

タンクステン 此亦當國各所ニ産スルモ東山脈中ニ大脈アリト傳ハラル鑛石ハ二種ニシテ Wolframite (FeMn)WO₄

Scheelite CaWO₄ニ限ラルル如シ

鐵 外國有鑛物ニシテ未着手ナリ主産地左ニ

Lapaz ノ西方 Ingury 地方 San. Curug 縣東南地方 Puerto Suarez 地方

鑛種ハ Hematite (Fe₂O₃) Ilmenite (FeTiO₃) Limonite (Fe₂O₃ + aq) Magnetite (Fe₃O₄)ナルモノ第一ノモノ

最モ良シク品位七〇%ニ及ブト

ニツケル、コバルト 大戰當時「Tapacari」郡「Tapacari」村地方ヨリ多量ニ産セシモ現在ハ休業シ多量ノ研アリ其ヲ

選別分析セシニ Co. 六% As. 四% Ni. 三%アリタリト聞ク同山ノ鑛幅四〇〇m 乃至一kmナリト

其他白金亞鉛ヲモ産スル山ナルモ量少キガ如シ硫黃砒素等相當ノ埋藏量アリ高品位ナリト傳フ岩鹽硼酸等モ高原

地帯ニ産スルモ運賃ノ關係ニテ將來性薄ク「ダイヤモンド」紅玉「サフワイヤ」等モ産スル由

石綿 モ亦各所ニ産ス Lapaz 地方 Cochabamba 縣 Chapape 郡 Cotacani 地方ニ廣大ナルモノアリ質良シト考

フ。

石油 當國ノ石油脈ハ Titicaca 湖及 Canpolican 北方ニリ Beni 縣 Sanjacuz 縣 Cochabamba 縣等ヲ經テ

Chaco Brasil ニ向フ現在ノ産出量少キモ各地共良成蹟ニシテ鑿井ノ八割ハ噴油シ「アルゼンチン」ニ輸出シ居

レリト聞ク。

以上ハ博覽會陳列品其他官署商社ノ標本ヲ通覽シテ述べタルモノナルガ此ヲ鑛床ノ成因ナル觀點ヨリ考察スルニ單

成因鑛床ト復成因鑛床ト相半シ居ルガ如ク此ヲ又鑛物學ニ考察スルニ二種以上ノ金屬ノ硫化鑛又ハ鹽類鑛相當ニ

達スルガ如シ。

次ニ營業上ヨリ觀察スルニ以上ノ如キ鑛質ナルヲ以テ選鑛又ハ製鍊設備ヲナス場合分析品位ノミニ依存セズ鑛物學

的ニ考察ヲ廻シ鑛量計算ニ際シテハ慎重ナルヲ要スベシ。

英米資本ガ當國ニ於テ往々失敗セシハ復成因鑛床ヲ單成鑛床ト誤認シタルカ又ハ復鑛物ヲ二種ノ鑛物ノ集合トシ

テ取扱ヒシカ或ハ技術者ノ不誠意ニ歸スルガ如ク考ヘラル。

第二項「ポリビヤ」國人ノ鑛業ニ對スル觀念並ニ鑛業

「インカ」帝國時代ヨリ金銀銅鑛業ニ對スル智識ハ發達シ居リシガ如ク金ノ採取跡ハ勿論當時ノ舊坑ヲ取明シタル者

ノ話ニ據ル時ハ一種ノ原木ヲ用キタル如ク各種ノ器具ヲ坑底ヨリ發見スル事アリ又處々ニ銅鑛源ヲ發見スト余又一見

セシガ技術優秀ナリシガ如ク燈解適度ニシテ銅分ノ殘ルモノ少シ。

西班牙時代ニハ隱匿セラレタル「インカ」時代舊坑ノ所在研究ニ勉メ又鑛山開發ニ專念シタルハ記録ノ傳フル處ノ

由ニテ金銀鑛ヲ主トシ皆本國ニ移送シタルハ衆說ノ一致スル所現在ニ於テモ土民ハ鑛區權ヲ有セズ勝手ニ採掘採集シ

テ此ヲ賣リ生活スルモノ多キヤニ聞ク。

七三

如斯ナルヲ以テ鑛業智識ハ一般ニ普及シ居ル事「ペルー」國土民ノ比ニアラズ然レドモ最近ノ進歩セル技術ヲ識ラズ唯然爾態ヲ脱セズ幼稚ヲ極メ日稼程度ニ過ギズ又資金一般ニ乏シキガ爲メ徒ラニ鑛區ヲ擁スルノミナルヲ以テ機械資金ノ融通ヲ爲ス時ハ各金屬ニ涉リ世界有數ノ鑛山國トナルヤ必セリ。

尙一昨年資本金五百萬「ポリビア」拂込半額其三分一ハ政府出資タル Banco Minero de Bolivia ヲ創立シ鑛業資金融通買鑛業ヲ開始セシモ早ク資金缺乏シ機能停止ノ狀態ニアリ。

第三項 我邦人ノ鑛業

在留邦人面谷外吉各所ヲ轉々自營スト雖モ資金乏シク成功セザリシガ同ジク西電三郎内地商社ノ後援ヲ得テ第十編記載ノ「ヤブニコエ」鑛山ニ選鑛設備中ナルモ幾多研究ノ餘地アリ。

第四項 第三國人又ハハ商社ノ鑛業

外商ハ殆ンド錫ニ限ラレ鑛業ト實鑛業ヲ兼ヌ商社名ハ第六編第一項錫條下ニ記載セシヲ以テ省略ス

第七編 「ポリビヤ」國ト我邦一般貿易ノ將來

當國ノ文化的商品ノ消費者ハ二十萬乃至三十萬人ニ過ギズ加フルニ現在ハ國力民力共ニ疲弊ノ極ニ在リ故ニ日用品雜貨ノ消費ハ微々タルモノタルベク急速ノ増加ハ望ムベカラザルベシ即チ上記商品ニヨル貿易ノ發展ハ期待シ得ザルベシト雖モ鑛業發展ニ因ル鐵道用機械器具、電線電器、木材工業用機械器具、鑛山用機械器具、爆藥等ニ力ヲ致ス時ハ大ニ發展ノ餘地アルモノト認ム。

第八編 「ポリビヤ」國ト我邦鑛物貿易ノ將來

當國ハ我邦ノ投資(機械ト資金ト)兩様アリ)ヲ望ム切ナルモノアリ相等條件ニ於テ當國政府ト契約シ先ツ鑛業權ヲ掌握シ除々ニ調査開發スルト共ニ民間ノ商社ヲ指導シテ當國鑛業家ニ機械賣込又ハ貸付ヲナシ高品位鑛ニ對シ賣鑛スルニ於テハ相等ノ額ニ達スベク現在ヨリ有利ナル結果ヲ見ルノミナラズ船腹經濟ヲモ齎スベシ

第九編 「ポリビヤ」國鑛業ニ對スル我邦人ノ將來

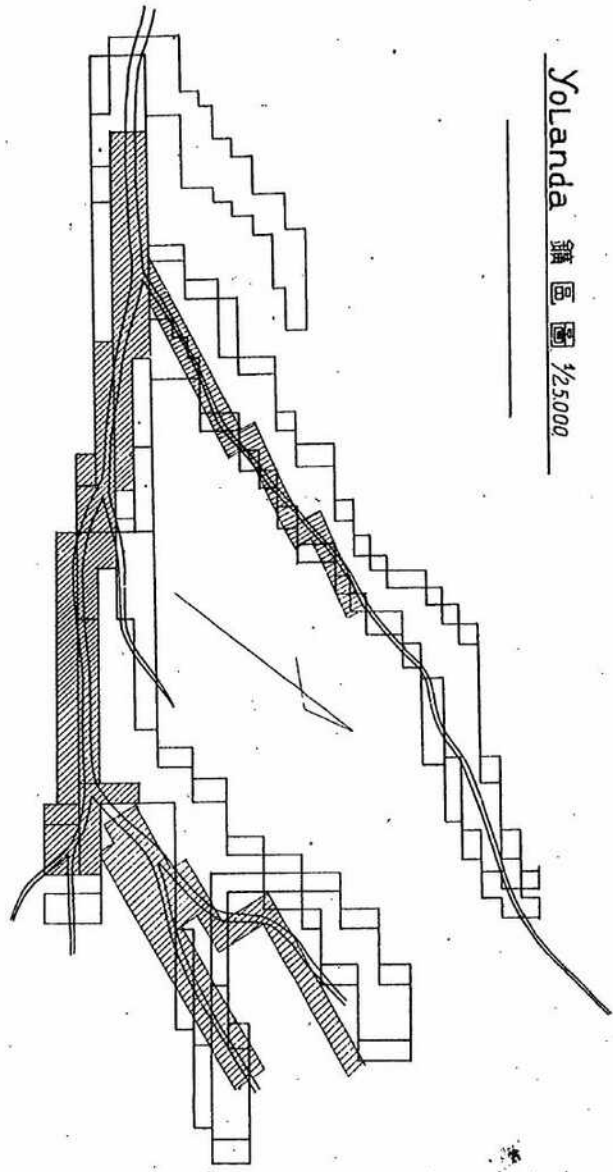
當國ハ各項記載ノ如ク地下ニ眠レル高品位鑛隨處ニアリ其良否判別ヲ指導シ機械器具ノ選定ニ協力スルニ於テハ在留邦人並ニ「ペルー」國在留邦人ハ競フテ當國鑛業ニ從事スベク邦人發展ノ一天地タルベシ

第十編 視察シタル鑛山ノ各論

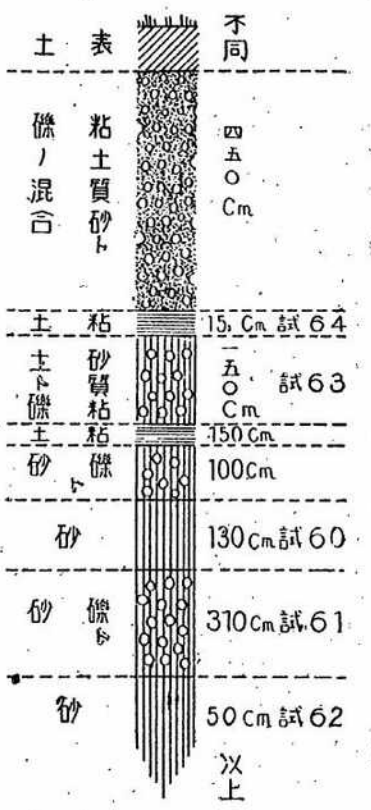
第一項 「ヨランダ」砂鑛區

位置 「ラパス」ノ近郊

地質鑛床 金、自然砒、錫(カシテライト)ノ砂鑛地帯ニシテ砂ノ深サ平均十二米内外トス今採行シツツアル鑛區ノモノヲ參照シテ断面圖ヲ表ス時ハ左ノ如シ。



Yolanda 鑛區圖 1/25000



七六

(備考) 別ニ各所ノ砂ヲ採取シタル試料(65 66 67 68)アリ(69)ハ七分間猫流シヲナシ更ニ「ベンニング」シテ得タルモノニシテ今其礫ト砂トノ目測混合比例ヲ示セバ(容積比ナリ)

直徑三十 cm 以上 (二割五分) (錫鑛アランモ不知ズ)

同 三 cm 以上 (三割) (錫蒼鉛アリ)

同 三 cm 以上 (五割) (左ノ外蒼鉛アリ)

内譯 六 mm 以上三 cm 以下 (五割即チ全體ノ二割五分) (錫ト多少ノ金アリ)

六 mm 以下 (五割即チ全體ノ二割五分) (錫金多シ)

本鑛區ニ頭大ノ錫鑛蒼鉛ノ蒼鉛ヲ産スルガ如キモ此ヲ略ボ計算スル時ハ實收金、錫鑛、蒼鉛ノ總重量ハ次ノ如シ

本銀區ノ面積=320. Hectare. 1Hct=10,000平方米
∴ =320. × 10,000 = 3,200,000. 平方米

砂礫ノ深サハ 12 米ナリ

∴ 本銀區内砂礫ノ容積=3,200,000. × 12 = 3,840,000. 立方米

直径 6mm 以下ノ砂ハ全容積ノ7/8ナリ

∴ 本銀區内 6mm 以下ノ砂ノ容積=3,840,000. × 0.25 = 960,000. 立方米

砂一立方米ノ目方 1.3 噸

∴ 本銀區内 6mm 以下ノ砂ノ全重量=1.3 × 960,000. = 1,248,000. 噸

金ノ含有率 60 g/t

∴ 上記全砂中ノ金量=60. × 1,248,000 = 74,880,000. 瓦

實收率=70%

本銀區内實收金量=74,880,000. × 0.7 = 52,416,000.

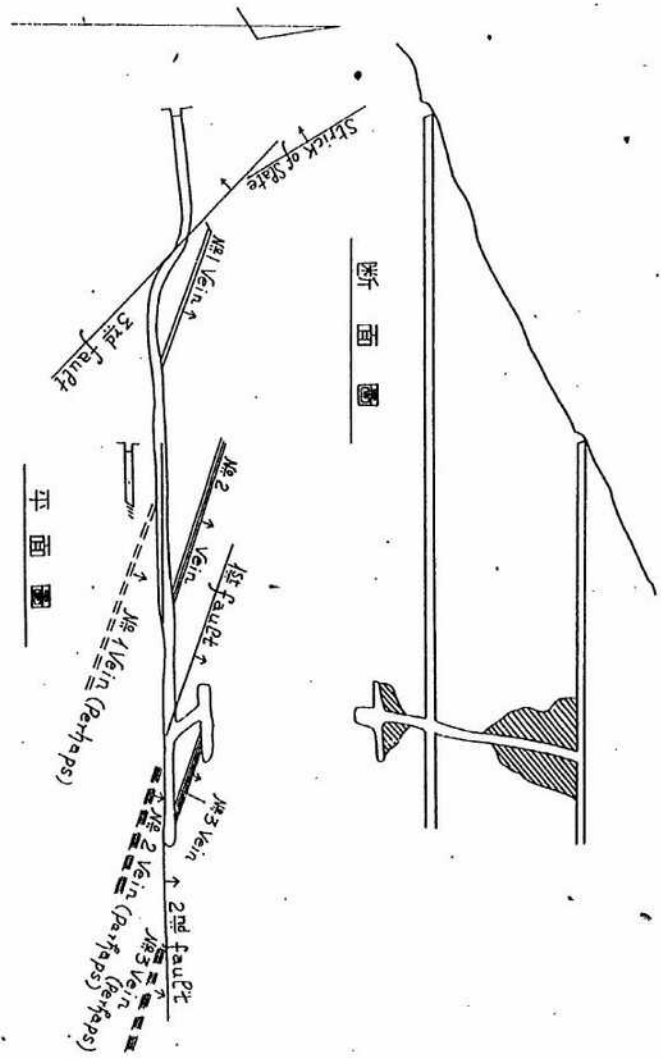
銀量ノ含有率 0.1%

∴ 上記全砂中ノ銀量=1,248,000. × 0.1% = 1,248. 噸

實收率 70%

本銀區内實收銀量=1,248. × 0.7 = 873.6 噸

Yarlicoya 鑛山坑内見取圖 1/2000



鑛石含有率 0.01%
 本鑛区内實收鑛量=124.8×.70=87.33噸
 實收率 70%

第二項 「ヤルビコヤ」鑛山

位置 「オルロ」縣「セルカド」郡「バリア」村
 地質 本山ノ附近一帶ハ古生粘板岩ヲ主トシ硅岩ノ薄層其間ニ互ス其走向三百四十度傾斜西南五十五度ニシテ坑内ニテ明ニ三斷層ヲ發見スルヲ以テ他ニモ幾多ノ斷層存スベシ此ヲ成生ノ順序ヨリ第一回斷層第二回斷層第三回斷層トシテ次項ニ説明セン (附圖參照)

鑛床 黄銅鑛ヲ伴フ石英ガ前記粘板岩等ノ古生層ヲ破リテ生成セル裂隙ヲ充填シテ成レル純裂隙充填鑛床ニシテ三條アリ圖示ノ如ク第一回斷層 (走向二百八十度傾斜北東七十度) 成生シ後第二回斷層 (走向九十度傾斜北六十度) ヲ生ジ此ヲ以テ本山ノ鑛脈ハ全部切斷セラレ波線ニテ示セル方向ハ位置ハ想像ナルモ大體ソレ位ノ程度ト考フ) ニ移動シ坑道ノ掘進ハ此ノ斷層ノ北側ヲ東進シ北部ノ脈端ヲ見ツツモ斷層線粘土化物中ニ存在スル鑛脈碎片ガ珪錳鑛化シテ高品位ナリシ爲メ此ヲ鑛脈ト誤認シ南部ヲ見ル事ヲ忘レテ掘進ヲ續ク斷層中ノ鑛石片 (俗稱ククミモノ) ヲ見ザルニ至ルヤ斷層線鑛石片ト第三脈鑛石ト合一セル膨大部ノミヲ採掘センモノト認メラル故ニ第二斷層ノ裏面即チ南側ヲ探査スル時ハ露頭ガ延々數哩連續シ居ルヨリ考察シ相當有力ナル

鑛山トナルベシ(品位二〇—三〇%ナラン)

第三章 智利 國

第一編 「チリ」 國國勢

第一項 位置 其他

智利國ハ南米大陸西海岸ノ南部ニ位シ西經六十八度ヨリ七十五度南緯十八度ヨリ五十五度ニ亘ル狹長ナル國土ニシテ面積人口左ノ如シ

面積 二八九、九七六平方哩 (日本全土ヨリ稍大)
人口 四、四三二、五三八 (一平方哩一五人) (一九三六年調)

第二項 地 勢

當國ニハ南ヨリ北ニ走ルニ主要山脈アリ東國境ニアルモノ「アンデス」主山脈ニシテ西ニ海岸ニ迫リテ走ルヲ海岸山脈ト稱セラル

「アンデス」山脈ハ高峰峻山相連リ南ヨリ北ニ行クニ從ヒ高度ヲ増シ平均高度海拔三千四百米内外ニシテ内ニ七千米ヲ超ユルモノ珍シカラズ一年ノ大部分ハ雪ニ被ハル。

海岸山脈ハ前者程ニアザルモ平均高度二千米内外ニシテ高キハ四千米ニ及ブモノアリテ海ニ迫リテ斷崖絶壁ヲ成ス。

銅山脈ノ中間ニ帯ノ如ク南ヨリ北ニ續ル地帯ハ所謂高原地帯ニシテ高度海拔千八百米乃至二千米ナリ故ニ此ノ高原ニ立チテ西方海岸山脈ヲ望見スルニ丘陵ノ連續タル感アルノミ。

而シテ當國ノ北三分一ハ降雨ナク山野ニ一木一草ノ生育ヲモ許サズ唯水源ヲ廣ク「アンデス」連峰中ニ取り雪解水ヲ齎ス河川ノ沿岸ニ貧弱ナル耕地ヲ生ジ稍生氣ヲ吐クモノ數ヶ所アルモ他ハ皆不毛ノ礫地帯ナリ、中部三分一ハ當國ノ寶庫ニシテ適度ノ降雨アリ又河川ニハ「アンデス」山脈ヨリ流下スル雪解水アリ加フルニ地ハ高燥ニシテ耕作牧畜ニ適シ起伏少ナク一望千里ノ沃野ヲ展開スト聞ク又南部三分一ハ寒帯ニ屬シ蘇苔類生育地帯多シト稱セラル。

當國ノ河川ハ皆東方源ヲ「アンデス」山脈ニ發シ西流シテ太平洋ニ注グヲ特異トス、是レ「ペルー」國ノ如ク銅山脈ノ中間ガ低地ニアラズシテ海岸山脈ト略ボ同等ノ高度ヲ保ツ高原地帯ヲ形作ルニ因ルベシ、此ガ爲メ中部地方ハ農業ニ適シ北部嶺山地帯ニテハ大切坑開鑿ノ餘地ナク掘掘ニ非ザレバ大設備ヲ要シ鑛業ノ發展ヲ阻害スル一因ヲナス等一利一害ノ特異性地形ヲ形成ス。

海岸線ハ前ニ記述セル如ク斷崖多ク出入灣曲少シ其成因「ペルー」國ノ夫レト同一ナルヲ以テ略ス。

「プエルトモン」港以南ハ多島海ニシテ其海岸線ハ複雑ナリ島嶼間ノ水道水深數百米ニ達シ航海業者ノ恐ルル所其代表「マゼラン」海峡ハ其ノ南端ニ位ス何レモ陥没ニ因ルモノト信ズ本年一月二十四日夜當國中部地方ヲ襲ヒタル地震ハ「コンセプション」港ノ棧橋ヲ海中ニ没下セシメタリト傳ヘラル、余實情ヲ視ザリシモ太平洋陥没時ヨリ約束セラ

レタル當南米西海岸線附近地殼ノ無理不安定ハ「ビオビオ」河斷層線ニ沿ヒテ安定セントシテ起リタル地殼ノ移動ニ因ルナラン。

第三項 氣候

當國ハ前記ノ如キ地形ヲ成スニ加ヘ南水洋ニ起リタル「フンボルト」寒流ハ當國ノ沖合ヲ南ヨリ北ニ緩流スルヲ以テ南部ハ一層寒ク中部地方ハ此ノ寒流ノ影響ト共ニ土地高キヲ以テ四季溫和ニシテ盛夏ヲ知ラス北部砂漠地帯ハ夏時日中炎熱甚シキモ日没後ハ冷氣ヲ感ジ非衛生的ナリ。

風ハ春夏ノ半歳ハ南風吹キ他ノ半歳ハ北風多シ然レドモ暴風ヲ識ラズ唯南洋上ニテ起レル高波ノ餘波ハ常ニ當國海岸ニ迫ルノミト聞ク。

第四項 民族及民度

短時間ノ滞在ノ之ノ方面研究ノ餘裕ナカリシヲ以テ余ノ眼ヲ通ジテ得タル直感ヲ記ス事トス、當國ノ北部ハ廣範ナル不毛地帯ナリ此處ニ先住民族ノ皆無タリシヤ疑ヒノ餘地ナシ「インカ」帝國ノ版圖ナラザリシ事ヲ首肯スルヲ得ン、中部地方ハ天與ノ樂土ナリ先住民族ノアリシヤ論ナシ然レドモ專ラ傳ヘラルル如ク南米西海岸北部ニ現住スル土民族ノ祖先ハ蒙古民族ガ「アラスカ」ヲ經テ北米大陸ヲ南下シテ入國セリトセバ其等ハ當國北部砂漠地帯ニ阻ンテ入國セシモノナカルベシ僅ニ「アンデス」山脈ニ沿フカ又ハ海路ヲ移動シ來リシカ見ニ角小數ノ猛者ガ先住民族ノ祖先タリシニ過ギザルベシ故ニ西班牙國ガ當地ヲ領有スルニ際シ南米北部諸國ニ傳ハルガ如キ悲劇ヲモ戰史ヲモ聞ク事ナシ、故ニ西班牙國ガ南米大陸ヲ領シ統治ヲ敷クヤ當國中部ヲ移植民地ト指定シ多數ノ自國民ヲ送りタル必セリ此等ノ移

民ハ氣候ニ風土ニ恵マレ天國樂土トシテ定着セシヤ亦論ナカルベシ從テ少數ノ土民ノ一時ハ西班牙人ノ奴僕トシテ
残り混血兒ヲ産ミ一時ハ「アンデス」連山中ニ逃避シ生活地ヲ求メ山ヲ越ヘテ「アルゼンチン」「ブラジル」ノ森林帯
ニ又ハ「ボリビヤ」ニ流レタリト想像セラル故ニ現住民ノ多數ハ純西國人又ハ白人系ノ血ヲ統ギ混血又ハ土民族ノ血
ヲ交ヘタルモノ少シ此レ當國ニ蠻人多ク性格モ又南歐人ニ酷似スト言ハルル所以ナルベシ。

而シテ此等移民民ニ對スル西班牙國ノ施設ハ南米北部土民族ニ對スルモノト自ラ異リタルモノアリシヤ又論ナシ又
歐洲文明トノ接觸交通モ亦頻繁ナリシナラン然ルガ故ニ文化高ク智識優レ其優劣ノ間隔ハ増々距リヲ生ジタルヤ必セ
リ故ニ各種産業の智識普及シ金ヲ採集ガ早ク行ハレ當國獨立後ノ初期一八三四年ニ當國人ニヨリ既ニ銅鑛業興リ殷盛
ヲ極メタル歴史ヲ有ス他ノ産業又推シテ知ルベク當國ノ各種施設ハ南米西海岸諸國中一步ヲ先ジ他國ハ是ヲ模倣セシ
ヤノ觀ヲ余等旅行者ニ與フルノミナラズ各種産業ノ多角經營ニニ緒ニツキ居ルニ反シ「ペルー」國ハ昨今多角經營ノ
研究ヲ開始セシ程度ニ「ボリビヤ」國ハ未ダ其氣配サヘ無キニ比シ雲泥ノ相遠トス。

第五項 交通

余ノ當國滞在短カク又通過地北部ニ限ラレタルヲ以テ説ク所全般ニ則シ難カラシム余ノ眼ニ觸レザリシ部分ノモノ
ニ就キテハ耳ヨリ入りタル智識ヲ以テ補ヒ記述セントス。

陸上交通ハ道路網ト鐵道網ニ分タル而シテ其ノ建設ハ共通ノ條件ノモトニ行ハルル事多シト信ズルヲ以テ此處ニ一
括説明セントス。

當國北部ノ其等ハ硝石、銅等ノ鑛産中心地ト海岸泊地トヲ連絡スル地方鐵道ニ始マリ次第ニ此等ヲ連結シテ今日ノ

縱貫路ヲ築キ揚ゲタルモノナリ即チ縱貫完成ノ今日ヨリ觀タル支線ハ往年ノ地方幹線タリシモノナリ。

而シテ當國ノ地形ガ海岸山脈海ニ迫ルヲ以テ中央高原地ヨリ海岸ニ出ルニハ鐵道、道路共ニ勾配急ニシテ「ジグザ
グ」型多ク直徑距離ニ比シ延長距離長ク建設費ヲ要シタルナルベシ。

之レニ反シ高原地帯ハ起伏少ク自動車ハ隨意ノ「コース」ヲ突破シ其跡ハ道路ヲ形作ル程度ニアリ鐵道亦線路ノ兩
側ヲ掘リタル土砂ヲ盛上ル時軌道路ヲ得、土工費輕微ナリ唯枕木等ヲ遠隔地ヨリ輸送セザルベカラズ相當ノ建設費ヲ
要スベキモ技術的困難ナシ是レ南米西海岸三國中最も道路、鐵道兩網ノ發達ヲ來シタル一因ナラン中部縱貫鐵道モ亦
其建設發達ノ狀態ハ北部ノ夫等ト軌ヲ一ニス唯輸送ノ目的物ガ農産物タルノ相違ナリ。

今後發達スベキハ各所ニテ高原地帯ヨリ國境「アンデス」山脈中ニ至ル道路及鐵道ナランモ此ハ高原地帯ト海岸線
ヲ繋ギシヨリハ遙ニ困難ニシテ當分實現望マレザルベシ。

當國ハ土地狹長ニシテ海岸線長ク北部不毛ノ鑛業地ニ物資ヲ供給セザルベカラザル必須原因ニモ因ルベク又人智ノ
進歩ニモ原因アラン早クヨリ國內貿易自國船舶主義ヲ持シ南米西海岸「パナマ」以南ニ於テ余ノ寄港地到ル處ニ當國
籍船ニ會ハザルナク當西海岸「パナマ」以南唯一ノ船渠及造船場ヲ有ス。

「バルパライソ」「イキケ」兩港ハ完全ニ近キ築港ヲ了シ「アントファガスタ」ハ目下工事中ナリ其他ノ諸泊地皆數個
ノ棧橋ト十數基ノ起重機ヲ備ヘ二千噸級汽船ノ棧橋留留ニ便シ數百艘ノ浮船ヲ備ヘテ大船ノ荷役ヲ待ツ外何レノ棧
橋ニモ鐵道ヲ引込ミ居ル等當國陸上産業ニ相當以上程度ノ港灣設備ナリ是以上ニ設備スルハ多額ノ經費ヲ要スルト
共ニ其ヲ斷行セシムル程ノ産業興リ得ルヤ否ヤ懸リテ遠キ將來ニ屬スベシ。

今左ニ當國ノ泊地ヲ北ヨリ其山來ト共ニ記セバ

- ア リ カ—當國最北國境ニ接シ人口一萬三千ノ港ニシテ北ハ「ベル」國「タリナ」ニ通ズル道路及鐵道アリ又二百二十七哩ノ「ポリビヤ」國有鐵道ニテ主府「ラバズ」ニ通ズ又「ブラジル」國ニモ通ズ爲メ「ポリビヤ」國ノ稅關モアリ。
- ビ ヶ ア—北方硝石輸出ノ小港ニ過ギズ一時人口一萬三千ヲ有セシモ硝石業不振ニテ人口漸減シツツアリ。
- イ キ ケ—硝石産地ニ近ク硝石沃度ノ輸出港トシテ人口四萬ヲ數ヘ政府ハ岸壁突堤荷役設備等築港ニ着手セシニ中途硝石業不振トナリ完成後ハ船舶ノ來泊スルモノナク當國海軍北部ノ基地ナリ。
- ト コ ビー ヤ—人口一萬三千「ペラビスタ」硝石工場トノ間ニハ專用電鐵通ジ又海岸銅鐵地帯ヲ隔ヘ兩礦ノ輸出港ナリ「チニキカマダ」銅山ノ大發電所存ス。
- メ ヒ ロ ネ ス—元「ポリビヤ」國產錫ノ輸出港ナリシモ今ハナシ天然ノ良灣ナリ人口四千。
- ア ン ト フ ア ガ ス タ—人口五萬二千「ポリビヤ」國ニ通ジ又同國ヲ經テ「アルゼンチン」國ニ通ズ東北方ニ「マントスブランコ」鐵山地アリ目下築港中ノ鐵石輸出港ナリ。
- タ ル ク ル—人口四千北々東ニ「パボソ」鐵山地アリ鐵道延線ニ鐵山多ク鐵石輸出港ナリ。
- チ ヤ ネ ラ ル—人口三千東方鐵道沿線ニ「サラド」「ラ、ア、ニ、マ、ス」ノ兩鐵山地ヲ隔ヘ東南ニ「アタカマ」鐵山地ヲ持つ鐵石輸出港ニテ「アタカマ」ノ發電所存ス。
- カ ル デ ラ—南方ニ「クエベクダ、セカ」兩鐵山地アリ東南鐵道沿線ニ「オンダ、デル、ゴブレ」「フヤンコス」ノ兩鐵山地アリ又南方ニ接シテ「セロ、フランコ」鐵山地アリ鐵石輸出港トシテ又南米最初ノ開港地（一八八四年）南米最初ノ鐵道開通地トシテ有名ナリ。
- ワ ア ス コ—人口三千東南ニ「ネリト」鐵山地アリ鐵石輸出ノ小泊地ナリ。

- コ キ ン ボ—人口二萬「ラ、セレナ」耕地ニ接シ「バドナレス」鐵山地ヲ隔ヘテ良港ヲナス。
- パ ル バ ラ イ ソ—主府トハ電車通ズ突堤岸壁完備シ東北方「アルクイトラル」「セロネグロ」兩鐵山アリ鐵石各種商品ヲ吞吐ス。
- サ ン ア ン ト ニ オ—主都「サンチャゴ」ト鐵道通ズ「バルバイソ」ノ補助港ナリ。
- コ ン ス チ テ ユ シ オン—「マウレ」河ノ河口ニアリ農産物輸出港暨農地開墾地ナリ。
- タ ル カ—南方ノ大都「コンセプシオン」ヲ隔ヘ雜貨農産物ヲ吞吐シ又乾船渠ヲ有セシモ今回ノ震害ニテ全滅ト傳ヘラル。
- レ—「レブ」川ノ河口ニアリ石炭輸出ノ要港人口四千。
- ウ アル デ ビ ア—造船所アリ麥酒精糖皮製品ヲ輸出ス。
- ブ エ ル ト モ ン ト—當國南部鐵道ノ南終點ニシテ又沿岸航路ノ終點ニアタル要港ナリ。

其他鐵道延長資本系統船舶數等ノ資料蒐集ノ時日ナカリシ爲メ具體的表示ヲ省略ス

第六項 一般産業

當國人ハ國內景氣ヲ左右スル主ナル要素トシテ左記ヲ列舉シ居レリ

- 第一、硝石業、銅鑛業、等礦産物ノ生産價格及輸出ノ如何
 - 第二、小麥、羊毛、雜穀、其他重要農産物ノ出來高及其價格ノ高低
 - 第三、外資ノ輸入國內新事業ノ成否
 - 第四、國內工業ノ盛衰
- 次ニ産業ガ比較的多角的ニ涉リ生産能率モ亦高度ナリト説カル。

右ハ國外ノ識者モ亦之ヲ認識シ是認スル所ナリ之ノ現象ハ當國獨立當時ヨリ普遍的ニ智力勝レ居リシニモ因ルベク又地理的環境ニモ因ルナラン兎ニ角當國モ文明國ガ過去ニ連リシト同一ノ經路ヲ進ミツツアルヲ感ズ。

今彼是對照考察スルニ左ノ結論ニ達スベシ。
當國景氣ニ第一第二ニ舉ゲタル原料品輸出ガ如何ニ大ナル影響ヲ與フルカラ又製造工業界ノ盛衰ガ比較的微弱ニ働クカラ意味ス斯ク原料品ノ輸出ノミニテ一國ノ安定ヲ賄ヒ得ズトセバ其原料ヲ以テ高度製品作出ト是レガ國外輸出ニ活路ヲ求ムル必セリ。

次ニ當國ハ多角の産業ニテ生産能率高度ナリト説カルルハ換言セバ低度産業ガ極度ニ近ク進ミ或程度行詰リニ在リ今後ハ高度工業産業ニ移ラザルベカラザルヲ意味スルナラン。

即チ硝石礦業ハ凋落シ銅鑛ノ生産輸出ハ頭ヲ打チ農業モ亦現狀ニテノ開拓一段落トナリシヲ以テ今後銅鑛ハ製鍊シテ銅トナシ更ニ銅製品トナシ小麥ハ製粉シ製麵セララル等ノ方向ニ向ハザルベカラザルナラント信ズ。

故ニ當國ノ一般ガ外資ヲ望ムト雖モ各文明國ハ自國ノ高度工業所要ノ原料確保ニ値スルナレバ兎モ角自國産業ノ強敵ヲ造ル作用ヲ爲ス投資ハ行ハザルベク近來外資ノ輸入ナク新事業興ラザル故アリト謂フベシ。

農業 智利國ノ主要農産地ハ南緯三十一度ヨリ四十三度半ノ間ニ在リ殊ニ大農産地ハ灌溉設備ノ整ヒタル三十三度以南ノ中央高原ナリ。

麥 類 (大麥、小麥、燕麥) 八十五萬噸

共産額大要左ノ如シ

馬 鈴 薯

四十五萬噸

玉蜀黍、豆類、亞麻、オリブ、甜菜、煙草、牧草、葡萄等

畜産 南緯四十三度以南ノ大陸ハ平地ニシテ牧畜ニ適シ其産額百四十五萬「ペソ」ナリ。

林業 全國面積ノ五分ノ一ハ森林ニシテ其又三分ノ一ハ國有林ナリ其價格二倍萬「ペソ」ト評價セラル其重要地ハ南緯四十三度以南ニシテ「ヴァアルデビヤ」「カウチン」「チロエ」「ピオビオ」「コンセブション」「アイセン」等ノ地方ナリト言ハル。

水産業 當國ハ海岸線長ク殊ニ南部ニ多島海ヲ控フルニ拘ハラズ當國人ノ需要少キ爲メ漁法モ進歩セズ幼稚ナルヲ以テ産業的看ルニベキモノナシ強テ舉グレバ手鉛捕獲ニヨル捕鯨並ニ鰹魚捕獲位ニ過ギザルベシ。

製造工業 ニハ食品工業、紡織工業、皮革製靴工業、酒精及飲料工業並ニ電気瓦斯工業、化學金屬工業等ノ外「セメント」製造工業、製糖、製粉、造船等ノ諸工業等一通ハアル様子ナルモ資本金能力等調査不能ナリシヲ以テ省略ス。

第七項 商業並ニ貿易

最近三年間ノ對外貿易左ノ如シ (單位百萬「ペソ」)

年次	輸出入		輸出入		輸出入	
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
一九三五年	七〇	八九	八三	一〇九	八八	一〇九
一九三六年	五五	一〇四	五七	八三	四九	九三
一九三七年	三二	二〇	三三	三四	二四	五〇
秘魯	三二	一八	二二	四五	二四	〇
日 本	六九	一	一一	四	九	八
其 他	六	二四八	七二	三三八	八三	三〇
合 計	二四三	四七〇	三〇四	四七三	三四七	五六三

輸出品ノ主ナルモノハ硝石、銅鑛、沃度、羊毛、冷肉、大麥等ナリ。
日本對主要輸出入品名左ノ如シ

輸入品 綿布、綿糸、絹織物、絹製品、機械器具、電球具、鉛類、銅鉛類、陶磁器類、雜貨、「セメント」
輸出品 硝石、羊毛、銅鑛、大麥、牛皮

以上ノ如ク當國ハ常ニ出超ニアリ外債元利ノ償還支拂ヲ停止シ居ルニ不拘當國貨ノ對英對米爲替下落ノ一途ヲ迎ル原因何レニアリヤ調査セザリシモ多分英米資事業生産品ヲ各本國ニ持出スニ因ルベシ
輸出入商ハ外國人主トシテ當國内商行爲ノミ當國人從事スルガ如シ

第二編 智利國ノ政情

當國ノ民族民情ハ前ニ記シタルガ如ク「ペルー」「ボリビヤ」兩國ト異レリ從テ政情モ亦相違スベキヲ想ヒ又當國ノ將來ヲ洞察スル資料トシテ當國ノ僞裝セザル政變史政黨史ヲ知ラント欲センモ能ハズ以下記スル所模糊タルヲ遺憾トス。

當國ノ政策ハ勞農式ニ非ズ彼等ガ好ミテ口ニスル國家社會主義ナリトスルモ結果ニ於テ北米合衆國ガ勞働階級保護政策ノ過重ニヨリ喘ギツツアル産業上ノ苦痛ヲ當國ニモ齎ラスニアラズヤト考察サル是ヲ鑛業方面ニ付キ看ルニ當國人ハ鑛業「ナシヨナリズム」ヲ説キツツ往年同主義ニヨリ米資三火銅山ヲ目標ニ運動ヲ起センモ時恰モ歐洲大戰後ノ世界的恐慌ニ會シ國內資本下ノ勞働者ハ悲慘ナル失業苦ヲ嘗シモ之等三火銅山ニ從業セン勞働者ニハ失業問題モナク安泰ナリシヨリ外資排斥運動ハ立消トナリシヲ想起シ外資流入ヲ謳歌シ待望之夫レ即チ方便論ナリトシテモ餘リニ矛盾ナリト言フベシ。

此處ニ日本ノ資本ヲ渴望スル聲起リ又日本投資ノ好機ナリト説ク邦人モ生ズ。

夫レ當國ニテモ我邦人ト當國人間ニ利害ノ衝突ヲ來シタル事ナシト言ハシヨリハ寧ロ現下我邦商同胞ヲ捨テ當國人ヲ利シツアル鑛石買取手段ニ看テ英米人ヨリ組シ易シ否英米人ヨリ信賴スルニ足ルトノ念ト個人的親善信賴ガ加味セラレテ此ノ現象ヲ來セシトセバ實際ノ投資ト此ニ伴フ正當ナル權利主張ヲナシタル場合ヨク今日ノ渴望ト信賴ヲ持續シ得ル否ヤ疑ナキヲ得ズト考フ。

余ノ眼底ニ映ジ又觸レタル當國一般大衆ハ現情政策ニ何等不安不滿ヲ感ジ居ラザルノミナラズ寧ロ喜ビ居ルニアラズヤト認メタリ。

余ハ當國ハ當分或程度迄社會主義傾向ニ向ヒテ進ミ從テ其政策モ亦勞働者優遇ニ偏シ有産階級壓迫ニアルベク外國資本ニ對スル政策モ亦徐々ニ巧妙ニ來ルニアラザルナキヤ傳フル所ニ依レバ硝石製精業ヲ國家ニ收メントス計畫アリトス又後記鑛業信用金庫ノ運用如何ニヨリテハ鑛業「ナシヨナリゼーション」ノ實現亦不可能ニアラザルベシ。

第三編 智利國ト第三國ノ外交

當國民ガ西班牙國ノ内亂ニ際シ相等深キ關心ヲ抱キシガ如ク又當國民ノ英米資本ニ對スル反感ト當國ガ英米等ニ負フ外債ノ元利金不拂ハ外交上如何ナル形ニテ現ハレ如何ニ處置セントスルヤ恚リテ將來ノ問題タルベケレド現在ハ互ニ動カズ平靜ニシテ其他ノ歐米各國トモ亦平靜ナルガ如シ。

然シテ當國ト隣接諸國間ハ平靜ノ如クニシテ平靜ナラザルモノアリ智、秘、慕三國ハ共同シテ亞國ニ抗セントスル空氣濃厚ナリト聞クモ往年ノ仇敵共ニ謀リ得ルヤ如何。

又南米ヲ征服スルモノ亞國ナラントノ觀測ハ一般常識的ニ稱ヘラレ當國亦亞國ニ備フル事ヲ忘レズ國境防備ニ汲々タリト聞ク前途多事ナルベシ。

第四編 智利國ト我邦ノ外交

我邦ヨリノ投資ナク移民モナシ從テ儀禮的外交ニ始終シ古來所謂親善關係ニアリ將來モ亦然ラン。

第五編 智利國ニ於ケル在留邦人ノ現狀

第一項 一般在留邦人

當國內在留邦人數八百ニ滿クズ各地ニ散在シテ多クノ小商業ニ従事ス仍リテ邦人間當國人トノ間共ニ競争ナク摩擦ナシ、加フルニ邦人ノ實直ハ異彩ヲ放テ個人トシテ當國人ノ信頼ヲ集メ尊敬ヲ受ケツツアルハ喜ブベシ。

第二項 在留商社

三井三菱等ノ支店ト太平洋貿易株式會社支店、伊藤忠商事支店、日本棉花支店等アリ綿製品雜貨ノ輸入ト硝石ノ本邦向ケ輸出ニ従事ス又太平洋貿易會社ハ當國産銅鑛ノ輸出ヲ爲シ着々實績ヲ擧ゲツツアリ。

第六編 智利國ノ鑛業

先ツ概念ヲ得ル爲當局發表ノ統計ヲ摘録セバ

(一) 一九三六年度鑛種別鑛區一覽表

オバリーエ	諸地方	其他	諸山	一六七〇	三二八		
イリヤベル	諸地方	其他	諸山	九〇六五	一八九五		
アコンカグア	諸地方	其他	諸山	一四三〇	二〇二九		
バルバライソ	諸地方	其他	諸山	二五七二	二〇二九		
サンチャゴ	諸地方	其他	諸山	二六六九	二六三三		
エルボルカ	諸地方	其他	諸山	二六六九	二六三三		
コロン	諸地方	其他	諸山	二六六九	二六三三		
エルボルカ	諸地方	其他	諸山	二六六九	二六三三		
コロン	諸地方	其他	諸山	二六六九	二六三三		
エルボルカ	諸地方	其他	諸山	二六六九	二六三三		

以上第一表ニ硝石ノ記入ナキハ國有タルニヨルベシ因リテ硝石ヲ前記諸表ニ添加シテ考フル時當國ノ鐵產物ハ元素

的ニハ曹達及銅大宗ニシテ金鐵之ニ次ギ他ハ消略的ナリトノ結論ヲ得ベシ、又地域の分布ヲ看ルニ曹達、銅、金ハ北部ニ集中サレ中部地方ニ移ルニ從ヒ次第ニ少ク南部地方ニハ殆ンド産出セズ代リテ砂金並ニ燃焼礦物ノ産出ヲ増加スル事ヲ發見スベシ之ヲ礦物學的ニ看ル時加里曹達ハ硝酸、鹽酸、硼酸鹽ナル化學成分ヲ有スル各種礦物ヲ銅ハ炭酸銅、硫酸銅、鹽化銅及硫化銅等ノ化學的成分ヲ有スル礦物ヲ夫レ夫レ第一次性礦物トシテ産ス而シテ銅ノ鹽酸、硫酸、炭酸銅ハ硝石地帯附近ニ最も多産シ其場所ヨリ南ニ遠ザカルニ從フテ硫化銅礦ノ産出ヲ増シ遂ニ硫化銅礦ノミヲ産スルニ至ル而シテ其硫化銅礦ノ共出礦物トシテ多量ノ赤鐵礦ヲ見ル事ヲ特異トス、殊ニ當國ノ特産礦ハ産地ノ名ヲ礦物名ニ冠セラレタル *Atacamite* ($\text{CuCl} \cdot 3\text{Cu}(\text{OH})_2$) ナリ。

右ハ余ガ通過セシ各停車場及各港ノ礦石集積場ヲ悉ク視察シテ看取セル處ヲ當業者ニ質シテ得タル結論ニシテ後當局ノ發表ニモ右ノ如ク記載セルヲ發見セリ。

今翻リテ品位ヨリ金銅鐵ノ觀察スルニ左ノ如シ。

金ハ西班牙國時代ヨリ盛ニ採掘セラレタルハ勿論銅鐵モ當國獨立後僅カニ數年ナル千九百三十四年ニ早クモ開發セラレ「アタカマ」「ヨキンボ」兩州最モ盛ニシテ「タマヤ」銅山ハ二〇—三〇%ノ「イガラ」銅山ハ三〇—四〇%ノ高品位銅鐵ヲ採掘シ世界有數ノ銅產國ニ列セシモ高品位鐵ヲ掘リ盡スヤ一時凋落ヲ來シ千九百一一年頃北米資本ノ投下ト共ニ低品位鐵ノ處理開始セラレ漸次產額ヲ増シ又政府ハ鑛業信用金庫ヲ設ケ小鑛山ヲ保護獎勵スルト相俟テ今又世界第二位ノ銅產國トナルニ至リシ等皆相當古キ歴史ヲ有スルヨリ考察シ又第三表ヨリ看ルモ「ペルー」「ボリビヤ」兩國ノ如キ處女鑛山地ノ夫レ等ヨリ品位數等低キハ當然トスペク又多産大鑛山ヨリモ小鑛山ニ高品位鐵ヲ産スル亦當

然ナリ。

硝石ハ依然トシテ世界市場ヲ獨占スル當國ノ特産礦ナリ。

今北部礦山地帯中ノ礦山地區「アントフアガスタ」「コキンボ」兩州ノ狀況ヲ說明センニ

當國人誇稱シテ曰ク「飛行機上ヨリ見タル此ノ地方ノ山ト言フ山ニハ悉ク無數ノ穴ガ穿タレ共ニ通ズル不規則ナル道路ガ縱横ニ走ルノガ見エル」云々ハ僞リニ非ズ余モ飛行機上ヨリ汽車ノ窓ヨリ應接ニ迫ナキ程極行中ノモノ又ハ休坑中ノモノ大小幾千萬ヲ望見シタリ。

之ヲ以テ見ルモ當國ハ充分探査盡サレ居ルヲ知り得ベシ此等ノ地方ノ小礦山ハ鑛業信用金庫保護ノモトニ月産小ハ數噸ヨリ大ト雖モ十數噸ヲ自ラ附近同金庫鑛石集積所ニ搬出シ共實得金ヲ以テ食糧ヲ購入シ飲料水ト共ニ持テ歸リ又自ラ探鑛ニ從事スル程度ナリ。

次ニ金及銅ノ產出狀態ヲ鑛床學上ノ見地ヨリ考察スル時ハ「ハロイド」鹽等ノ鹽類鑛ハ多少時代ヲ異ニスルナランモ硝石其他ノ加里曹達鹽類鑛ト同一成因ニ發シ古來ヨリノ無降雨地帯ノ故ニ現在迄殘存セシモノナリ。

又銅鑛床ニハ復成因鑛床多ク單一成因鑛床殆ンドナシ、山金鑛床ハ多ク單一成因鑛床ナルガ如シ故ニ銅鑛ニ關スル限リ一部ノ探査ヲ以テ近接他部ノ鑛種鑛量ヲ推定スル事ハ危險ト云フヨリハ寧ロ不可能ト言フベシ。

以上ハ今日吾人ノ接近シ得ル區域ニ就キテ述ベタルモ將來國境「アンデス」山脈中ニ分ケ入ルヲ得タル時「ポリビヤ」國同様多種多様ノ金屬鑛ハ吾人ノ前ニ展開サルベキハ必然ノ事ニシテ當國ノ鑛産ニ一段ノ光彩ヲ放ツニ至ルベキハ唯時ト資本ノ問題タルベキハ一部ニテハ已ニ自然銅ガ熔岩狀ヲ爲シテ同山脈中ニ存スト説カルルヲ見テモ其一端ヲ

知ルベシ。

第一項 智利國人ノ鑛業ニ對スル觀念並ニ鑛業

以上各項ニ於テ斷片的ニ述ベタルガ今之ヲ總括シテ述ベンニ當國民ハ前二國ノ人民ヨリ普遍的ニ智力進ミ居レリ從フテ一般ニ鑛物智識モ亦普及シ早クヨリ鑛業開ケ硝石工業ニ銅鑛業ニ製鍊業ニ外資ヲ招來シ此等先進國ノ技術ハ増々當國人ノ鑛業智識ヲ培養スル結果ヲ來シ他ニ當國ニ起スベキ事業少キト相俟チテ當國人ハ競ヒテ鑛業ニ着目着手シタル亦自然ノ理トスベシ。

斯クテ鑛業ハ當國ノ財政經濟ノ生命タリ將又根幹ナリトノ觀念ヲ上下一般國民ノ腦裏ニ扶殖セル故ナントセズ。

當國歷代ノ政府亦此ヲ反映シテ施政施設ニ早クヨリ現ハレ硝石國有ヲ斷行シ硝石販賣組合ヲ組織シ當國政府共一員トナリテ利益配當ニ加入スル等或ハ當國ノ如キ第三流國ニ不似合ナル程國有鐵道ヲ延長シ港灣ヲ修築シ道路ヲ開キ夫等ハ獨立計算ニ於テ缺損ナルニ係ラズ鑛業助成策トシテ歩ヲ緩メザルモノアリ尙千九百二十七年議會ノ協賛ヲ經テ半官半民會社鑛業信用金庫ヲ設立シ小鑛業助成ニ乘出シタル皆然リト言フベシ。

更ニ左ノ記述ヲ以テ當國民一般ガ如何ナル觀念ヲ鑛業ニ對シ抱キ居ルヤヲ窺フ料トセン。

鑛業信用金庫ハ一部ニ稱セララルル如キ私利黨利ニ墮シタル事モアリシナランモ設立日淺ク一般ニ徹底セザリシハ止ムヲ得ザルベク鑛業者ノ期待ハ今後ニアリト言フベシ即チ昨年「コキンボ」市ニ開カレタル鑛業共進會ニ於テ各種鑛業獎勵建議案ノ審議サレタル中ニ鑛業信用金庫ガ現在ノ鑛物輸出業者ノ指値ヲ共體採用シ以テ鑛山業者ヨリ買取ルトスル時ハ同金庫ハ七％物銅鑛一噸ニ付七十「ペソ」ノ損失ヲ負擔シ金鑛ニテハ金一五ニ付キ四「ペソ」六十四「ペソ」

ヲ損失ス故ニ今金庫ガ損失ヲ一般ニ轉業スル爲メ鑛山業者ヨリノ買取値段ヲ引下セントセバ小鑛山業者ハ採掘ヲ中止シ勞働者ハ失業スベシ仍リテ同金庫一個年ノ銅鑛買上ガ高八萬圓之ノ損失金六百萬「ベソ」及金鑛買上ガ損失見越額五百萬「ベソ」合計一千百萬「ベソ」ヲ政府ニ於テ補助サレタシト云フ案アリ。

本建議案ノ採否乃至實現ノ程度ハ豫測シ得ザルモ口喧シキ新聞紙モ斯ノ如キ案ヲ論難攻撃セザリシノミナラズ幾分成立ヲ待望スル雰囲気ニアリタリト傳ヘラル。

又「アタカマ」地方鑛業者ノ希望案ニ因リ鑛業「ナショナル」組合及鑛業信用金庫ハ同州「コピアツボ」又ハ「チヤネラル」市ニ金銅製鍊所ヲ設クル研究ヲ開始シタリト聞ク。

又千九百三十二年失業勞働者ノ續出鑑ミタル當局ハ議會ノ協賛ヲ經テ砂金局ヲ設ケ失業勞働者ヲ強制的ニ砂金地ニ送り砂金採取ニ從事セシメ翌三十三年早クモ從業者四萬四百七十四人ニ達スルニ至ルヤ屢々砂金法ヲ改廢シテ砂金地ノ大部分ヲ政府保有ヨリ解キテ夫等ニ解放シ鑛業權ノ賣買ヲモ認ムルト共ニ産金ノ買上ガニ保護ノ方法ヲ實施シテ今日ニ及ブト聞ク。

察スルニ當國民及當國爲政者ハ古來鑛業ニ理解ヲ有スル大鑛業ヲ以テ當國立國ノ根本ト爲シ是レニ依リテ當國財政經濟ノ基礎トナシ又鑛業ニ依リテ當國ノ勞働問題ヲ解決セントス故ニ鑛業政策實施ノ跡ヲ看ル時矛盾ヲ感ズル所以ナレドモ傳統ノ根本思想ハ鑛業國營、鑛山固有ヲ以テ固メラルモノト看ルベキニアラズヤ。

此處ニ當國ノ外國鑛業資本排斥ノ聲ハ「ベル」¹「ポリビヤ」²ニ於ケル外資ノ利益壟斷嫉視ノミニヨリ發スルモノト多少趣ヲ異ニスル理由ナラン。

即チ目下一部人士ノ唱導スル硝石製精業國營モ勞働條件引上ゲヲ理由ト爲スト聞クニ於テ痛切ニ其思想動向ヲ首肯スルヲ得ルナラン。

他面當國ノ現狀ト産業智識ヨリ觀察スルニ鑛石輸出ヨリ轉ジ自國內製鍊ニ向フ又當然ノ結果ナラン。

今左ニ當國ノ鑛業信用金庫ノ組織及業績ヲ記シテ參考ニ資セントス。

名 稱 Caja de Credito minero

組織 千九百二十七年當國ノ議會ノ協賛ヲ經テ資本金六千萬「ベソ」ヲ以テ創立セラレ千九百三十八年四千萬「ベソ」ヲ増資シテ合計一億「ベソ」ノ國庫資金ヲ擁スル本金庫ハ理事長ノ他ニ理事トシテ大統領勅任ノ者二名上院下院代表各二名鑛業「ナショナル」組合代表者二名及鑛山石油局長ヨリ成ル幹部ノ下ニ選鑛部、材料購入部、買鑛部、信用獎勵部、分析試驗部、冶金部ノ六部ニ分タレ低利資金貸付ヲ主トシ専ラ鑛産増加ヲ計ルヲ目的トス。業績 創業以來相當ナル成績ヲ舉ゲ居レド民間無數業者ニ漏ナク均當セシムルハ不可能ニシテ其處ニ情實モ伏在シ來リタルモアラン又此ノ低利資金請願ニハ原則トシテ最小限二萬「ベソ」ノ積立金ヲ先納シ同金庫專屬技師ノ出張費ヲ負擔シ調査鑑定ヲ先決必須條件トスル法則アリ即チ資金ヲ借リンカ爲メニ資金ヲ要ス其資金手廻ル者ハ資金ノ融通ヲ乞フ必要ナク其ヲ探鑛費其他ニ充テ得ベク獎勵ノ根本意義ニ反シ有資者ノ利用機關ニ墮シタル感アリシヤニテ最近之ガ積立金制度ヲ廢シタリト聞ク。

(一) 選鑛部ニテハ一九三二年ヨリ一九三五年ニ亘リ「アタカマ」州内ニ「サラド」「ブンタ、デ、コーブレ」「ドメイコ」ノ三選鑛所及「コキンボ」州「タンビリコ」ニ一選鑛所ヲ設ケ舊鑛山ノ廢鑛石ヲ主トシ附近小鑛山ノ産

鑛ヲ買上ゲテ金「アマルガム」青化製鍊及浮選鑛法ヲ實施シ其所產物ヲ輸出シタリ。
 以上四選鑛所ニテハ主トシテ金鑛ヲ取扱ヒ含金量二十%以上ノモノハ輸出向キニ以下ノモノハ之ヲ選鑛ニ附シ
 タリ其數量左ノ如シ。

(1) 一九三五年分

浮選原鑛 四九、八一九噸 平均品位金 一八、九九%
 青化製鍊原鑛 八、〇二〇噸 " 一七、三三%
 輸出向鑛石 二、九三九噸 " 七六、九〇%

(2) 一九三六年「タンピリヨ」選鑛所ヲ休止シ代リニ「アニタキ」選鑛所ヲ設ケ作業ヲ開始シ左ノ成績ヲ舉ゲ
 タリト發表セララル

選鑛所名	處理原鑛	浮選精鑛產量	同品位	青化製鍊產量	同品位	金產量	金一瓦ノ生産費
サ ラ ド	八、五八噸	一、〇六噸	一、〇六%	〇	〇	〇	一、〇六
ド メ イ コ	一〇、八四噸	七、〇七噸	二、三三%	七、〇七噸	一九、六九%	二、七六	二、七六
ブ ン タ 、 デ 、 コ ー ブ レ	三、九三噸	三、〇四噸	三、〇四%	〇	〇	三、〇四	三、〇四
ブ ニ タ キ	三、九三噸	一、三三噸	一、三三%	〇	〇	一、三三	一、三三

(二) 買鑛部 四選鑛所及地方買鑛所ニテ買付タル鑛石ハ主トシテ數百年乃至數十年前良鑛ノミヲ處理シ殘部ヲ
 貧鑛トシテ坑外ニ放棄シアリシ廢鑛ヲ以テセシモ其廢鑛ハ逐次消化セラレ附近鑛山主ハ坑内作業ヲ開始セシモ

探掘費ヲ要スル爲メ貧鑛ノ持込ミ減少シタリ今左ニ千九百三十四年ヨリ千九百三十六年ニ互ル買鑛狀況ヲ表示
 セン

事項	年次	一九三四年	一九三五年	一九三六年
買入鑛石量噸		一〇九、六四四	八四、〇五六	六五、二九三
内 選鑛所向鑛石		九三、三一八	六五、〇二二	五七、二四五
内 輸川向鑛石		一六、三二六	一九、〇三三	八、〇四八
外ニ輸川並ニ國內製鍊所向金銀銅鑛				一四、四七一
處分				
日本買鑛業者ニ賣渡				五二六
チャグレス製鍊所渡シ				四九九
ナルタダ製鍊所渡シ				一三、四四六

右一廻ノ買鑛費ハ地方ニヨリ大差アレド最低三六・八七「ペソ」乃至最高一六六・五五「ペソ」平均四五「ペソ」
 フ要シタリト發表セリ。

(三) 信用貸付部 千九百三十六年度資金借入申込二十八件其内譯個人二十三、會社五、總金額五百二十三萬
 七千四百「ペソ」ニ達セシガ採用サレタルモノ二個人ニ會社ニ過ギズ他ハ多ク却下セラレタリ同年本庫管理ノ
 下ニアリシ貸付金未返済者數八十個人、十一會社及砂金局ニシテ貸付總額千六百九十五萬三千六百五十九「ペソ」
 ノ内未返済金額千四百九十二萬六百七十二「ペソ」ニ達シ千九百三十七年ニハ千五百萬「ペソ」ヲ硫黃探掘製鍊

ニ二千三百萬「ペソ」ヲ金銀銅選鑛所ニ一千五百萬「ペソ」ヲ現金貸付ニ一千萬「ペソ」ヲ在庫品（粗鑛選別鑛ヲモ含ム）買収ニ投ジ同年度内含金銀鑛一應買鑛ニ付七十五「ペソ」ノ損失ヲ生ジタリト稱セラル。信用貸付ニハ直接及間接ノ二途ナリ。

直接貸付ニハ選鑛所採掘用機械等新設改善擴張及採掘ニ要スル資金ニ限ラレ左ノ三條件ヲ具備セザルベカラズ
 (イ) 企業ガ智利資本タル事即チ企業者ノ住所ガ智利國內ニアルト企業利害關係ノ七五%ガ智利人又ハ五個年以上智利在住外人ノ手ニ在ル事ト智利人使用人ノ俸給額ガ全俸給額ノ七五%以上ニ當ルヲ要スル事ヲ意味ス
 (ロ) 貸付金ヲ保證シ得ル擔保物件即チ鑛山廢鑛機械建築物等ヲ評價シ企業ガ正ニ利益ヲ生ジ得ルモノト認メタル場合。

(ハ) 貸付金ヲ資本トシテ鑛山採掘又ハ運鑛ヲ開始セントスル場合其ノ事業見積ガ相當ノ利益ヲ生ムベキ性質ノモノト認メタル場合。
 間接ノ場合ハ鑛石買上ゲ販賣又ハ委託販賣ニシテ貸付金ヲ申請セントスル國內資本當事者ハ金庫ノ指令ヲ遵守スル事ヲ保證スル義務ヲ有ス。

(四) 材料購入販賣部 採鑛選鑛運搬其他ノ材料ヲ外國ヨリ輸入シ又ハ陸軍工廠ヨリ購入シテ直接鑛業者ニ販賣スルモノニシテ一般市價ヨリ若干割安ナルト取扱ヒ迅速ナルトニヨリ一般業者ノ好評ヲ博シ居レリ。
 千九百三十六年ニハ「ダイナマイト」六千箱（一箱三百發）雷管八十萬個、導火線六百箱、麻袋五十萬袋、其他藥品機械器具、其金額一千四百萬七千七百十二「ペソ」ニ達シタリ。

(五) 冶金部ハ未ダ開業セズ分析試驗部ハ特記スベキモノナシ省略ス。

第二項 我邦人ノ鑛業

在留邦人又ハ商社ニシテ直接鑛山業ニ從事スル者ヲ開カズ往年古河鑛業技師及ビ日本鑛業技師ノ渡來調査シタル事アル山ナルモ事業ヲ爲スニ到ラス現在ハ當國在留邦商ノ殆ンド全部ガ當國買鑛業者ヨリ買鑛シ其銅鑛石ヲ我邦ニ輸入スルニ過ギズ。

第三項 第三國人又ハ商社ノ鑛業

(一) 米資三大銅山比較 (一九三七年)

項目	Chili Exploration Co. チヌキカマカ 銅山	Andes Copper Mining Co. ボトリヨス 鐵山 (Amaonda)	Braden Copper Co. エル、チニエンテ 銅山
買収稼行年月日	一九一一年 一九一五年	一九一六年	
鑛區面積	二、九四四「エクタレア」	二七二、〇〇〇「エーカー」	
鑛區積	一、〇六二、〇〇〇、〇〇〇噸	一三七、四〇〇、〇〇〇噸	一七一、〇〇〇、〇〇〇噸
鑛區品位	二・一五%	一・五%	二・三七%
資本額	一五〇、〇〇〇、〇〇〇弗	六〇、〇〇〇、〇〇〇弗	
年産額	一八二、〇〇〇噸	八七、〇〇〇噸	一〇一、六一五噸
採掘式	露天掘	アンダー、ブロック、ケービンク	殘柱式

銅探集様式	原動所々在地	原動機種	發電能力	架空送電線	抗道延長	鐵道延長	水道鐵管延長	揮油	石炭	火油
	水溶液抽出溶解、電解 トコピヤ港	重油汽機、蒸気タービン	十二萬キロ	九〇軒				一六〇、〇〇〇 八五、〇〇〇 七九、〇〇〇 三九、〇〇〇 二、三八〇 一、八四五 一、三七七		
	浮選、水溶液抽出併用溶解、電解 チャネラル港	重油汽機、蒸気タービン	三萬キロ	七九哩四九	一七哩七六	五七哩八〇	一〇五哩一〇四	二五、一六四 二七、三九五 一、〇九四 一、五七		
	浮選、熱鐵、焙鐵、電解	水	五萬四千キロ					三七、一五四 一八四、七五七 一、一七八 三、一三		

(二) 小 鑛 山 表

會社名	資本系統	鑛種	資本額(單位)	鑛量(噸)	品位
Compania Minera de Toconilla (Antofagasta)	英	國	200,000 磅	110,000	22%
Compania Minera Merceditas	英	國	240,000 磅	110,000	22%

會社名	資本系統	鑛種	資本額(單位)	鑛量(噸)	品位
Societe des Mines de Cuivre de Nalagan (1)	佛	國	11,000,000 法		22%
Cie Miniere du Maiza (2)	佛	國	10,000,000 法		22%
Behaim Steel Co (Toco)	米	鐵			70%
Gace & Co.	英	鐵			70%
Chilian Manganese Co. Ltd.	英	鐵			46%

- (三) 熔鑛製鍊所表 (三大銅山直屬ノモノノ外)
 - ナルタグア精鍊所 (第二表佛系第一ト同一系)
 - チャグレス精鍊所 (第二表佛系第二ト同一系)
- (四) 買鑛業者 (三大銅山及(三)表製鍊場ハ除ク)
 - American Smelting & Refining Co. (U.S.A)
 - The South American Metal Co. (U.S.A)
 - Mauricio Hochschild y Cia Ltda. (U.S.A)
 - Compania minera y Comercial Sali Hochschild S. A (U.S.A)
- (五) 硝石製精業者
 - アングロ、アメリカ、智利硝石會社 (英米合同)
 - 智利硝石會社 (米)

第七編 智利國ト我邦一般貿易ノ將來

各國既ニ地幣ヲ有シ新規需要期待薄シ唯鑛山用爆藥類ニ進出ノ餘地アルヤニ考ヘラル。

第八編 智利國ト我邦ノ鑛物貿易ノ將來

我邦政府又ハ製鍊業者ニ於テ人爲的手段ヲ講ゼズ自由輸入セシムル時ハ「ペルー」「ボリビヤ」産鑛石ハ近キ將來ニ於テ當國産鑛石ヲ壓倒スベク現今ノ從事商社ノ活路ハ漸次前記兩國ニ轉ゼシムル事我邦ノ國力培養上ヨリ必要ナリト信ズルモ此場合政府ニ於テ適切ナル對當ヲ講ズルニ非ザレバ又亦惡質ノ競争ヲ繰返ス恐レアリ。

第九編 智利國鑛業ニ對スル我邦人ノ將來

遠大ナル計畫ヲ以テセバ常ニ「アンデス」山脈中現在未踏ノ地ニ注視ヲ忘レズ好望ト認ムルモノノ鑛業權ヲ取得シ當國鑛産衰退期ヲ見計ヒ豫行スル程度ニシテ當國ノ現在地域ニ於ケル現狀ハ既ニ詳ヲ越シタルノ感アリ又地理的其他の經濟的ニ技術的ニ他國ノ物ニ比シ著シク不利ナル條件ノモトニアリ我邦人進出ニ妙味薄利ナラント思考ス。

第十編 視察シタル鑛山ノ各論

第一項 カルメン、アルト鑛山

位置 「アントファガスタ」州タルバカ在

地質 古生層ニ屬スル粘板岩ノ如キモ溫泉作用ニ依リ著シク變化ヲ受ケ居ルヲ以テ斷言シ難シ表土一米内外ノ下

ハ一面ノ曹達鹽類(多分硝石ナラン)ヲ多量ニ含ム土質物ニテ被覆サレ其厚サ十五種乃至一米ナリ。

鑛床 本山ノ鑛床ハ實ニ不規則極ルモノニシテ曹達鹽類被覆層ノ爲メ銅鑛ノ露頭ヲ露出シ居ラズ現在採掘シツツ

アル鑛體ハ三ナレドモ各鑛體間ニ何等ノ連絡何等ノ關係ヲモ發見シ得ズ各獨立ノ不規則塊狀ヲナシテ鹽化銅鐵、

炭酸銅鑛ノ浸染ヲ粘板岩中ニ見ル。

此ヲ従業員ニ質シタルニ所々表土並ニ被覆鹽類層ヲ剝シ銅鑛ヲ發見セバ更ニ廣ク剝ギ取リテ露天掘ヲナシ發見セ

ザレバ更ニ他ヲ捜査スト答フ尙各國ノ技師來觀スルモ探査方針ヲ指示シタル者ナク従業員ニモ何等自信ナキ盲目

的探鑛ナリト附言シタリ。

察スルニ木鑛床ハ硝石等加里曹達鹽類ガ噴泉作用ニヨリ地表ニ沈積シ又現在モ一部ニテハ噴出沈積シツツアルト

同一様高壓高熱ノ銅鹽溶液ガ上昇シ來リ母岩中ニ沈積シタルモノナラン當國ニハ此ノ種鑛床多キモ當山ハ露頭ヲ

有セザルヲ特異トス。

第二項 「ペラビスタ」硝石地帯

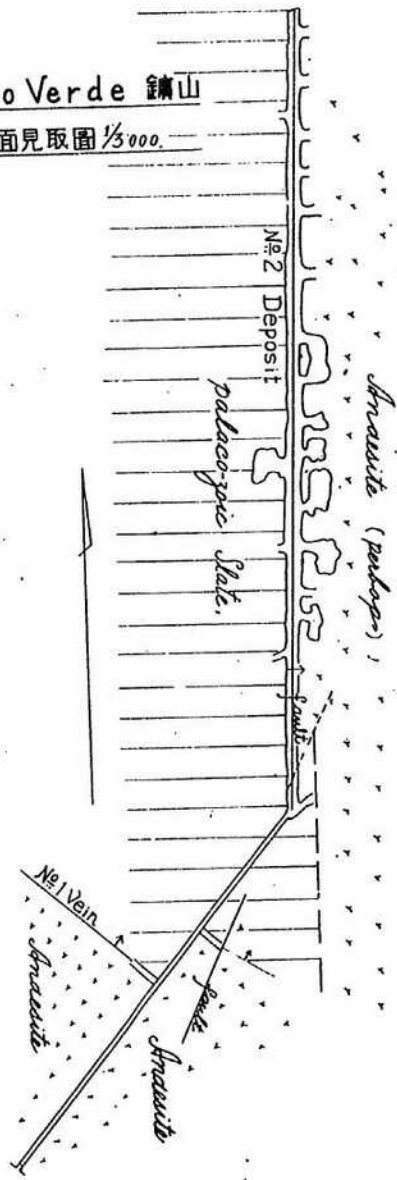
位置 「アントファガスタ」州「タルバカ」在

地質鑛床 本州ノ東北一帶即チ硝石地帯ノ東北方ニ鹽類地帯ナルモノアリ、鹽湖又ハ鹽類濕地帯又ハ鹽類埋藏地帯

ニシテ鹽湖ハ無降雨炎熱地帯ナルヲ以テ表面ハ岩鹽崩散鹽其他ニテ波狀固形體層ヲ成ス此ヲ破碎取り去ルモ數時

Monto Verde 鑛山

坑内平面見取圖 1/3000



間ニシテ凝固シ復元ト同一状態ヲ呈ス尙處ニヨリテハ現在モ湖底ヨリ滾滾トシテ沃度鹽類ノ湧出シツツアルヲ聞ク鹽濕地帯ハ地表下ニ鹽類泉ノ噴出又ハ湧出スルモノアルガ如ク常ニ濕潤シ時ニ其附近ニ源ヲ發スル鹽類川ヲ見ル事アリ相當量ノ湧出アルガ如シ。

本硝石地帯ハ其西南端ニ接ス。

要スルニ全部ガ各種鹽類ノ包藏地帯ナランモ岩鹽等鹽化鹽類ヲ主トスル場所沃度鹽ヲ主トスル所礫酸鹽ヲ主トスル所礫酸鹽ヲ主トスル所等主產鹽類ニヨリ大體區分サレ居レリ。

硝石層ハ海岸山脈ノ東側高原地帯ニ限ラルルガ如ク海岸山脈ノ東側ニテ硝石地帯ノ西ニ接シタル部位ニ火成岩(多分安山岩ナラン)存ス。

此ノ火成岩ハ地下ニ於テ「ボリビヤ」國南西部ヨリ當國北東部海岸山脈ノ中心線附近迄續リ所々古生層ノ末期乃至中世期層ヲ破リテ露出シ場所ニヨリテハ凝灰礫岩狀ヲ呈ス其廣袤數十哩ナリ。

又此ノ火成岩ノ影響ヲ被リテ海岸山脈ノ西側一帯ニ銅鑛地帯ヲ形成セシモノ所謂「トコピア」銅山地帯ナリ主トシテ「ハロイド」銅鹽類鑛ヲ產スルモ北端ニ硫化鑛ヲ產ス。

硝石層ハ半米乃至三米ノ表土下ニ厚サ一米ヨリ數米ニ及ブ厚層ヲ爲ス。

第三項 「モントベルデ」鑛山

位置 「アントファガスタ」州「チャネラル」縣

地質 本山附近モ亦硝石地帯ノ連接地ナルヲ以テ岩石ハ著シク變質セラレ判定ニ困難ヲ感ズルモ古生期ニ屬スル

粘板岩、石英粗面岩ト主トスルモノノ如ク其分布ハ複雑多岐ニシテ筆紙ニ盡シ難シ。

鑛床、本山ノ鑛床ハ實ニ前記古生層（走向三百二十度傾斜西南六十度）ト石英粗面岩ノ接觸部ニ生成セル接觸鑛床ニシテ古生層中ニモ存在スト雖モ寧ロ大部分石英粗面岩中ニ鑛床シ居レリ而シテ兩岩ノ接觸面ハ數千米ニ亘リ相當正シク南北ニ攪リ居リタル所ニ地殼ノ變動ヲ受ケテ此ノ接觸面ニ沿フテ斷層線ヲ形成シ兩岩ハ五ニ移動ヲ爲シタルガ如シ。

本山ハ赤鐵鑛ト砒鐵鑛、炭酸銅鑛ヲ共出ス。

當國人ハ古生層ノモノト石英粗面岩中ノモノト二脈ト見做シ並行三脈ノ接近セルモノト解ス此レ其間ニ斷層生因ニヨル粘土物存スルヲ以テナラン。

又本山ノ北ニ接シ二小鑛區アリ共ニ本山ヨリ低位ニアリ斷層線ニ近キ部位ノ線行ヲ爲シ砒鐵鑛ヲ産ス因テ本山モ亦下底ニテ砒鐵鑛ニ變化スルモノナリト確信シ居ルガ如キモ就キテ觀ルニ此等小鑛山ハ兩岩石粗面岩ニシテ裂隙充填生因ニヨルモノノ如ク全ク其成生ノ狀態原因ヲ異ニス。

即チ本山ハ分脈鑛床ト鑛床鑛床ノ復成因鑛床ニシテ附近ニ裂隙充填鑛床ヲ伴フ頗ル複雑ナル成因ニアリト認ム

本山ノ坑道延長千七百米其間鑛石ヲ伴ヒ其幅員古生層内五十糎ヨリ二米ノ間ニ石英粗面岩中八十米乃至十米五ニ及ブ尨大ナルモノナリ十數ヶ所ノ墜入レニヨリ幅員ヲ探查シツツアリ其總平均含銅品位肉限ニテ二・二・五％ト鑑定セリ又圖示ノ如キ他ノ斷層アリテ南片ハ移動セルガ如ク未ダ搜出シ居ラズ。

本山ハ鑛量豊富ナルモ不毛地帯ニアリ各種設備ニ多額ノ資金ヲ要スベク其資金額ニ對比シテ他ニ本山ヨリ有利ナ

ルモノアリア否ヤ充分考慮ヲ要スベシ。

一一四

第四章 各觀點ヨリ觀タル三箇國ノ鑛業

第一編 各國ノ民度ヨリ觀タル三國ノ鑛業

前各章ニ記述シタル如ク三國中ペルー國最モ氣候雨量恵マレタル部域廣キ爲メ砂糖工業、綿作業發達シ白人系支配階級ハ專ラ是ニ從事シ安逸ナル生活ヲ營ミ勞働者階級ハ其餘慶ニ浴シ他國國民ノ多數ヲ占ムル土民族「セラーノ」ハ政事ニ關與セズ學事ヲ修メズ唯々古來ヨリノ習性ニヨル山岳地帯共同耕作ト家畜ト共同生活ヲ營ミ居ルニアラズヤト思ハルル如キ獨特ノ山岳地帯畜ニヨル自給自足ノ低級生活ニ甘シ舊教仲間ノ搾取ニ隨喜渴仰シツツ「アンデス」中央山脈ノ山頂迄耕作シツツ散在スル狀態ナルヲ以テ古代インカ帝國時代相當開發サレタル鑛業モ西班牙軍進入ニ際シ「インカ」民ニヨリ埋没隠蔽サレタルママ「ペルー」國ナル一獨立國家成立ヲ見ル迄ノ時期ヲ經過セリ。

其後政變ニツグニ政變ヲ以テシ政府ニ國策ヲ樹ツル餘裕ナカリシ爲メカ意識スルトセザルニ不係農業立國ニヨリ政費ヲ賄ヒ得タル爲メカ將又農産物ノ海外輸出ニヨリ國際收支平衡ヲ保チ得タリシ爲メカ一般人民ハ之ヲ爲サザルノミナラズ却ツテ危險視シ政府亦此レガ獎勵ヲ怠リタルガ如シ。即チ此等因ヲナシ鑛業ハ專ラ外人ノ占ムル處トナリシガ如シ。

近來各種金屬ノ騰貴ハ鑛業熱ヲ刺戟シ民間ニ起業ヲ目論ム者續出シ政府亦鑑ル所アリ國立試驗所ヲ設ケ鑛物ノ無料鑑定分析調査選鑛法ノ無料研究指導ニ乗出シ、コレニ要スル器具機械ハ最新式最高價品ヲ揃ヘ居ルモ技術者ニ技術ナキカ又ハ技術アルモ一部ト結託シ其ノ指導ヲ爲サザルニヤ一般業者ノ信用スル所トナラズ個人業者ハ資金難技術難ニ苦シミツツアルモノノ如シ、萬一此ヲ突破シ稼行シタリトスルモ最後ノ寶藏ニ際シ業者ノ爲メ搾取的ニ秤價ニヨリ買取ラルルモノノ如ク發達セントシテ發達シ得ザル狀態ニ在リ。

ポリビヤ國ハ土地高ク南米ノ屋根ヲナスヲ以テ先住民族ニ加ヘ現南米諸國先住土民ノ白人ニ追ハルルヤ此處ニ逃避セシヤ明ニシテ現ニ三種族アリ各異リタル土語ヲ使用ス。

此等ノ土民族ハ土地稱「ペルー」國土民ヨリ劣リタル生活ヲ營ミツツアリ。

之ニ反シ白人系民族ハ智利方面ニ定着シ當國ニ入國定着スルモノ少ナカリシガ如ク現在住民ニ看ルニ九對一内外ノ比率ナリ。

彼土民等ハ政事ニ無關心ニシテ又學ヲ修メズ納稅ヲ回避シ國語ヲ解セントセズ各土語ヲ使用スル等國家意識ハ勿論向上心缺除セルガ如シ「ポリビヤ」國ノ外患ニ次グニ外患アリ其都度萎縮ニ萎縮ヲ重ヌル當然ト謂フベシ。

政變ニツグ政變ハ國民總數ノ一%内外ヲ占ムル人種ニ依リ行ハレ百年ノ大計現ハレザル理ノ當然ニシテ偶々設立セル鑛業金融統制機關タル「バンコ、ミネラル」セ共ノ使命ヲ完遂スルニ困難ナル狀況ナリ。

然レドモ古「インカ」帝國時代隆盛ヲ極メ帝國國民ガ各種器具ニ使用セン金銀銅等ノ金屬ハ現在ノ「ポリビヤ」國地域ヨリ産シタルモノノ如ク西班牙國政教一體ノ治ヲ布クヤ「インカ」民ガ逃走ニ際シ埋没隠蔽シタル地下寶庫開

一一五

原ニ就キ格間ニ懷柔ニ凡ユル手段ヲ講ジ又砂鑛地タルニ着目シ忖估ニ命ジ「コカ」葉ヲ栽培セシメ此ヲ少量宛土民ニ給シ供物トシテ金銀ヲ以テセシメタル爲メ鑛業ハ幼稚ナガラ繼續シ其遺跡多シ然ルヲ以テ當國民ノ鑛業智識ハ「ペルー」國ノソレヨリ發達シ居ルモ當國ハ外國ト戰フ累年疲弊極ニ達シ資金難ナルト共ニ技術難ニヨリ發達ヲ阻害シツツアリ、余ヲ案内セシ「ボリビヤ」人言ハク「我等ハ金ノ床ニ臥スルモ常ニ生活樂ナラズ」ト例令得テ至妙ナリ。

智利國ハ國土狹長北三分ノ一ト南三分ノ一ハ不毛ノ地タリト雖モ中部地方ハ氣候溫和ナルヲ以テ諸外國人ノ避寒避暑ニ來ル者多シト聞ク。

從テ侵入セン西班牙人ノ定着セル者前二國ニ比シ高率ナリシヤ論ナク又當國ノ地域ハ「インカ」帝國ノ勢力圏外タリシ事ニ據ルモ先住民族少カリシ事モ想像シ得ベシ故ニ國民ノ多數ハ近代の智識ヲ有セシヤ明ナリ。

因リテ國家的鑛業タル硝石鑛業早ク起リ歐米技術者ノ來往頻繁ヲ來シ鑛業智識ヲ注入シタルヤ自然ノ理ニシテ銅鑛業ニ外資輸入ヲ招來シテ發達シタル處幸カ不幸カ空中寮寮固定法ノ發見ハ硝石鑛業ヲ衰微セシメ因リテ生ジタル失業勞働者ハ自己ノ生活ヲ經驗ヲ應用シ得ル他鑛業方面ニ據ラントシ政府亦失業保護ノ立場ヨリ一般鑛業獎勵法トシテ半官半民ノ「カハデクレジト、ミノロ」ナル金融機關ヲ設クル外道路ノ開鑿ニ鐵道敷設ニ港灣ノ修築ニ力ヲ注ギシ爲メ中小鑛業起リ大ハ一日一噸位ヨリ小ハ一日五貫位ヲ産スルモノ到ル處ニ現レ其集積ガ吾人ヲシテ南米ニ於ケル銅ハ智利ノ獨專ナルガ如キ念ヲ抱カシムル迄ニ發達セリ。

第二編 各國ノ國策ヨリ觀タル三國ノ鑛業

此等三國ノ對産業國策ハ國營ト稱シ保護ト言フモ共ニ開發助長ニアル事敘述セルガ如ク今改メテ題ヲ設クル必要ナキニ似タルモ外資ノ喰込ミ居ル此等諸國ニ於テハ其處ニ自ラ異ナルモノアルヲ感ズ。

而シテ此等三國ノ國策ノ現狀並ニ將來ノ動向ヲ看ントセバ因テ來リタル原因ヲ追究スルヲ順序トセン。

然シテ各國各種國策ノ内對外資國策ハ各國ニヨリ異ナルモ最初外資ガ此等ノ國ニ喰込ムヤ大體酷似シタル條件ノモトニ爲サレタルモ唯進リシ經過ニヨリ生ジタル現象ニ外ナラズト信ズルヲ以テ余ハ其出發點ニ觀點ヲ置カントス。

而シテ此等諸國ニ於ケル外資ヲ看ルニ額ニ於テ英米斷然頭角ヲ拔クヲ以テ英米資ヲ對照ニ其起因ヲ考ヘ左ノ三ニ分類シ敘述セントス。

- 一、純産業投資
 - 二、政策的産業投資
 - 三、純産業投資ヨリ政策投資ニ變ジタル投資
- 「ペルー」國銅鑛業、一般金屬鑛賣業ニ對スル米投資、製糖業ニ於ケル英ノ投資並ニ智利國銅鑛業鐵鑛採掘業ニ對スル英米ノ投資及ビ鐵道電燈電話水道業ニ對スル英米ノ投資ハ第一部門ニ市場獨專ヲ目的トセル「ペルー」國石油業「バナヂニウム」鑛業ニ對スル米投資及ビ智利國硝石業ニ於ケル英米共同投資等ハ第二部門ニ又此等諸國ニ在リテ營業セル外國銀行ハ第三部門ニ屬スベシ。

斯クテ此ヲ通觀スルニ一般金屬鑛業ハ英米ノ資力ヲ以テスルモ壟斷ヲ許サザル程鑛區數多キニモ原因セン然レ共結果ヨリ觀テ其國並ニ其國民ヲ利シ何等不利ナラシメザリシモノタリ最モ鑛石賣業者ハ搾取の行爲ヲ弄シタリト雖モ

此ハ商行爲ノ常套手段ト見做シ居ルガ如シ故ニ政府國民共此ノ種過去投資ヲ否認セントセザルノミナラズ國力乏シキ此等諸國ハ外資殊ニ英米ニ非ザル外資ヲ希望シ誘致ヲ圖是トスルモノノ如シ。
之ニ反シ第二部門投資ハ投下ノ目的既ニ投下國本位タリ被投下國ノ利益ヲ阻害スル當然ノ歸結ニシテ怨嗟ノ聲トナリ回收熱トナル又止ムヲ得ザルベシ。

外國銀行ガ自國民ノ爲替金融商業資金融業タル本質ヨリ脱シ膨大ナル資力ヲ以テ此等弱小國ノ爲替政策金政策ニ反シ我利ヲ計リタリトセバ國家國民ノ怒ヲ招ク當然ニシテ「ボリビヤ」國ガ外國銀行閉鎖令ヲ以テ向ヒタル故ナントセズ斯時「メキシコ」國ハ外資石油業回收ヲ令セリ南米皆此ニ慣ハントス。

即チ「ペルー」國ニ於テ石油鑛業バナデューム鑛業鐵鑛業國營案米資石油鑛業接收案ガ實施セラレ又ハ議セラレ智利國ニ於テ硝石工業回收案議セラレ所以タリ。
以上ハ表面的觀察ナルモ裏面ヨリ視ヒタル觀察ナントセズ即チ回收案ハ低級勞働者階級ヲ歡バシメタルヤ必セリト雖モ回收後ノ資金何レニ在リヤ勞働者ハ糖喜ビニ終ルナキヲ保セズ。

第三編 地勢其他環境ヨリ觀タル三國ノ鑛業

智利國ニテハ一般金屬主トシテ金銅ハ北部砂漠地帯ニ砂金ハ中部南方地域ニアリ各種各様ノ鑛物遺利ハ國境本アソデス山脈中ニ在ルガ如キモ現在ハ砂漠地ヲ越エテ遠ク此處ニ近ヅク山モナシ故ニ論議ノ對照地帯ハ國境海岸兩山脈ノ中間海岸ニ近キ砂漠地帯ニ限ラレベシ。

本地域ニハ眞水拂底ス偶々流水アレバ強度ノ鹽類ヲ含ム從テ一木一草アルナシ現在稼行中ノモノ大ナル八十數里ノ遠キヨリ鐵管ニテ又小ナルハ自動車ニヨリ供給セラレ食糧品必需品共ニ皆海港ヨリ輸入サル大鑛山ハ海岸ニ發電所ヲ置キ高壓電線路ヲ設ケ十里二十里ヲ送電ス固定資本ト此ガ監理費ト特種營業費ヲ要スル想像ノ外ニアリ現下我邦國狀ニ照シ「居邦人起業ノ候補地タル資格ナキモノト斷ズ。

「ペルー」國ニテハ海岸中央國境ノ三山脈アリ南方ノ一部ヲ除キ中央山脈以東ハ交通路ナク又密林地帯タルヲ以テ又南部海岸「アヤクチヨ」「アレキツバ」兩縣地域ハ火山灰ニテ被覆サレタル砂漠地帯ナルガ故ニ共ニ考慮地域外ニ置カラルベシ如斯シテ殘レル地域中石油ノ「ピウラ」縣ヲ除ケバ鑛山所在地ハ降雨力解雪ニヨル水ニ恵マレ飲料ニ選鑛用ニ動力用ニ利シ得ベク食糧ノ一部ヲ附近ニ求メ得ベシ。

「ボリビヤ」國ハ地勢高ク四季積雪ヲ被覆サル所及「アマゾン」河上流森林地帯等永久ニ又ハ當分近ヅキ得ザル地域ヲ除ク時ハ解氷ニヨル水量多ク鑛業稼行ニ適ス唯空氣稀薄ナル一事不便ナリ。

第四編 外國資本ノ鑛業投下狀況

第一項 一般金屬鑛業

銅 「ペルー」國ニテ大資本系產銅會社アリ智利國ニ北米「アナコンダ」銅會社ノ經營スル一部ノ鑛山ノ外米資ニヨルモノ二三アリ「ペルー」國ノ二社ハ共ニ數十年ノ歴史ヲ有シ微ヨリ起リ今日資本額數億圓ナリト謂ハル何レモ自山附近ニ發電所ヲ設ケ製鍊場ヲ構ヘ製品及物資ノミ汽車ニヨリ輸送サルルニ反シ智利國ニ於ケル「アナコンダ」

會社ノ經營振ヲ見ルニ海港ヨリ遠ク百數十キロノ鐵道又ハ軌條ヲ專有引廻シ製品必需品ノ輸送ニ便シ又百數十キロノ鐵管ヲ埋設シテ遠クヨリ用水ヲ引キ港口ニテ發電シ専用高壓電路ニヨリ百數十キロノ作業地ニ動力ヲ送ル等格段ノ相違アリ業績不振ヲ傳ヘラル故ナキニアラザルベシ。

金 「ペルー」國智利國共ニ數件獨逸人經營ノモノアリ智利國ノモノ中央部南部地區砂鑛ニシテ相當ノ成績ヲ舉ゲツツアリト聞ク。

錫 南米ニ於ケル錫産地ハ「ボリビヤ」ニ限ラレ本鑛業ハ佛人「パテイニオ」ニヨリ開發セラレ隆盛ニ向ヒタリ英資ノ投下ヲ見テ現在ノ如キ錫ノ統制ハ佛人ヲ通ジテ英ノ支配下ニ歸シタリ。

第二項 鐵 鑛 業

「ボリビヤ」國ニハ鐵鑛業ノ營業セルモノヲ不聞「ペルー」國ハ國營ヲ持ス智利國ニテハ「コキンボ」北方三十哩ノ地點ニ北米系資本ニヨリ採掘セラレ一萬噸ノ鑛石ヲ數時間ニ積込ム設備ヲ有スルモノアリト聞ク其產出鑛ノ含鐵品位八〇%ニ及ブモノアリト。

第三項 硝 石 鑛 業

硝石ハ智利國ノ特産トシテ早クヨリ識ラレ所有權ハ國家保有シ數年ヲ限リ採掘ヲ入札受負ハシムル建前ニアルモ英米共同投資ニヨル膨大ナル設備ハ全世界ニ君臨シ往時盛大ヲ極メタルハ想像ニ難カラザルモ空中窒素固定法ノ發見ハ本業ノ衰微ヲ來シ餘喘ヲ保チ居ルモノ英米資本ニヨル「アングロ、アメリカ」智利硝石會社及ビ智利硝石會社ノ二トス余前者ヲ參觀ス工場ノ雄大設備ノ完備社宅其他ノ豪華ナル威容ヲ誇ルモ一抹赤字ノ空氣低迷スルヲ感得セリ。

第四項 石 油 鑛 業

南米西海岸ニテ石油ヲ産スルハ「ペルー」國「ボリビヤ」國ナルガ如ク北米「スタンダード」石油會社ハ「ペルー」國「ピウラ」地方ノモノニ投資スト雖モ元來「テキサス」石油ノ販路保護價格維持ヲ目的トスルモノナルヲ以テ經營振極極的ナラザルモ相當ノ出量ヲシ價格又無法ニ高キ爲相當ノ成績ヲ舉ゲツツアリト聞ク。

「ボリビヤ」國ノ油田ヲ廻リテ「パラグワイ」國ト交戦アリ「アルゼンチン」國亦此ニ着目シ兩國間ノ停戰調停ニ乘出シ「ボリビヤ」國ハ油田地域ヲ保全シ得タルヲ喜ビ「アルゼンチン」國ニ油田開發ヲ許可セリト聞ク。

第五項 在留邦人ノ鑛業

「ボリビヤ」國ニ於テハ在留邦人面谷氏「オルロ」縣ニテ借區シ同ジク在留邦商西氏ニヨリ經營ニ着手シ居レリ今回現地ヲ視察シ優良ナリト認メ指導シ置キシモ鑛業權ノ全部又ハ一部ヲ保有セシメ事業ノ恒久化ヲ計ル様指導セラレン事ヲ希望ス。

「ペルー」國ニテハ砂鑛區權ヲ獲得セル在留邦人相當アリ三十數件ニ及ブモ權者自ラ坑夫又ハ人夫トシテ砂金ヲ採集シ居ル程度ニ過ギザル由「アンチモニー」鑛ハ井上氏權利ヲ占有シ居レリ。

次ニ當國在留商社ペルー棉花會社ニ於テ「サヤブーヨ」鑛山ヲ借區經營セントスル計畫アリ同山ハ同國有數ナルノミナラズ世界有數ノ鑛山トラントスル素質ヲ具備ス。

尙「ペルー」國南部ニ邦人所有ノ石油鑛區アル由ナルモ調査時間ナク精細ヲ知ラズ。

第六項 鑛石賣買業

此等三國ニ互リ潤歩スルモノニW、K、「グレース、コンパニー」アリ鐵石油「バナチニウム」ヲ除ク金屬礦石ノ全般ヲ取扱ヒ國際的賣礦ヲナス猶太系米人ニシテ三十年ノ歴史ヲ有シ無一物ヨリ起リ猶太人特有ノ商法ニヨリ今日ノ産ヲナシ今ヤ各般ノ事業ニ投資シツツ其性格ハ兎ニ角南米人ノ美點弱點ヲ吞込ミ商賣ヲ行フ其着眼力ハ吾人ノ大ニ學バザルベカラザル所ニアラザルナキヤ。

他ニ「ホシチヤールド」社ナルモノアリ此亦三國ニ互リ鑛石賣買業ヲ營ム主トシテ金銀「タングステン」鉛銻等ヲ取扱フモ智利國ニテハ銅鑛ヲ取扱ヒ在留日本商社ヲ嗣弄シツツアリ此亦無一物ヨリ立チ今日ノ産ヲナス在留邦商ノ敵ニアラザルカ。

第七項 「バナチニウム」鑛業ト其賣買業

「バナチニウム」鑛ハ「ペルー」國ヲ主産地トシ「ボリビヤ」國ニモ産スト雖モ鑛物成分異ナレリ「ペルー」國ニテモ米系銅會社所在地「セロデパスコ」附近ヲ最高トシ米資本ノ手ハ一帯ニ延ビ保留鑛區多數ヲ擁シ新規發見出願スルモノアルモ許可ヲ見ズ夫等ハ何時シカ米系ニ落付ク由ナル現象ヲ呈スト聞ク故ニ鑛區權ニ關シテハ法令ニ據ル米國ノ獨占ニアラザルモ事實上ノ獨占トナリ居リ唯數箇ノ鑛區權浮動シツツアリト謂ハル而シテ輸出ニ就キテハ協約存スルガ如ク旁米ノ獨舞臺タリ決算及計算商取引等一切紐育ニテ行ハレ「ペルー」國ハ唯一箇ノ現場ニシテ社員ハ一現場員ナリ何事モ不知又何事ヲモ談ル自由ヲ禁セラレ居ルガ如ク調査困難タリ。

第五編 外國資本ニ對スル三國ノ對策ト將來ノ考察

鑛業ニ限ラズ過去ノ外國投下資本家即チ英米資本家ニ對スル憎惡感ハ三國共通(智利ハ少シク趣ヲ異ニスルモ)ノ現象ト考ヘラル夫レ西班牙國ノ壓迫搾取ヨリ脱レントシテ得タル獨立モ政治態形ニ於テハ目的ヲ達シタルモ次第經濟的ニ變形シタル壓迫搾取襲來セリ即チ英米ノ資本投下之ナリ從テ此ヲ憎惡スル甚シキ亦當然ニシテ英米ノ貌ミ利カザルニ至ルヤ反撥セントスル亦當然ノ歸結タルベシ然レドモアラユル投資事業ニ對シ全面的無差別的回收ヲ爲サントスルモノニ非ズシテ其國ノ發達ヲ最モ人爲的ニ阻害スル事業ニ限ララルハ前條ニモ縷述セル處ナルガ目下彼等ノ狙フ點ハ「ペルー」國石油業「ペルー」「ボリビヤ」兩國ニ於ケル銀行業ニアルガ如シ其他一般金屬鑛業、製造工業、農業、商業等其範圍外ニ在ルガ如シ是レ此等ノ事業ハ已往ニ於テ外國資本ニヨルト雖モ夫レ夫レノ國家ノ福利増進ニ資シタルニ鑑ミ回收セントセザルノミナラズ寧ロ新規計畫ヲモ歡迎シ此レヲ以テ其國ノ經濟文化向上ニ資セントスルモノノ如ク國際貸借國際收支ノ面白カラザル國程其傾向顯著ナリト觀察セラル。

「ボリビヤ」國ノ如キ金屬鑛業ニ投資セラルルニ於テハ法令ヲ超越シタル協定ヲ成シ半量ヲ同國ニ保有スル事ト共ニ他半量ヲ投資國ニ持チ出サシムルノミナラズ前半ノ金塊モ亦文化施設軍備施設品ヲ當該國ヨリ購入スル資金トナズ用意アルヲ暗示スルガ如シ。

智利國ハ余ガ退去直後大震災ニ罹リ同國心臓部ヲ襲ヒ經濟的打撃甚大ナリシヲ以テ同國ノ方針モ亦「ボリビヤ」國同様トナリシニ非ザルカ。

次ギニ投資ノ意義ニ種々テリ資金投資、現品投資、技術投資等トス而シテ現品投資、技術投資ニヨル合辦法又ハ分割支拂法、貸付法等ニ對スル反對給付ハ官民共ニ最モ歡迎スル所ナルガ如シ。

斯ノ如ク觀シ來ル時南米石油業其他特種鑛業ニ對シテモ見直ス餘地ナキヤ如何余ハ我邦朝野ノ靜思熟考ヲ求ムル切ナル次第トス。

第六編 外國資本ヨリ觀タル三國ノ鑛業

南米西海岸諸國ハ人口稀薄否少ク然モ文化ノ程度低ク是等諸國國內需要ハ微々タルノミナラズ近キ將來ニ急遽ノ増加發展ヲ望ム事不可能ナルベシ此ノ如キ國ニ於テ國內需要ヲ對照トシテノ外資鑛業(一般製造工業モ亦同ジ)ハ成立ノ意義ヲ缺キ何人モ何國モ企圖セザル處ナルベシ。

米國資本ノ石油「バナヂニウム」鑛業ニ對スル投資英國資本ノ錫鑛業投資ノ如ク世界ノ市場ニ號令シ夫等ノ價格ヲ統制シ各本國又ハ屬領ノ産業ヲ保護シ併セテ自國ノ利益ヲ安定セシメントスル特種目的ニヨル投資ハ格別トシ一般的ニハ投資セントスル國ノ國內需要ノ不足ヲ確實ニ補フ目的ノ爲メニ投資セラルルカ又ハ投資國ノ金屬製品ヲ第三國ニ輸出スル工業能力ヲ對照トシ原料確保ノ目的ニ投資スルカ何レカラ本義トスルモノト信ズ。

此處ニ米資本ノ南米ニ於ケル銅鑛業ヘノ投資ニハ幾分ノ矛盾ヲ看ルベク從テ現在ニテハ比較的少量ノ稀金屬ヲ以テ世界ニ君臨シ得ルモノカ又ハ他ノ企及ヲ許サザル大資力ヲ以テ世界ヲ引越シ得ルガ如キ事業ニアラザレバ見モ返ラザルガ如ク豪語シテ謂ク一口一億弗以下ノ投資ハ爲サズト之レ一面ノ真理アリ「ポリビヤ」國金鑛業ニ對シ全世界ノ金ノ半數ヲ死藏スル米國トシテハ投資セザル亦半面ノ理ヲ説明スルガ如ク、英國亦屬領產ヲ以テ其國ノ所要ヲ滿スノミナラズ本國並ニ屬領內自國法ニ據ル起業ノ對照豐富ナルニ於テ皆テ投下シタル債權ニ對シ元本ハ勿論利息ヲモ近來

支拂ハザル南米ニ手ヲ染メザル當然ニシテ其國民性ヨリシテモ貿易ニ據ラントスルガ如シ。

次ニ獨伊ニ就キテ觀ルニ獨伊共ニ我邦ト相似タルモノアリ伊ハ相當古クヨリ移民ヲ送リ居リ商業的ニ地歩ヲ有シ獨ハ南米ヲ研究スル久シク起業等ヲ目論見タルモ都度英米ニ先取セラレタルガ如ク現下共ニ歐洲方面ニ没頭シ此ノ寶庫南米ニ垂涎シツツ餘裕ナキモ歐洲ノ空氣沈靜ノ時其基礎ト研究ヲ以テ猛然英米ヲ壓シテ活躍スベキヤ必セリ現今ハ唯貿易ニ海運ニ氣ヲ吐クノミナリ。

佛ハ其國民性ヨリ觀テ艱難ヲ伴フ南米經綸ノ氣力ヲ缺クト認ム。

夫レ我邦人活躍ノ好機邦人地歩ヲ占ムベキ絶好機ニアラズト誰カ謂フ乞フ政府ニ於テ適切遠大ナル施政ヲ圖ラサレシム事ヲ。

第七編 產出鑛物ヨリ觀タル三國ノ鑛業

「ペルー」國ニ產スル鑛物ヲ現地ニ就キ又鑛物博物館、工業學校標本室ニ就キ觀察スルニ銅、鐵、鉛、亞鉛、鐵、錳、リブデン、「バナヂニウム」金銀等ノ一般金屬、鑛物石膏、岩鹽、硫黃等ノ亞金屬鑛物、雲母、石棉等ノ非金屬鑛物、石炭、石油等ノ燃燒鑛物ヲ產ス、重金屬鑛物ハ主トシテ硫化(單一成分)鑛トシテ存在シ自然元素鑛トシテ出ルモノ、金、砂金ニ限ラルルガ如シト雖モ將來中央「アンデス」山脈ノモノ世ニ出ルニ於テハ次記「ポリビヤ」國同様復硫化鑛其他「ハロイト」鹽類鑛等ヲ產スルニ至ルニアラザルナキカ「バナヂニウム」鑛ニハ硫化鑛ノ外硫酸鹽類鑛、酸化鑛ヲ產シ母岩ハ主トシテ頁岩タリ特殊地帯ニ存スルガ如キモ充分ナル研究ヲナス能ハズ斷定的決論ヲ發表シ得ザルヲ

遺徳トス又悪質無煙炭ト共出スル事アルハ特ニ興味ヲ感ズ。

鐵ハ赤鐵礦トシテ産シ又「フエロマンガニース」トシテ産ス、前者ハ含鐵品位七五—八〇%不純物少キガ如シ。

此ヲ鑛床學上ヨリ觀ルニ現今ハ單純成因ニヨルモノ多ク復雜成生鑛床殆ンドナキガ如キモ中央「アンデン」山脈中ニハ復雜成因鑛床多キニアラザルヤト考ヘラル。

選鑛買鑛方面ヨリ觀ルニ取扱ヒ安易ナリト思考ス。

「ボリビヤ」國ニ産スル鑛物ヲ鑛業省博覽會等ノ陳列品ニ就キ又ハ其他商社ノ資料ヲ参照シ現地ニ就キテ考察スルニ砂鑛トシテ自然金「カシテライト」(錫)、自然銅、自然「ビスマス」等ヲ産シ一個ノ砂金時ニ數百瓦ニ及ビ又高品位合金礫亦存ス、一塊ノ自然銅六百瓦ニ及ブモノヲ目撃スル等本國ノ鑛産ノ偉大ナルニ驚クノミ鑛床ヨリ産スルモノニ銅、鉛、亞鉛、金、銀、水銀「ビスマス」「モリブデン」「タンクステン」「ニッケル」「コバルト」錫等ノ重金屬鑛皆存ス、金、銀「ビスマス」銅「セレニウム」(少量)硫黃等自然元素トシテ相當多量ニ産スルガ如シ又銅ハ赤酸化銅、黑酸化銅、炭酸鹽、鹽化硫酸、硫酸鹽等ノ形ニテモ標本的ナラズ、經濟的ニテ以テ産スルモ多キハ各種硫化鑛ナルガ如シ鉛、亞鉛「ニッケル」等ハ硫化鑛トシテ産ス此等金屬ノ他種鑛種々存在スルガ如キモ標本的存在ニシテ經濟的存在少キガ如シ。

次デ當國鑛物ノ特異ハ單一成分鑛物ノ存在ト共ニ二金屬以上ノ復硫化鑛(例令バ「アンドライト」「エナルチャイト」「ステファナイト」等例多シ)ヲ産シ稀鑛物標本室ノ感アリ。

之ヲ產出狀態ヨリ觀ルニ酸化鑛ト硫化鑛、元素鑛ト硫化鑛ノ共出スル事尋常茶飯事タルモノノ如シ。

當國ニモ亦「バナヂニウム」含有鑛ヲ産スル如キモ「デスクロイチャイト」鑛即チ鉛、亞鉛等ノ「バナヂニート」ナルガ如シトス

以上ノ如クナルヲ以テ塊狀鑛石ニ接シタル時分析鑑定ノミニテハ二種鑛物ノ集合體ナリヤ一種ノ鑛物ナリヤ判定ニ苦シムベク選鑛法立案買鑛等ニ際シ相當苦心ヲ要スト思考ス。

亞金屬鑛物トシテ硝石、岩鹽、硫黃等ヲ産シ非金屬鑛物トシテ石棉、雲母ヲ、燃焼鑛物トシテ石油ヲ産ス、石油ハ「アルゼンチン」國寄平地部ニ産ス、石棉、雲母ハ良質ニシテ鑛量豐富ナリト聞ク。

此ヲ鑛床學上ヨリ觀ル時單一成因ノモノト復雜成因ノモノト相伯仲スルガ如シ。

又此ヲ採行上ヨリ觀ルニ復雜成因鑛床ニアリテハ選鑛設備ヲナスニ際シ絶對ニ安全鑛量ノミヲ計算ノ基準トシ推定鑛量ヲ加味スベキニアラズト信ズ夫レ鑛物種ノ變化計リ知ルベカラザルモノアルベキヲ以テナリ尙前記ノ如ク復雜類鑛多キヲ以テ鑛物ノ何タルヤ鑛物學上ヨリ充分研究處置スルヲ秘訣トスベク然ラズシテ分析結果ノミニヨリ漫然處置スル時意外ノ失敗ヲ招ク事アルベシ米國起業失敗ハ此ノ二點ニアルニアラズヤ然レドモ當國ニ最モ廣キ分布ヲ有シ豐富ナル砂鑛ハ此ノ限ニ非ズ、智利國ニ於テハ二十數ヶ所ニ及ブ買鑛業者ノ鑛石集場ヲ看又實地ヲ驗スルニ重金屬鑛物ハ殆ンド金、銅、鐵ノ三種ニ限ラレ居ルガ如ク銅ハ硫酸銅、炭酸銅、鹽化銅ト硫化鑛ノ形ニテ産ス、其量ハ相伯仲シ前者ハ北部鑛山地帯ノ北部ニ多ク南スルニ從ヒ減ジ反對ニ後者ヲ増シ遂ニ南部ニテハ黃銅鑛等ノ硫化鑛ノミトナル然シテ此等硫化鑛ハ赤鐵鑛ト共出スルモノ多キガ如シ。

鑛鐵ハ主ニ赤鐵鑛ナルガ如ク品位高シ。

金ハ智利北部鑛山地帯ニテハ石英脈中ニ中部南方地帯ニテハ砂中ニ産スルガ如シ。

此ヲ鑛床學上ヨリ觀ル時複雜成因ノモノ大部分ヲ占メ熱泉鑛床鑛床接觸鑛床成因ガ前後シテ起リ生成サレタルモノ多キガ如シ單純成因鑛床ハ金鑛ニ限ラルト云フモ過言ニ非ザルベシ。

故ニ選鑛トシテハ手選ニヨル場合多ク選精煉ヲ兼ネ濕式集銜法行ハルルニ非ズヤ稼行ニ際シ充分ノ考慮研究ヲ要スルモノト信ズ。

特ニ留意アリクキハ富國產鑛石ノ粗鑛品位概シテ低ク「ボリビヤ」國ノモノ最高ニ位シ「ペルー」國ノ中位ニ在ル事トス。

第八編 交通機關ヨリ觀タル三國ノ鑛業

南米西海岸諸國ハ皆國內ニ「アンデス」山脈及其支脈ヲ包攝スルヲ以テ道路開發困難ナルガ如ク考ヘラルルモ現地ニ就キ視ルニ地價零又ハ零ニ等シク敷地費不要ナルニ加ヘ山容肥大セル爲メ迂回建設スル時ハ勾配左程急ナラズ鐵道線路ノ如キ隧道ニヨリ短距離線ヲ採ルヨリモ迂回ニヨル延長線ヲ撰ブ事ニヨリ勾配ヲ按配シ得ル便ヲ伴フ等吾人ノ想像外ノ事實アリ又降雨少キ部分ニテハ護岸砂防等ノ工事不要ナル又高原砂原地帯ニテハ車一度自動車ヲ通シタル所即チ道路トナル等道路又ハ鐵道線路構築上ノ工費案外少キモノアルモノノ如ク鑛山開發ニ付キ便且簡ナリト思考ス。

「ペルー」國ニ於ケル鐵道ハ主ニ耕地ト最寄泊地ヲ連絡スル短距離一地方鐵道ニ過ギズ極港ハ已述ノ如シ。

「ボリビヤ」國ノ鐵道ハ國內都市ヲ連絡フ主トシテ都市ト海港ヲ連絡スルモノニ條アリ一ハ智利國「アリカ」港ニ

他ハ智利國「アントファガスタ」港ニ達ス故ニ鐵道ノ半分ト海港ハ他國領ニナリ鑛業發達セバ兩線ヲ國境附近ニテ連絡スル一線ヲ必要トスベシ。

尙兩國共鑛業ノ發達ハ運輸機關ノ路線延長ヲ促シ輸送路線ノ延長ハ更ニ鑛山ノ開發ヲ呼ビ兩者ノ因果關係ハ止ル處ナカルベク兩國共相理解アリト觀取サルルヲ以テ此點ニ着眼準備ヲ怠ラザルニ於テハ自ラ別個ノ我邦工業品ノ進出路ヲ發見スベク「ペルー」國ニテハ海運機關ヲモ同一觀點ヨリ注視然ルベク海軍當局ノ協力理解ヲ得バ直チニ具現スル不可能ニアラズト確信ス。

而シテ「ボリビヤ」國ヨリ貨物輸出ニ就キ海港迄ノ鐵道運賃ハ噸當一弗半内外「ペルー」國ノ不良港ノ積込費ヲ要スルニ比シ大差ナキガ如シ。

智利國ノ鐵道ハ鑛山郡地區ト最寄海港ヲ連絡スル地方鐵道ニ始マリ政府ノ鑛業助成策ハ海港設備ノ改良ト共ニ鐵道ハ延長ニ延長ヲ重ネ遂ニ縱貫的ニ連絡ヲ了シタル由ニテ三國中最モ鐵道延長長ク港灣ノ修築設備モ亦優レリ因テ假リニ邦人ノ手ニヨリ開發サルル鑛山アリトスルモ交通機關ニ進出ノ機ハ殆ンド無シト斷ズベシ。

第九編 我邦産業政策ヨリ觀タル三國ノ鑛業

我邦ノ産業ハ外戰毎ニ長足ノ進歩發達ヲナシタルハ此處ニ敘スル迄モナキガ現下日支事變ハ曠古未會有ノ國難タルハ我人共ニ認識スル處コレニ刺戟サレ工業ノ充實發展又驚異的ナルハ幾多統計ノ示ス處タリト雖モ世界ノ大勢ハ日支事變ノ次ギニ第二ノ國難來ラズト何人カ保證スルヲ得ンヤ。斯ク觀シ來ル時我ヲ資源力經濟力ニヨリ壓迫セントスル

諸國ニ因マレツツ天然資源乏シキ我邦ハ何レニ資源ヲ求メ資源ヲ確保セントスルヤ南米ノ天地殊ニ重金屬ニ付キテハ南米西海岸ノ天地コソハ有力ナル地域ノ一ニアラザルナキカ。

次ニ軍事的國家難去リ滿支其他ノ國家建設ニツキ我邦ノ工業力ニ求ムルモノ多大ナルモノアルヤ言ヲ待タザルベシ資源ノ要求確保ハ益々長期ニ互ラザルベカラザルベシ。

或ハ言ハン事變後其等國家ノ建設ニ要スル資源ハ其國ニ求ムル事ヲ得故ニ今ハ當面ノ補給即チ商行爲ニヨル輸入ヲ以テ彌ズベキノミト夫レ或ハ然ラン滿支等ノ國土皆資源ニ富ム我人共ニ否マザル所ナリト雖モ前途ノ如キ状態ニアル南米地域ノ資源ヲ開發確保シテ軍事行動ニ後顧ノ恐ナカラシムルト共ニ前記ノ如キ現地資源利用ノ理想實現セバ此レ吾人共ニ狂喜スル所南米ノ資源ハ百八十度ノ轉廻ヲナサシメ其擱口ヲ歐洲其他ニ求メシムル事ニヨリ解決スルトセバ國策ト衝突スル事ナク却ツテ國力ノ加速度的發展ノ因トナルニアラザルナキヤ然シテ此等南米投資ハ額ニ於テ僅少ナルヲ期シ共ノ回收ヲ一年乃至二年ニ終ルモノアルニ於テハ現今ノ如ク商行爲的補給ノミニ依存スルハ考研ノ餘地アリト信ズ。

第十編 我邦移民政策ヨリ觀タル三國ノ鑛業

我邦人口ノ増加ハ外地ニ植民地ヲ求メザルベカラザルハ過去現在將來ヲ通ジ必然的約束事ナリ然レニ我移民史ハ苦闘ニ次グ苦闘ヲ以テセル一篇ノ哀史タルノ感ナシトセズ此レ邦人ノ勤勉ト不撓ニ始終セル愛國精神ニ起因スルヤ論ナク余ハ此ヲ名譽ノ苦闘好恰ノ試練トシテ讚ヘントス見ヨ北米加州ニ於ケル野茶栽培野茶市場ニ於ケル邦人ノ拔クベカ

ラザル根張リヲ又「ペルー」國棉花栽培ニ不可缺クラントスル邦人ヲ。

如斯シテ官民一致第一世移民ハ成功ヲ收メタリト謂フベシ然レドモ一國一地方ニ於ケル上記ノ如キ定着者ヲ得タルヲ以テ其國又ハ其地ニ於ケル移民政策ハ終レリトスルヲ得ンヤ否余ハ其子孫タル第二世第三世ニ及ボサルベキモノト信ズ。

第一世ハ勤勉ヨク外地ノ者ニ愛セラレ珍重セラレタル時モアラン然レドモ其愛其珍重ハ次第ニ畏敬トナリ恐怖トナリ排日ト變ゼシ過程ニ第二世ハ生ヲ受ケタリ辟見ナシト誰カ斷ズル。

而シテ此等第二世ヲシテ親シク皇恩ニ浴セシムルト共ニ其地ノ外民ニモ皇威ト國力ヲ顯揚シ外民ヲモ等シク皇恩ニ浴セシムル事アリトセバ邦人ニ對スル信頼ハ期セズシテ高潮シ外民ノ我第二世臣民ニ對スル態度亦變化スベキヤ火ヲミルヨリ明ナリ此處ニ至ツテ我が愛スル第二世諸氏ハ實ニ光輝アル我國章旭光ヲ浴ビ春ニ會ヒタルガ如ク日本精神ハ勃然トシテ發芽シ生育スルヤ必セリ然シテ智育ニ德育ニ第一世諸氏ニ優ルモ勞ラザル眞ノ日本臣民ヲ外地ニ扶植シ得ベク斯クテ始メテ移民政策ハ成功セリト稱スベキカ。

余ハ此ノ目的ノ爲メニ「ペルー」「ボリビヤ」兩國ノ鑛業ニ邦人ノ進出ヲ提唱セントス。

「ペルー」國ニハ二萬ヲ超ユル邦人在留シ毎年四百有餘ノ學齡兒童ヲ出スト言ハル他方「ボリビヤ」國ハ門戸解放國タリ此等二國ニ第二世臣民ヲ分布シ鑛業智識ヲ修得セシメ先鞭的ニ廣範圍ニ鑛業ニ從事セシメ漸次地位ヲ屈備者側ニ進マシメ拔クベカラザル鑛業權ヲ此等二國ニ布ク時阻マントスルモ阻ミ得ズ邦人ナクシテ其國ノ存立危ク其國民ノ生活難シノ域ニ達セシメ得ザルモノニモアラザルベシ。



昭和十七年三月廿五日 印刷
昭和十七年三月三十日 發行

拓務省 拓南局

東京市芝區南佐久間町二丁目九番地

印刷人 森山忠吾

東京市芝區南佐久間町二丁目九番地

印刷所 東京製本印刷合資會社

電話 芝二〇三七番